

工 事 番 号	部 長	課 長	課 長 補 佐	係 長	検 算 者	設 計 者
設 計 年 度	令和 2 年度		港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事			仕様書
施 工 月 日	平成 年 月 日	公共下水道事業				
施 工 方 法	請 負	三原市港町三丁目				
工 事 期 間			<div style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 5px;">基幹</span> <span style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-left: 20px;">仕 様 書</span> </div>			
工 事 概 要			起 工 理 由			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨水ポンプ場電気設備工事 自家発電装置 一式</li> <li>・ 雨水ポンプ場建築工事 自家発電装置架台 一式</li> </ul>						

港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事  
(電気設備工事)

# 港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事 特記仕様書

## 第1章 総 則

### 第1節 適用範囲

- (1) 本仕様書は、三原市が発注する「港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事」(以下「本工事」)一式の施工に適用する。

### 第2節 工事概要

本工事は、港町第2雨水排水ポンプ場に自家発電設備を設置するのに必要な設計・製作・据付・配線・試験・撤去の一切を施工するものである。

### 第3節 工事内容

本工事の工事内容は、次のとおりである。

工事名	機 器 名 称	設備台数
新設工事	自家発電装置 (DEG)	1台
撤去工事	高压引込盤 (MC-1)	1面
	高压変圧器盤 (MC-2)	1面
	No.1排水ポンプ盤 (LCB-01)	1面
	No.2排水ポンプ盤 (LCB-02)	1面

### 第4節 諸法規の遵守

請負者は、工事の施工にあたって次の関係諸法規及び規格を遵守し、工事の円滑なる進捗を計らなければならない。

- (1) 市の各種工事共通仕様書
- (2) 日本工業規格 (J I S)
- (3) 電気規格調査会標準規格 (J E C)
- (4) 日本電機工業会標準規格 (J E M)
- (5) 日本電線工業会標準規格 (J C S)
- (6) 電気設備技術基準 (通商産業省会)
- (7) 内線規定 ((社)日本電気協会)
- (8) 配電規定 ((社)日本電気協会)
- (9) 公共建築工事標準仕様書・電気工事編 (国交省営繕部監修)
- (10) 電気設備工事標準図 ((社)公共建築協会)
- (11) 電気設備工事監理指針 ((社)公共建築協会)

- (12) 電気設備工事一般仕様書・同標準図（日本下水道事業団）
- (13) 電気設備工事必携（日本下水道事業団）
- (14) 労働基準法
- (15) 消防法
- (16) 建築基準法
- (17) その他関係諸法規

#### 第5節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、監理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

#### 第6節 検査

土木工事共通仕様書（令和元年8月 広島版）『第3編 3-1-1-10 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

#### 第7節 主任（監理）技術者の配置等

主任（監理）技術者の専任期間等

本工事に配置される技術者については、工場製作のみが行われている期間は、専任を要しないものとする。

なお、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の技術者がこれらの製作を一括して管理することができるものとする。

主任（監理）技術者の変更の特例

本工事に配置される技術者については、工場から現地への工事の現場が移行する時点において、変更ができるものとする。

なお、発注者と受注者の協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、一定期間重複して工事現場に設置し、工事の継続性、品質等を確保するものとする。

#### 第8節 工事カルテの作成および登録

受注者は、工事实績情報サービス（CORINS）に基づき「工事カルテ」を作成し、監督職員の確認を受けた後に(財)日本建設情報総合センターに登録し、「工事カルテ」の写しを監督職員に提出すること。

## 第9節 その他

### (1) 責任施工

受注者は既設構造物その他に損傷を与えないよう、または機能を阻害しないよう適切な保護を行うこと。これらに損傷または損失を与えた場合、受注者の負担において復旧すること。

本工事の施工にあたって本仕様書、添付図面、別紙設計書に明示していないものがあった場合、設備の性能発揮に当然必要なものは監督員の指示に従い、受注者の費用をもって施工しなければならない。また、重要寸法についてはあらかじめ現地実測の上決定し、万一数量寸法等に誤記があった場合は、監督員と打ち合わせ善処しなければならない。

### (2) 耐震設計

耐震を十分考慮した構造および施工とすること。

### (3) 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んである。

### (4) 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んである。

- |             |  |
|-------------|--|
| 1) 原因調査     | 監督員と協力して行うものとする。                             |
| 2) 補償交渉     | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。                        |
| 3) 応急措置     | 監督員から応急措置を講じる必要があると指示された場合は直ちに応急措置を講じるものとする。 |
| 4) 補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金の100分の1を超える額を負担する。   |

## 第2章 各機器の製作仕様

### 第1節 自家発電設備

#### 1. 一般事項

##### (1) 概要

本設備は、商用電源の停電に備え排水ポンプの運転に支障が発生しない様に非常用自家発電設備を新設するものである。

##### (2) 仕様

- ①日本内燃力発電設備協会の認定証票付とする。
- ②自動運転方式とし自動・手動切換えが行えるものとする。
- ③構造は、パッケージ式とする。
- ④始動時間は、電圧確立まで40秒以内とする。

#### 2. 設備機器構成

- ①自家発電装置 1台

#### 3. 機器仕様

##### 1) 自家発電装置

- (1) 数量 1台
- (2) 形式 搭載型発電装置 (燃料タンク搭載)
- (3) 仕様

定格電圧：440V

定格出力：250kVA

##### A. 発電機

種類：同期発電機

外被の形：開放形

保護方式：保護形 (IP20)

冷却方式：空気冷却方式

回転子：回転界磁形

励磁方式：ブラシレス

相数及び線数：三相三線式

周波数：60Hz

力率：0.8 (遅れ)

絶縁の種類：E以上

##### B. 原動機

定格出力：225kW以上

種類：ディーゼル  
潤滑方式：強制潤滑方式  
冷却方式：ラジエータ式  
始動方式：電気始動（セルモータ）方式  
調速機調整範囲：±5%以上（無負荷運転）  
使用燃料：A重油

C. 蓄電池

形式：据置形鉛蓄電池又は制御弁式据置形鉛蓄電池

D. 燃料タンク

貯蔵容量：190 L

E. 騒音値

機側1m平均で75 d b (A)目標

(4) 付属品

- ・製造者標準付属品 1式
- ・製造者標準予備品 1式

## 第3章 電 気 工 事

### 第1節 一般事項

#### 1. 概 要

本工事は、主として自家発電装置、及びその他電気機器の据付け並びに配線工事を行うものである。

工事は関係法規に準拠し電氣的機械的に完全かつ美麗にして、耐久性に富み保守点検が容易になるよう施工するものとする。

#### 2. 位置の決定

自家発電装置などの機器の据付け及び配線路の詳細な位置の決定については、監督員の指示を受けるものとする。

#### 3. 防湿、防蝕処理

湿気、水気の多い場所などに施設する機器並びに配線は、その特殊性に適合する電氣的接続、絶縁及び接地工事を行ったうえ所定の防湿防蝕及び防爆処理を行わなければならない。

#### 4. はつり等

機器等の取付けに際し構造物にはつり、貫通及び溶接を行う場合には、監督員の指示を受けた後施工し、すみやかに補修するものとする。

### 第2節 施工範囲

- (1) 機器据付工事
- (2) 機器及び盤間の電気配線、配管工事
- (3) 各負荷、及び付属機器への電気配線、配管工事
- (4) 非常通報装置の発報試験
- (5) 機器撤去工事
- (6) 機器及び盤間の電気配線、配管撤去工事
- (7) 各負荷、及び付属機器への電気配線、配管撤去工事
- (8) その他必要な諸工事

### 第3節 電気設備材料

#### 1. 電線・ケーブル類

- 1) 電線・ケーブル類及び付属品は、J I S, J C S規格により製作された製品とする。
- 2) 低圧動力ケーブルは、公称断面積 $2.0\text{mm}^2$ 以上の架橋ポリエチレン絶縁ポリエチレンシースケーブル（CE）を使用する。
- 3) 制御用ケーブルは、公称断面積 $1.25\text{mm}^2$ 以上の制御用ポリエチレン絶縁ポリ

エチレンシースケابل（CEE）を使用する。

- 4) 計装信号用ケーブルは、原則として公称断面積 $1.25\text{mm}^2$ 以上の遮へい付制御用ポリエチレン絶縁ポリエチレンシースケابل（CEE-S）を使用する。
- 5) ケーブルの端末処理材は、JCMS（日本電線付属品製造会制定の規格）に適合した材料とする。

## 2. 電線保護材料類

### 1) 電線保護管の使用区分

①地中埋設部：波付硬質ポリエチレン管（FEP）

耐衝撃性硬質塩化ビニル電線管

厚鋼電線管（溶融亜鉛メッキ）

②露出部：厚鋼電線管（溶融亜鉛メッキ）

### 2) 金属管及び付属品

①構造

金属管及び付属品は、JISにより製作された製品とする。

②金属管の口径

金属管の口径は図面又は特記仕様書によるが、特に記載のない場合は電線の断面積の総和が断面積の32%以下となるように選定すること。

### 3) 金属製可とう電線管及び付属品

金属製可とう電線管及び付属品は、JISにより製作された製品とする。

また、金属製可とう電線管は原則として、二種可とう電線管（ビニル被覆付）とする。

### 4) プルボックス

屋外設置は、防水形SUS製（SUS304）とする。

## 3. 配管材料

1) 小配管材料は下記とする。

①排気管：配管用炭素鋼鋼管（SGP）

（配管被覆ラッキング75mm）

## 第4節 施工

### 1. 機器据付

#### 1) 自家発電装置

(1) 自家発電装置の基礎は、埋込アンカーまたはあと施工アンカー（接着系）により基礎との固定を行う。

### 2. 配線工事

#### 1) 端末処理等

①公称断面積が14mm<sup>2</sup>以上の低圧動力ケーブルの端末処理はJCMSの材料を用いて行うこと。また、14mm<sup>2</sup>未満の低圧動力ケーブルは、テーピングによる端末処理を行うこと。

なお、施工困難な箇所については、監督員の指示により施工すること。

②制御ケーブルの端末処理は、テーピングにて行うこと。

③機器類の各端子へのつなぎ込みは圧着端子で行うと共に、ケーブルにはケーブル記号を記した札をシースに取付けること。

なお、端末には絶縁被覆をかぶせること。

④低圧動力ケーブルの各芯線は、相色別を行うこと。

⑤制御ケーブルの各芯線には、端子記号と同じマークバンドを取付けること。

## 2) 直線接続

ケーブルの接続はボックス内において専用の接続材料を用いて行うこと。

## 3) ケーブルと機器の接続

①盤に引込むケーブルは適切な支持物に堅固に固定し、接続部に過大な応力がかからないようにすること。

②閉鎖型の盤はケーブル引込み後、開口部をシール・パテ等でふさぎ、防湿・防虫処理を行うこと。

③電路とその他のものとの隔離

低圧ケーブルを収納した電路は、弱電流電線等と接触しないように施工すること。

④地中埋設電線管との接続

地中に布設の電線管は硬質波付ポリエチレン管を使用し、地上部電線管との接続には異種管接続材を使用すること。

## 第4章 試験及び電気主任技術者立会い

### 第1節 一般事項

#### 1. 試験

現場据付及び配線工事が完了後、次の試験を行う。

- ① 配線：絶縁抵抗試験
- ② その他運転に必要な一切の予備試験

#### 2. 動作試験

前項の各試験後、次の順序により各機器の動作試験並びに調整を行う。

- ① 零点調整は現地納品後に行う。
- ② 各ループごとの機器の動作試験並びに調整を行う。
- ③ 動力設備との組合せ操作試験

#### 3. その他

試験用具および試験に必要な一切のもの、およびこれに要する消耗品等は全て受注者の負担とする。

## 第5章 その他

### 第1節 完成図書の提出

施設引渡しの際、下記の完成図書を提出すること。

完成図書はA4版、取外し可能な折り込み製本とし、表紙、背表紙は金文字印刷としたものを3部納入のこと。

1. 完成図面
2. 各種検討書，計算書
3. 各種結線，接続図
4. 付属品，予備品リスト
5. 各種試験，検査成績書
6. 各種官庁手続き書類
7. 取扱説明書
8. 運転操作説明書
9. 故障時連絡一覧表
10. その他必要なもの

### 第2節 かし担保期間

完成検査に合格した日から2年間とする。

かし担保期間終了時、請負人は技術者を派遣し異常の有無を確認後、監督員と協議し承認を得ること。

保証期間内に請負人の責任に帰すべき原因による事故が発生した場合、監督員の指示する期間内に無償で改造、補修または新品と取替えた後、検査に合格しなければならない。

### 第3節 契約内容の変更

本工事の内容に著しい影響を与える事情が生じたときは、協議の上、契約内容を変更することができるものとする。

ただし、監督員が特段の理由があると認めたときを除き、契約内容の変更は、行わないものとする。

## 第6章 運転操作方案

### 第1節 共通事項

本工事の運転操作方案は、標準的な機器の運転操作の概要を示しているものであり、詳細については、打ち合わせによって決定する。

### 第2節 運転方式

運転方式の表現は、操作場所、切換方式、条件及び符号で表現する。

#### 1) 操作場所の表し方

該当する操作場所内にある切換スイッチ（COS）、操作スイッチ（CS）を1点鎖線で囲み、操作場所を明記する。

#### 2) 切換方式、操作方式の表し方

切換スイッチ（COS）、操作スイッチ（CS）等の符号にて明記する。

<table border="1"><tr><td colspan="2">COS</td></tr><tr><td>Z</td><td>Z</td></tr></table>	COS		Z	Z	: 切換スイッチ [Z : 操作場所を記入]
COS					
Z	Z				
<table border="1"><tr><td colspan="2">CS</td></tr><tr><td>Z</td><td>Z</td></tr></table>	CS		Z	Z	: 操作スイッチ [Z : 操作方式を記入]
CS					
Z	Z				
<table border="1"><tr><td colspan="2">SS+MS</td></tr><tr><td>Z</td><td>Z</td></tr></table>	SS+MS		Z	Z	: 2挙動スイッチ [Z : 操作方式を記入]
SS+MS					
Z	Z				
<table border="1"><tr><td colspan="2">PBS</td></tr><tr><td>Z</td><td>Z</td></tr></table>	PBS		Z	Z	: 押釦スイッチ [Z : 操作方式を記入]
PBS					
Z	Z				

#### 3) 運転条件の表し方

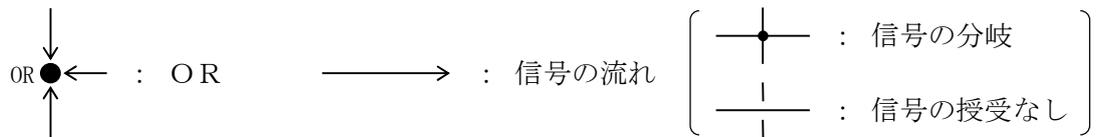
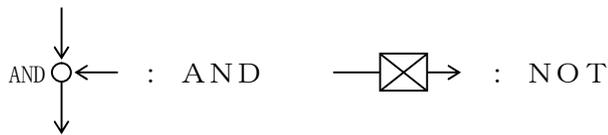
運転に必要な各条件を項目にして明記する。

#### 4) 制御機器の表し方

制御機器の制御状態と共に明記する。

<table border="1"><tr><td>X</td></tr><tr><td>Y</td></tr></table>	X	Y	: 制御機器 [X : 機器名称, Y : 状態]
X			
Y			

5) 各種条件符号の表し方



第3節 表示方式

1) 表示方式の表現は、運転、状態、故障表示に分類し、該当する項目に○印を記入する。

2) 停止条件の表し方

K : 投入インタロック

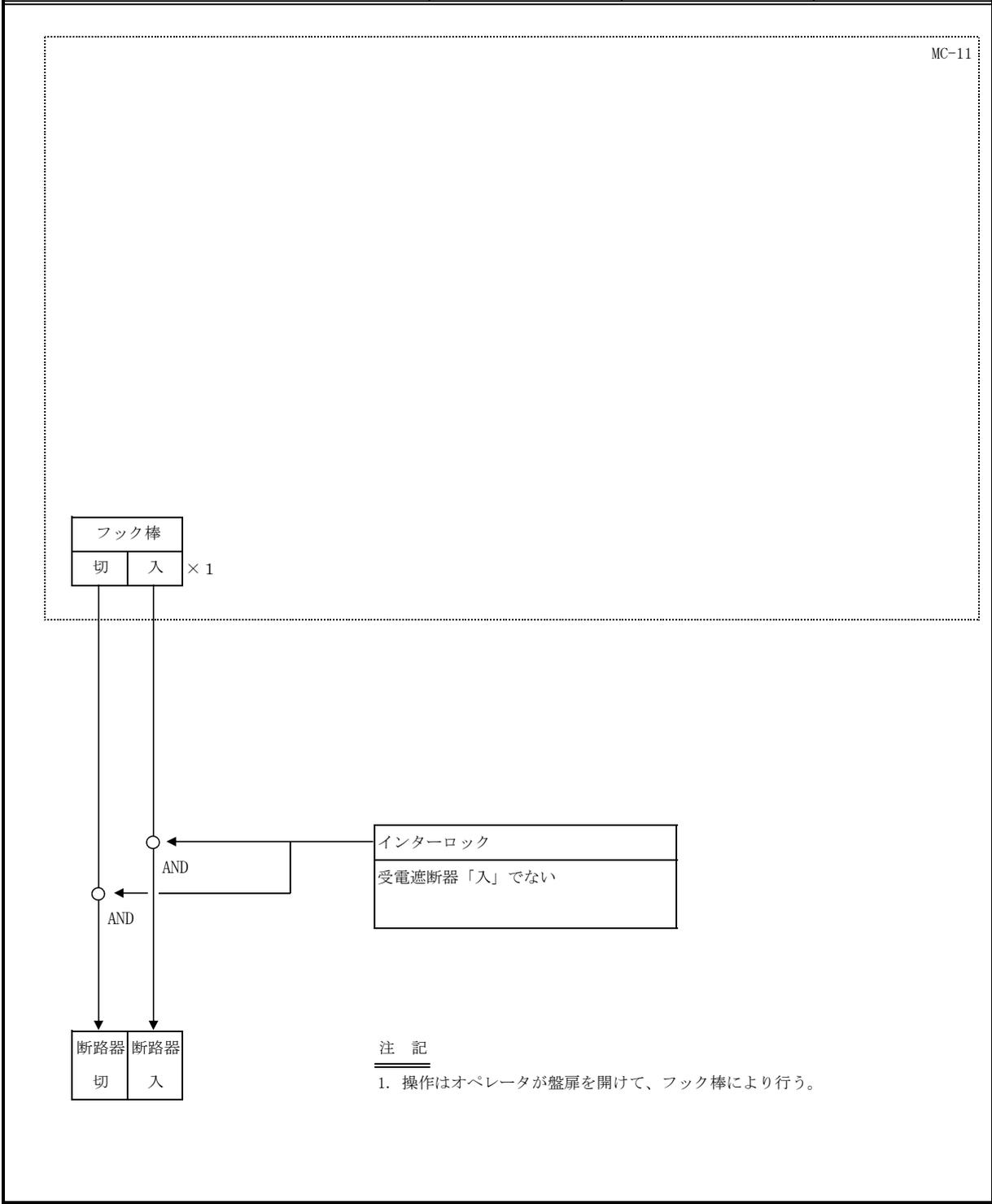
T : 遮断

S : 遮断不可

第4節 運転操作方案

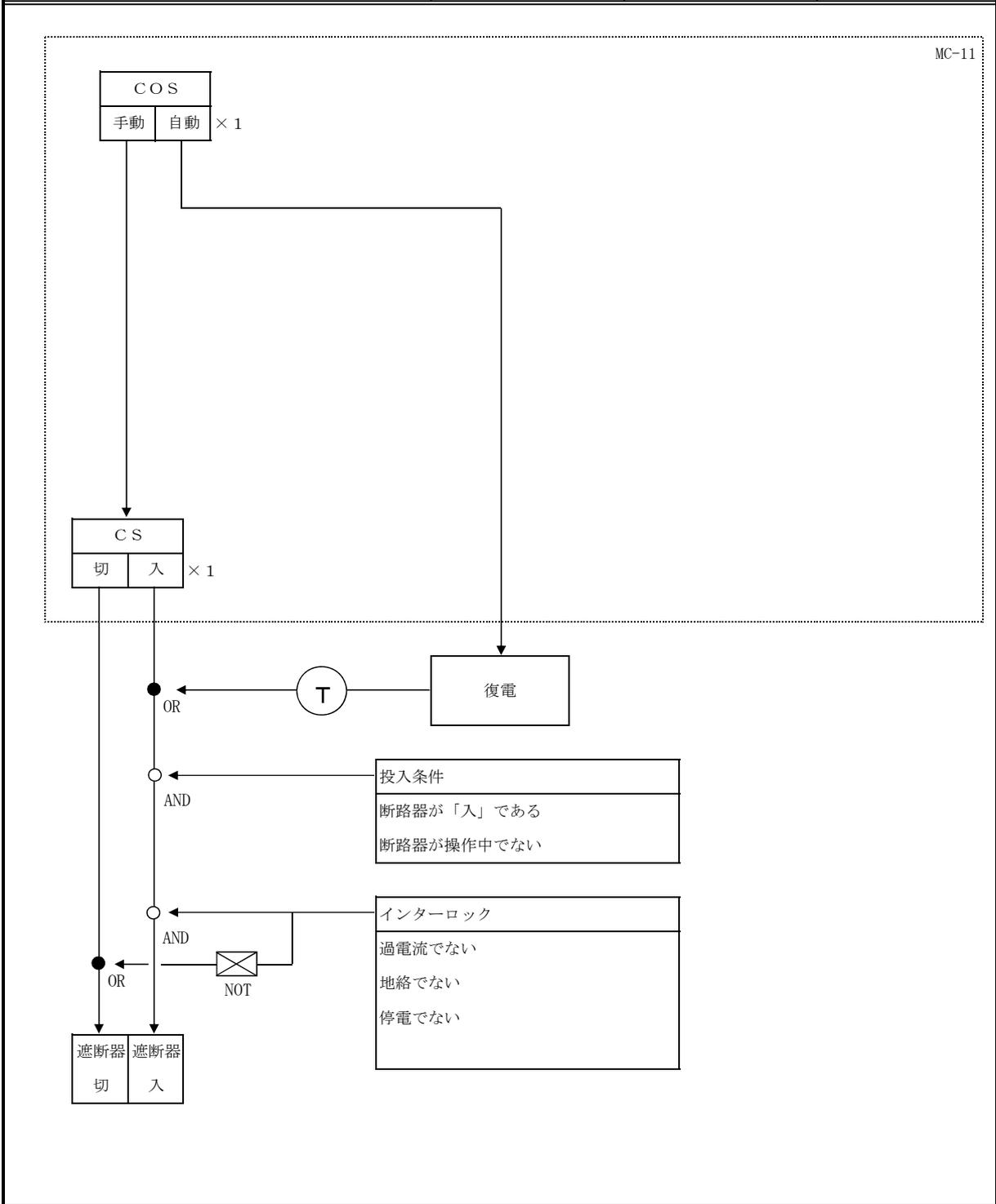
次頁以降に今回の運転操作方案を示す。

区分	受変電設備	機器名称	受電断路器		容量	-
運 転 方 式			既設	1台	今回	全体 1台



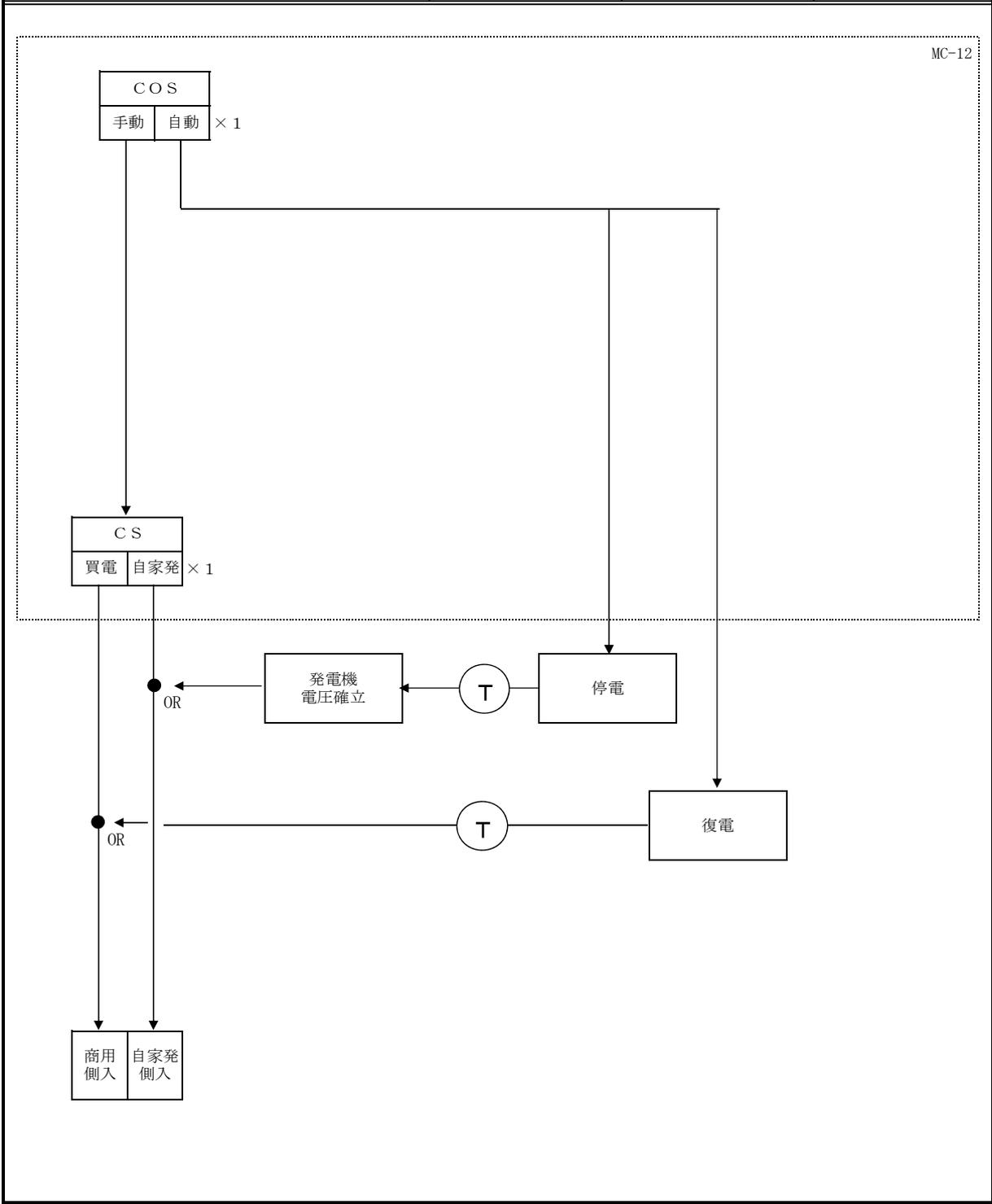


区分	受変電設備	機器名称	受電遮断器		容量	-
運 転 方 式			既設	1台	今回	1台



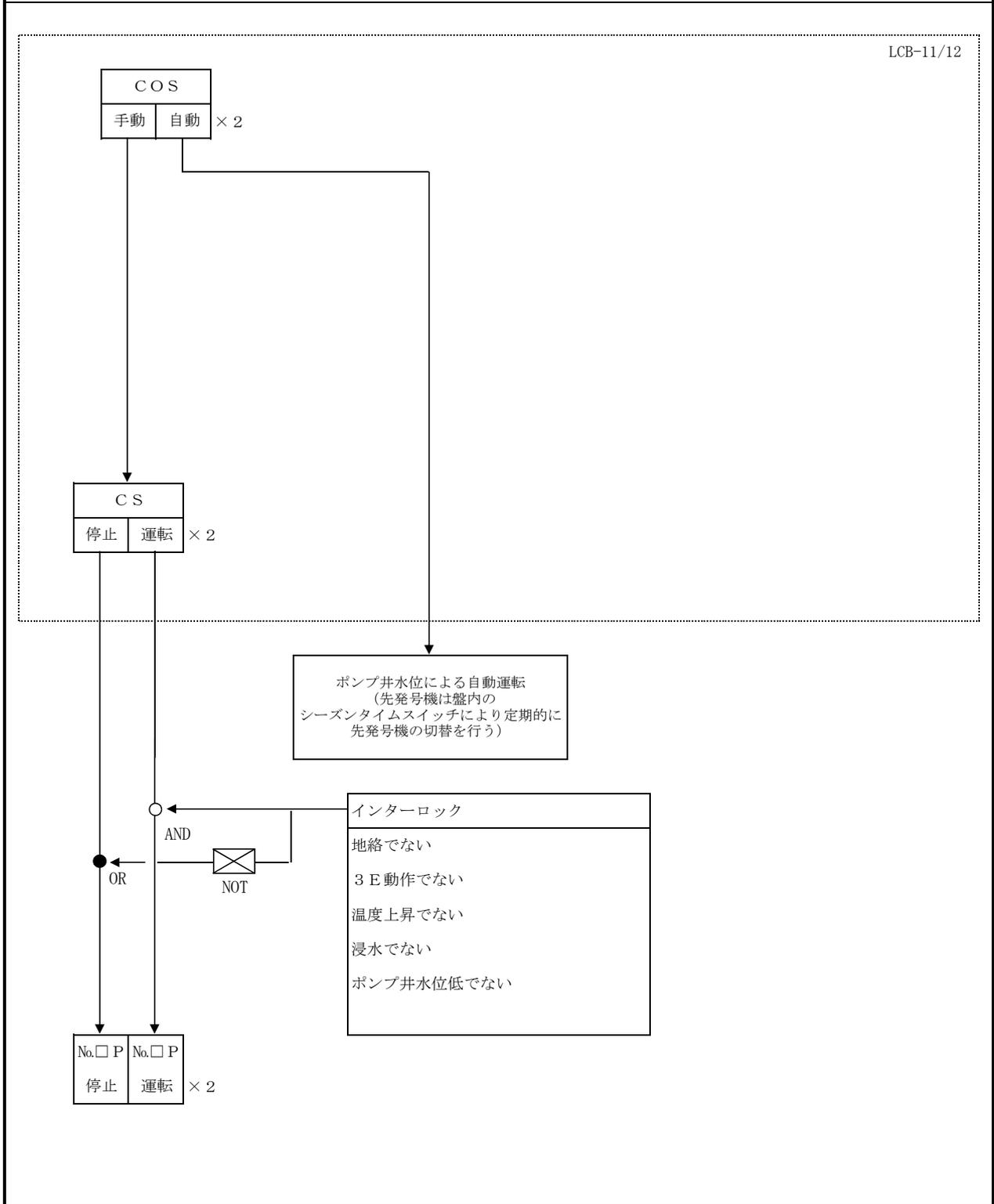


区分	受変電設備	機器名称	商用—自家発切換コンタクタ		容量	-
運 転 方 式			既設	1台	今回	全体 1台





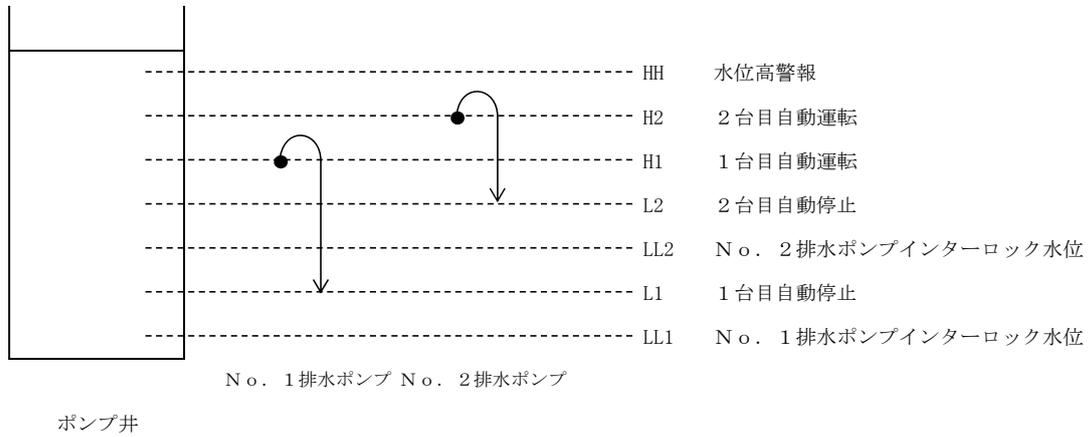
区分	ポンプ設備	機器名称	No. □排水ポンプ (□:1, 2)		容量	30kW (No. 1) 55kW (No. 2)
運 転 方 式			既設	2台	今回	全体 2台



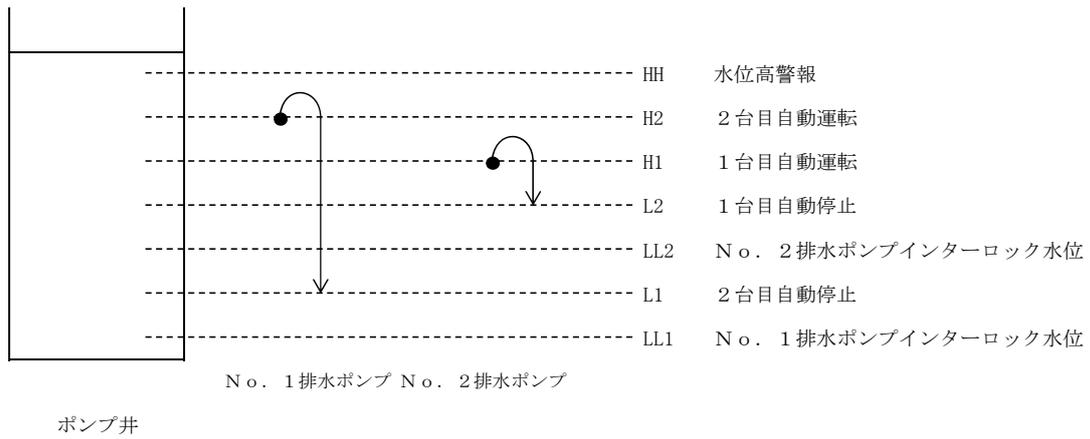
No. □排水ポンプ(□:1,2)

ポンプ井水位による自動運転

No. 1 排水ポンプが先発号機の場合

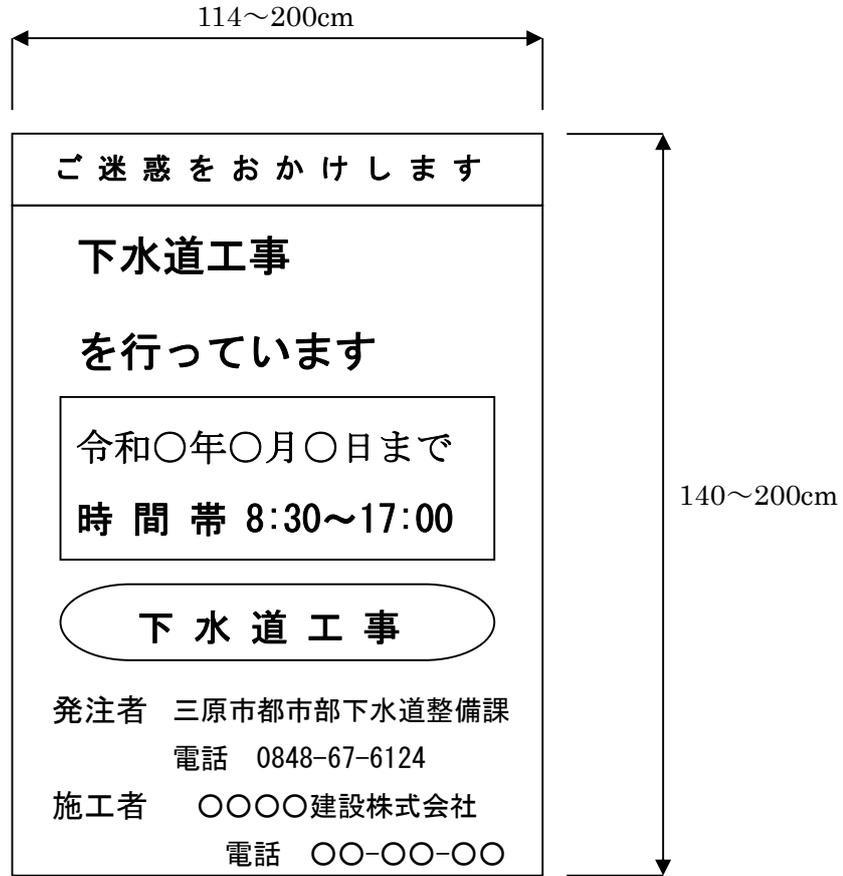


No. 2 排水ポンプが先発号機の場合

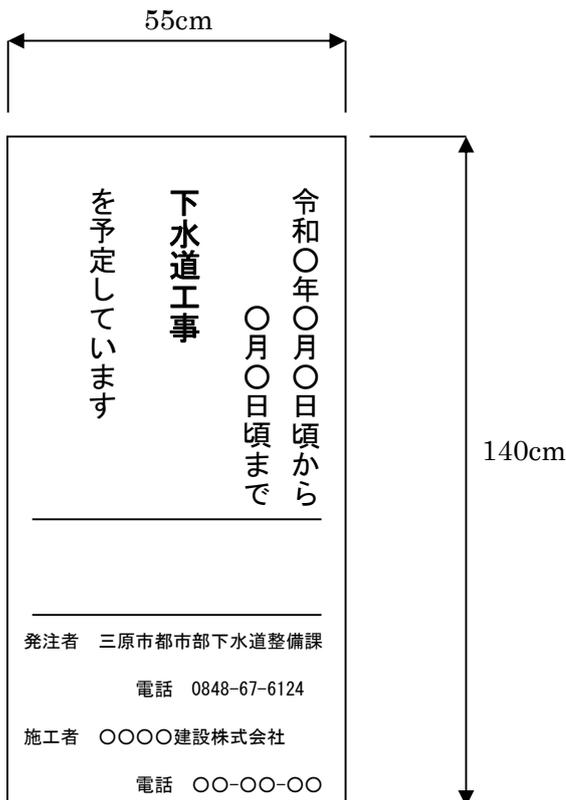




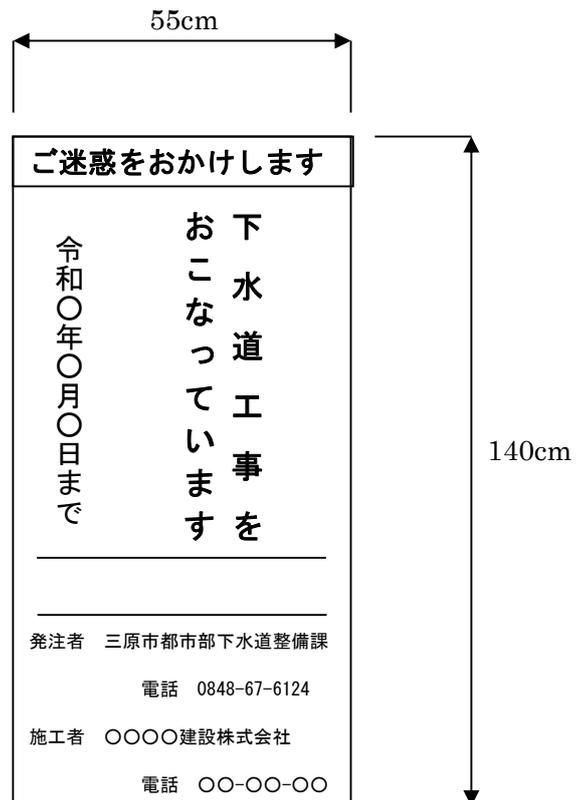
【工事標示板】



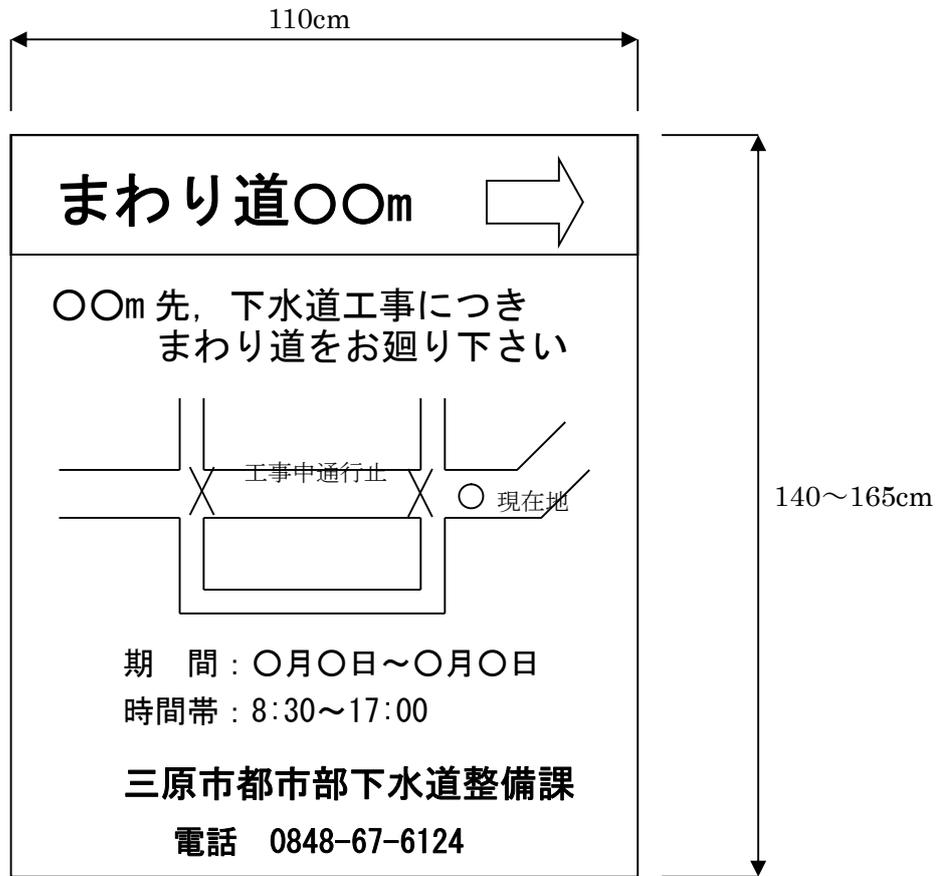
【工事情報看板】



【工事説明看板】



【まわり道案内表示板】



# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
設備工（機器費）		式	1	レベル1
電気設備工		式	1	レベル2
電気設備工		式	1	レベル3
設計技術費対象		式	1	レベル4
** 機器費 **				
設備工		式	1	レベル1
電気設備工		式	1	レベル2
輸送費		式	1	レベル3
運搬費		式	1	レベル4
材料費		式	1	レベル3
直接材料費		式	1	レベル4
補助材料費		式	1	レベル4
労務費		式	1	レベル3
一般労務費		式	1	レベル4
技術労務費		式	1	レベル4
複合工費		式	1	レベル3
複合工		式	1	レベル4

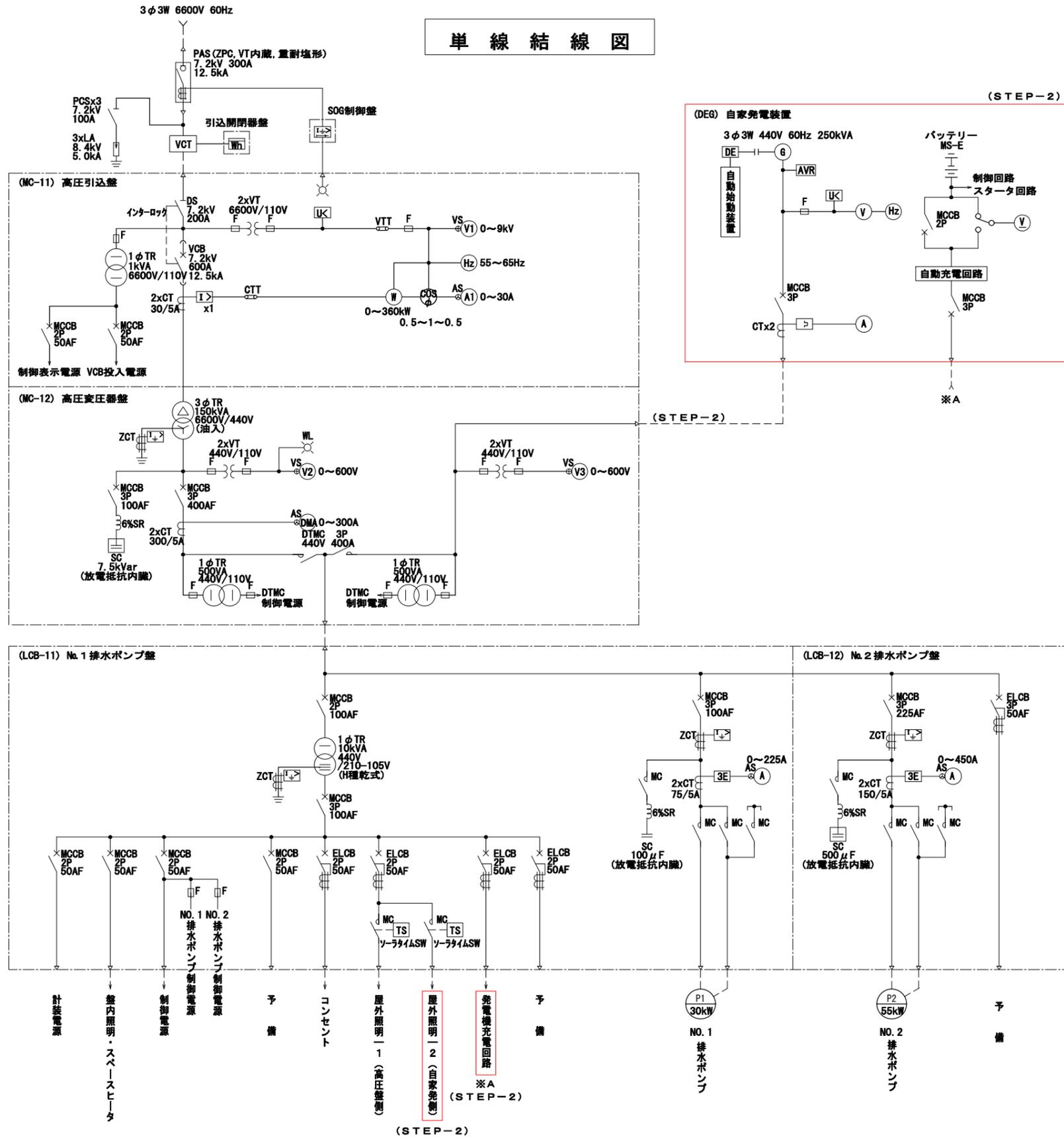
# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
直接経費		式	1	レベル3
機械経費		式	1	レベル4
総合試運転費		式	1	レベル4
仮設費		式	1	レベル3
**直接工事費**				
準備費				
準備費		式	1	レベル2
準備費		式	1	レベル3
準備費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
**共通仮設費**				
**純工事費**				
現場管理費				
据付（技術者）間接費				
据付（機 器）間接費				
**据付工事原価**				
設計技術費				
**工事原価**				





# 単線結線図



## 凡例

記号	名称	記号	名称
PAS	気中負荷開閉器	⊙	電圧計
PCS	高圧カットアウトスイッチ	⊕	電圧切換スイッチ
VCT	取引用計器	⊖	電流計
VCB	真空しゃ断器	⊗	上・下限設定付き電流計
DS	断路器	⊙	電流切換スイッチ
LA	避雷器	⊖	電力計
VT	計器用変圧器	⊖	電力計
CT	計器用変流器	⊕	力率計
ZCT	零相変流器	⊖	周波数計
F	ヒューズ	⊖	過電流継電器
MCCB	配線用遮断器	⊖	地絡方向過電流継電器
ELCB	漏電遮断器	⊖	地絡過電流継電器
TR	変圧器	⊖	不足電圧継電器
SC	進相コンデンサ	⊖	3要素継電器
SR	直列リアクトル	⊖	電圧継電器
G	発電機	⊖	自動電圧調整器
DE	ディーゼルエンジン	⊖	サーマルリレー
DT-MC	双投形電磁接触器		
MC	電磁接触器		

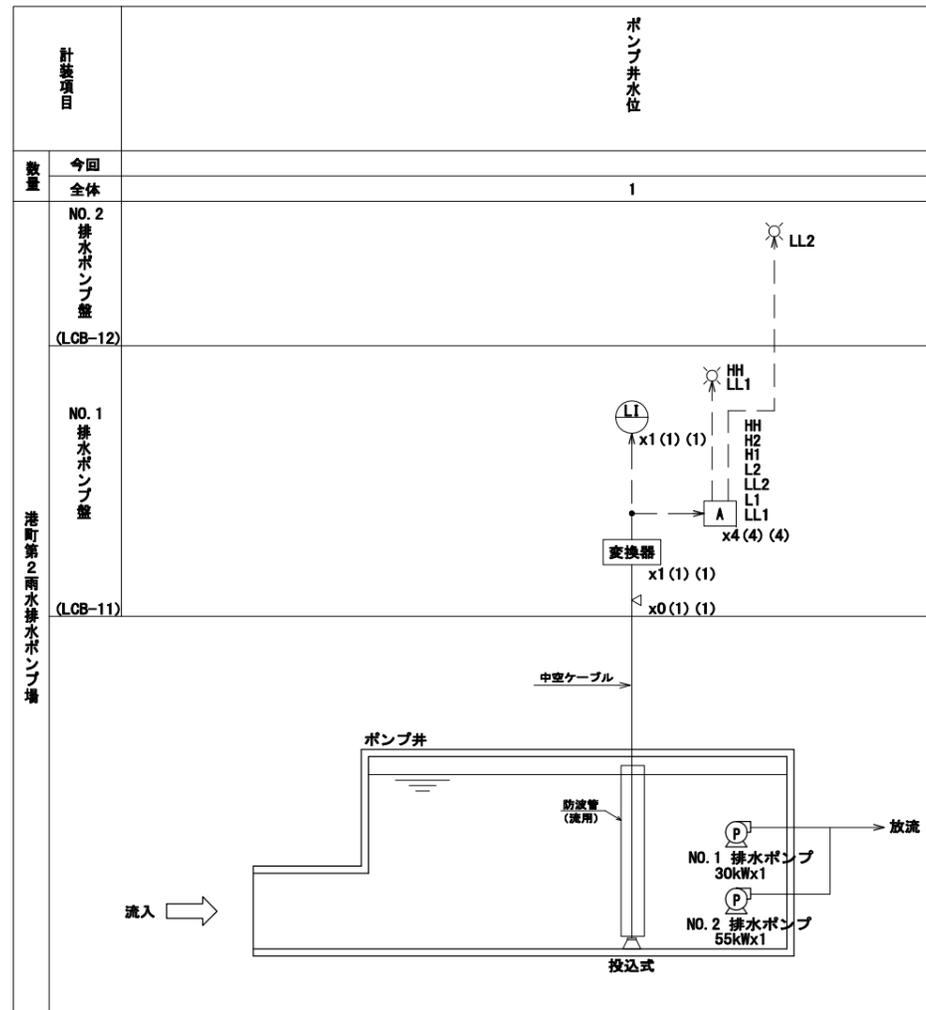
## 注記

1. 图中  は、新設を示す。

## 令和2年度 公共下水道事業

工事名	港町第2雨水排水ポンプ場 自家発電設備工事		
工事場所	三原市港町三丁目		
図面番号	E-12	縮尺	1/10,000
位置図、単線結線図 (新設) (STEP-2)			
三原市			

# 計装フローシート

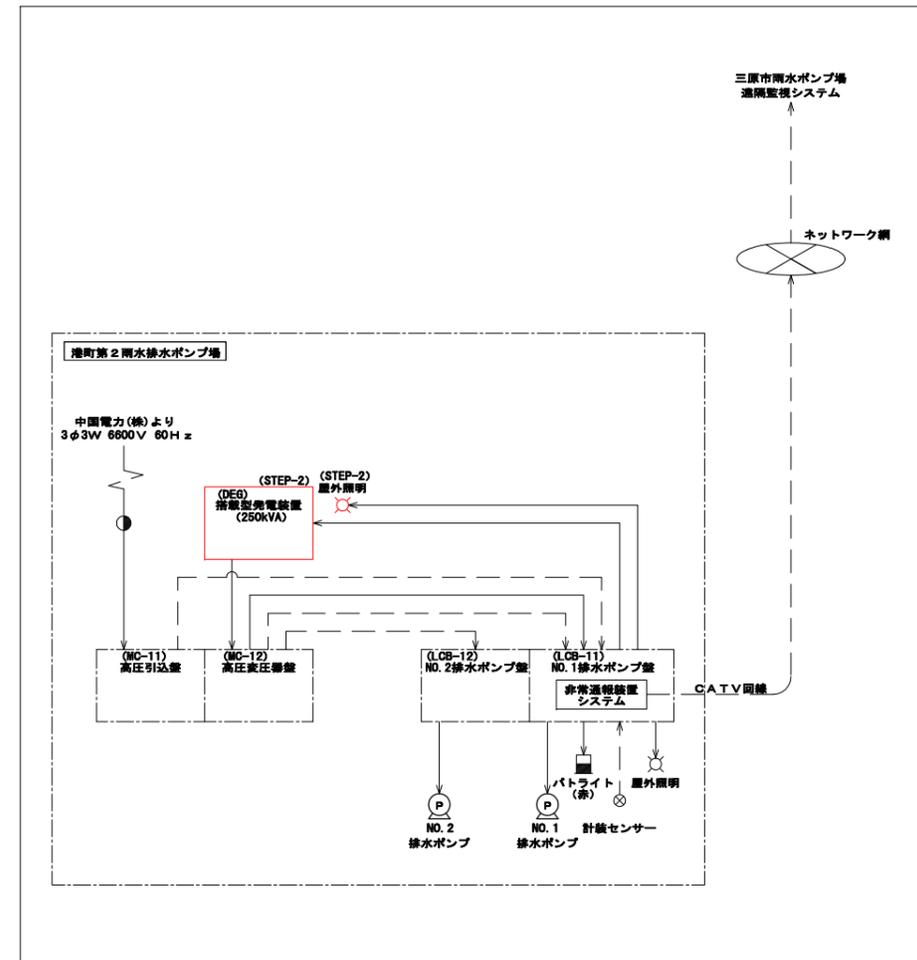


### 凡例

記号	名称	備考
L	水位 (液位)	
I	指示	
A	警報設定器	
⊕	投込式水位計	
<	アレスター	

備考 1) xA (B) (C)  
A: 既設  
B: 今回  
C: 全体

# システム構成図

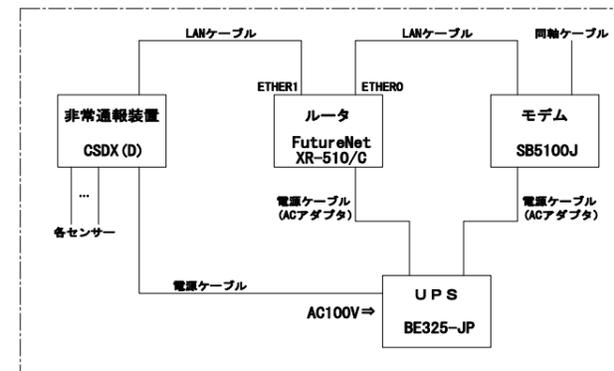


### 凡例

—	動力
- - -	制御・計装

# 非常通報システム詳細図

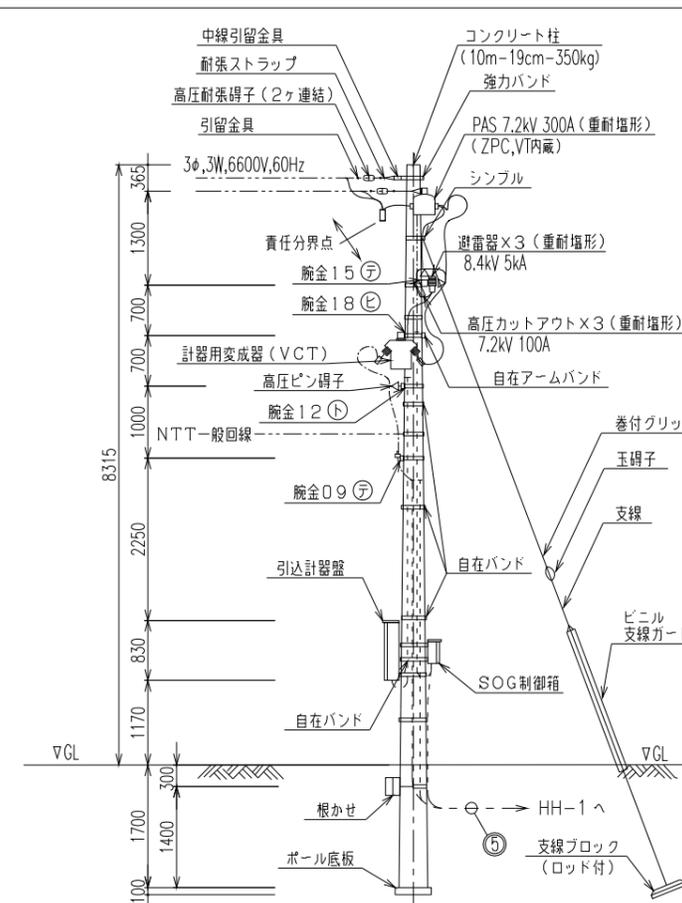
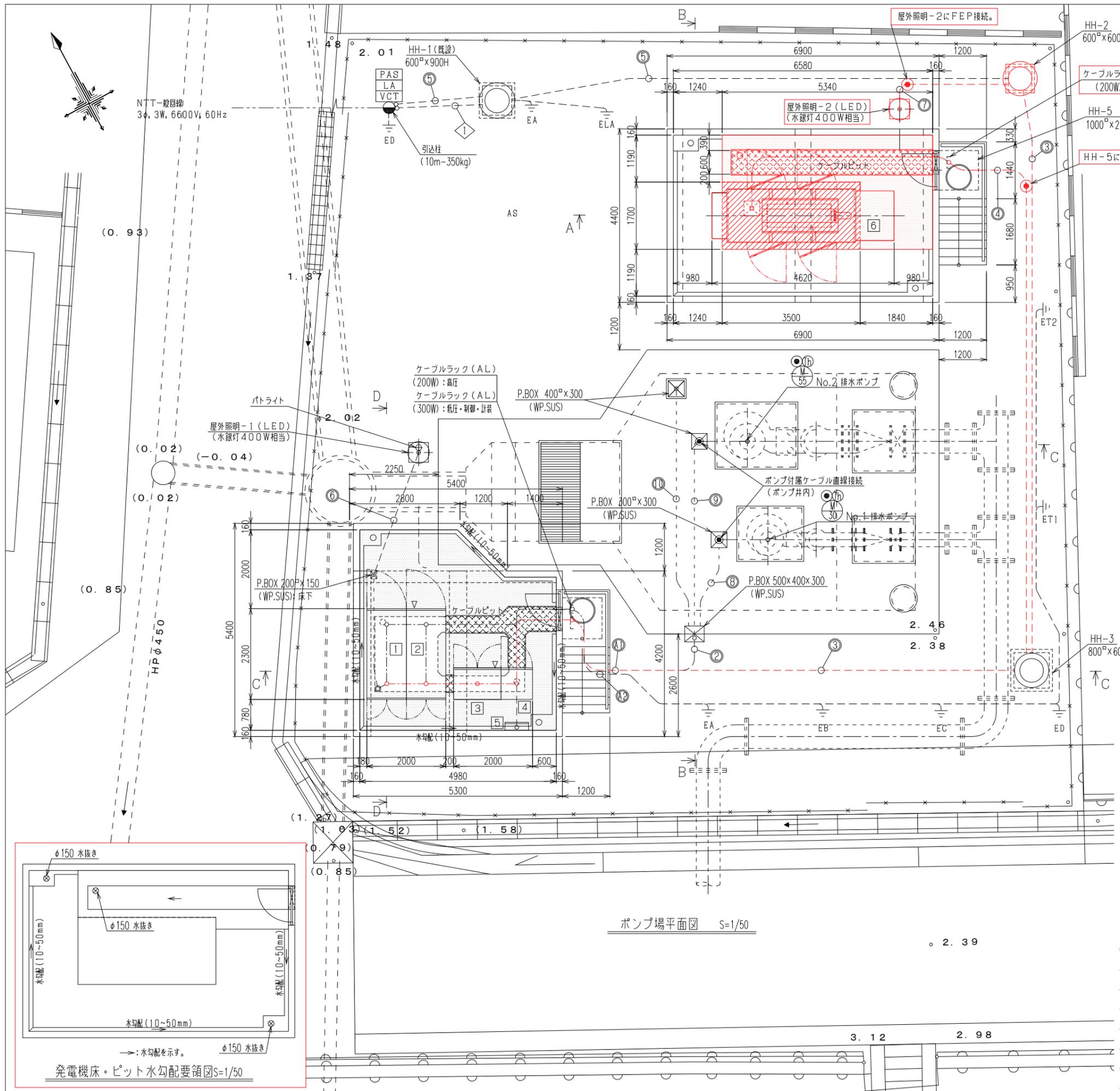
(参考図)



### 注記

1. 図中  は、新設を示す。

令和2年度 公共下水道事業			
工事名	港町第2雨水排水ポンプ場 自家発電設備工事		
工事場所	三原市港町三丁目		
図面番号	E-13	縮尺	NON
計装フローシート・システム構成図 (新設) (STEP-2)			
三原市			



機器名称一覧表

番号	記号	名称	備考
1	MC-12	高圧変圧器盤	既設
2	MC-11	高圧引込盤	〃
3	LCB-11	No.1 排水ポンプ盤	〃
4	LCB-12	No.2 排水ポンプ盤	〃
5	ETB	接地端子箱 (4P+2P)	〃
6	DEG	自家発電装置 (250kVA) 75dB(A)	今回

電線管サイズ一覧表

経路	高圧	低圧	接地	制御	計装	CATV	NTT	備考
◇	PE82	-	VE22, VE16	PE36	-	-	-	既設
①	G82	G104, G54, G104	-	G54, G54	G28	G28	G54	別途工事
②	-	-	VE22x4, VE16x2	-	-	-	-	〃
③	* FEPφ80	FEPφ100, φ50	-	FEPφ50	-	* FEPφ30	* FEPφ50	既設
④	-	FEPφ100	-	FEPφ50	* FEPφ30	-	-	〃
⑤	* FEPφ80	FEPφ50	-	FEPφ30	-	* FEPφ30	* FEPφ50	〃
⑥	-	FEPφ100, φ50	-	FEPφ50	-	-	-	既設FEPと接続
⑦	* FEPφ80	-	-	FEPφ30	-	* FEPφ30	* FEPφ50	既設
⑧	-	FEPφ30x2	-	-	-	-	-	〃
⑨	-	FEPφ30	-	-	-	-	-	既設FEPと接続
⑩	-	G70	-	G22	-	-	-	既設
⑪	-	G92	-	G22	-	-	-	〃
⑫	-	-	VE22x4, VE16x2	-	G28	-	-	〃

注) 1 G管は溶融垂鉛メッキ鋼管とする。  
注) 2 \*印のFEPは難燃型とする。

注記

1.  は、今回を示す。
2.  は、基礎打増し部 (PE) : 鉄筋コンクリートを示す。
3.  は、基礎打増し部 (PE) : 無筋コンクリートを示す。
4. ケーブルピット蓋及び終金物は、SS製 (溶融垂鉛メッキ) とする。
5. 場内舗装はすべて更新とし、舗装仕様は下記とする。  
再生密粒度As: 50mm 粒度調整再生砕石: 150mm
6. 特記無きは、既設を示す。

**令和2年度 公共下水道事業**

**港町第2雨水排水ポンプ場  
自家発電設備工事**

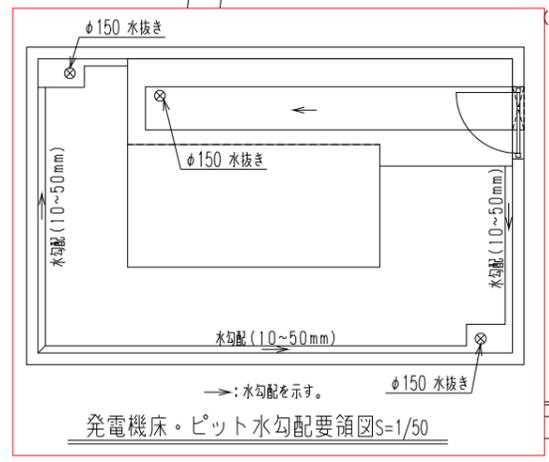
工事名: 港町第2雨水排水ポンプ場  
自家発電設備工事

工事場所: 三原市港町三丁目

図面番号: E-14 縮尺: 1/50

**機器配置・配線図 (平面図) [新設]  
(STEP-2)**

**三原市**

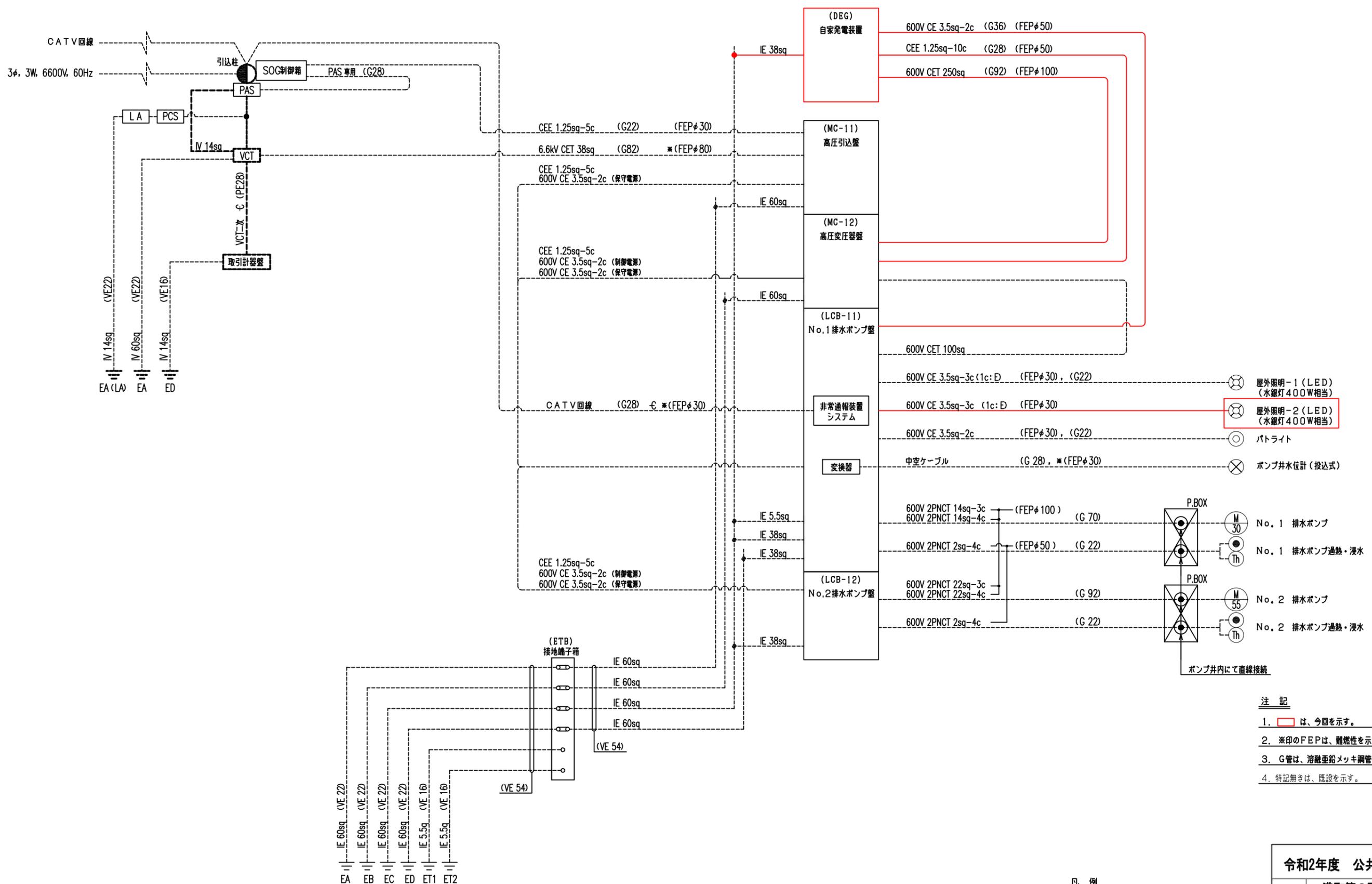


ポンプ場平面図 S=1/50

。 2. 39

3. 12 2. 98





配線系統図 (新設)

- ⊗ 屋外照明-1 (LED)  
(水銀灯400W相当)
- ⊗ 屋外照明-2 (LED)  
(水銀灯400W相当)
- パトライト
- ⊗ ポンプ井水位計 (投込式)

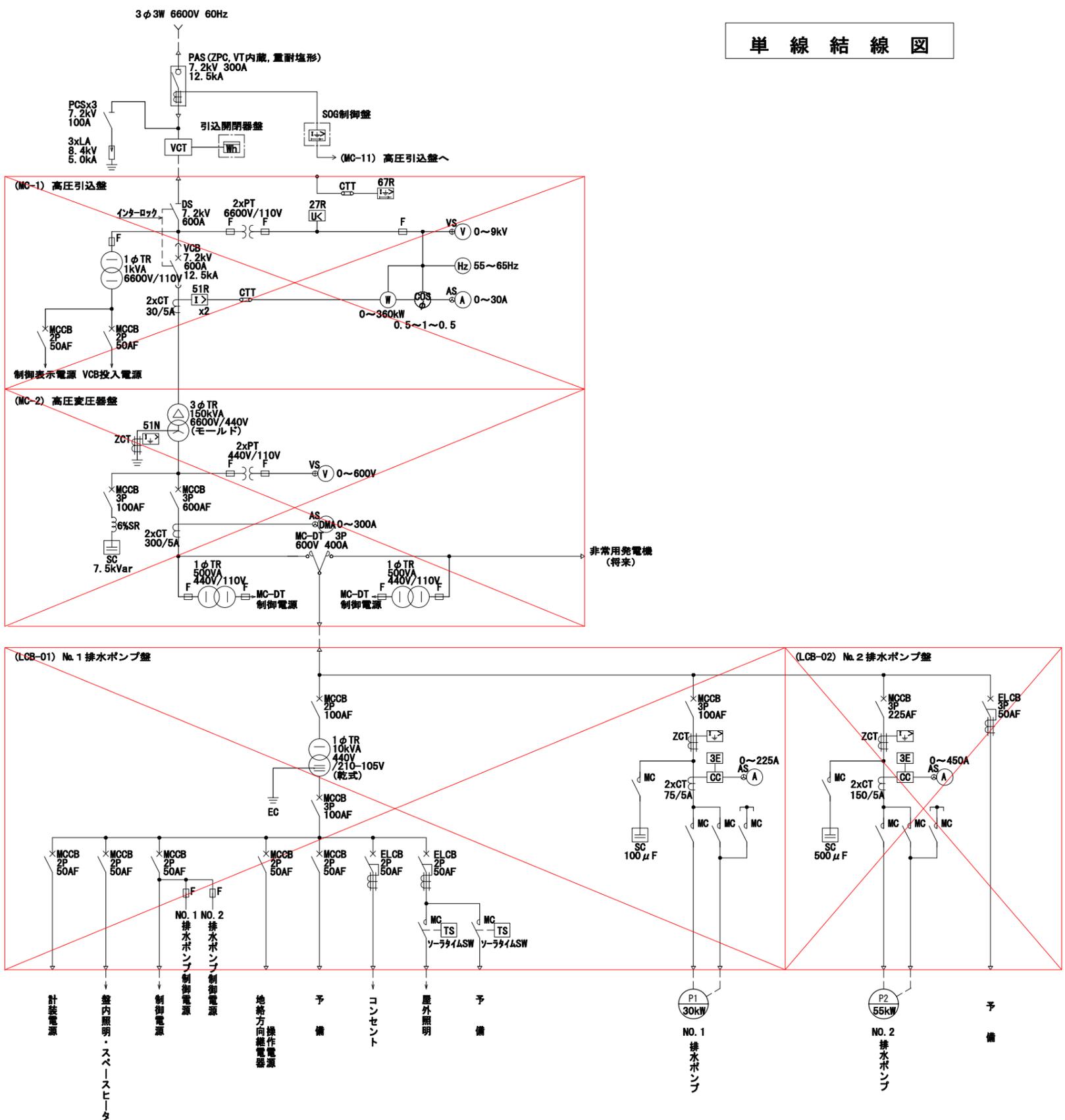
- 注 記
1.  は、今回を示す。
  2. ※印のFEPは、難燃性を示す。
  3. G管は、溶融垂鉛メッキ鋼管とする。
  4. 特記無きは、既設を示す。

- 凡 例
1.  は、新設ケーブルを示す。
  2.  は、既設ケーブルを示す。

<b>令和2年度 公共下水道事業</b>			
工事名	港町第2雨水排水ポンプ場 自家発電設備工事		
工事場所	三原市港町三丁目		
図面番号	E-16	縮 尺	NON
配線系統図 [新設] (STEP-2)			
<b>三 原 市</b>			

# 単線結線図

記号	名称	記号	名称
PAS	気中負荷開閉器	○	電圧計
PCS	高圧カットアウトスイッチ	⊙	電圧切換スイッチ
VGT	取引用計器	⊖	電流計
VCB	真空しゃ断器	⊕	上・下限設定付き電流計
DS	断路器	⊗	電流切換スイッチ
LA	避雷器	⊖	電力計
VT	計器用変圧器	⊖	電力計
CT	計器用変流器	⊖	力率計
ZCT	零相変流器	⊖	周波数計
F	ヒューズ	⊖	過電流継電器
MCCB	配線用遮断器	⊖	地絡方向過電流継電器
ELCB	漏電遮断器	⊖	地絡過電流継電器
TR	変圧器	⊖	不足電圧継電器
SC	進相コンデンサ	⊖	3要素継電器
SR	直列リアクトル	⊖	電圧継電器
DT-MC	双投形電磁接触器	TH	サーマルリレー
MC	電磁接触器		

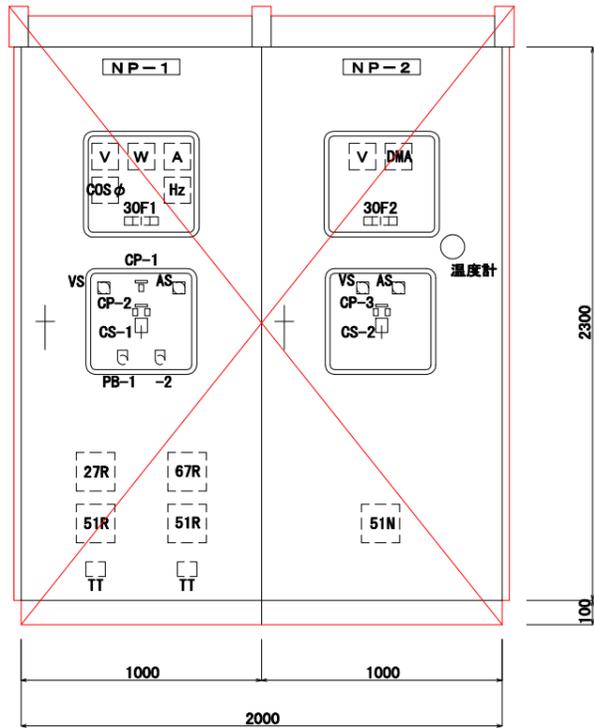


注記  
1. 图中 は、撤去を示す。

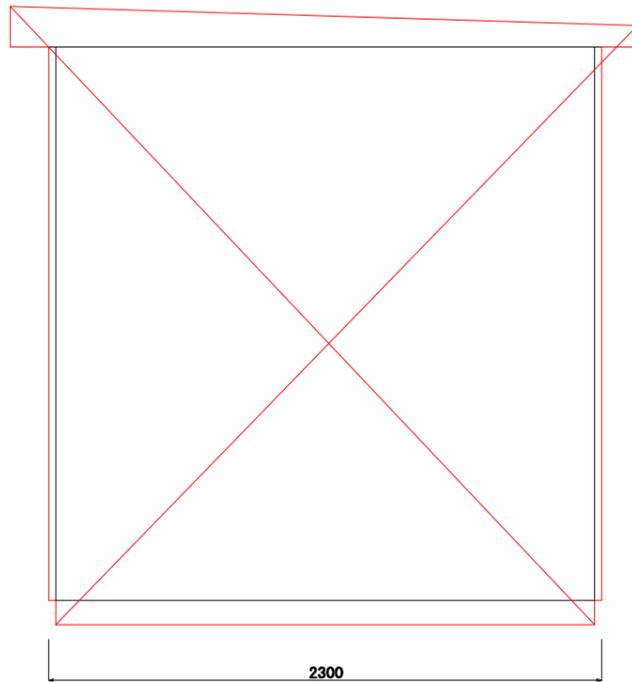
令和2年度 公共下水道事業			
工事名	港町第2雨水排水ポンプ場 自家発電設備工事		
工事場所	三原市港町三丁目		
図面番号	E-17	縮尺	NON
単線結線図(撤去) (STEP-2)			
三原市			

# 高圧盤外形図

S=1/15



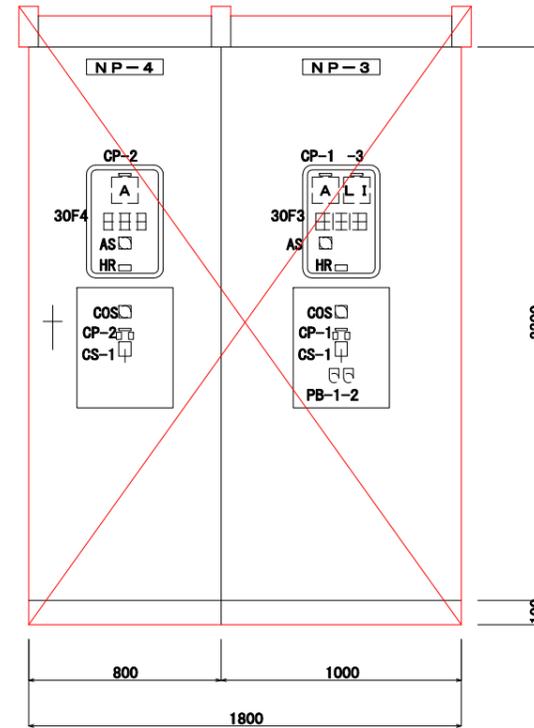
正面図



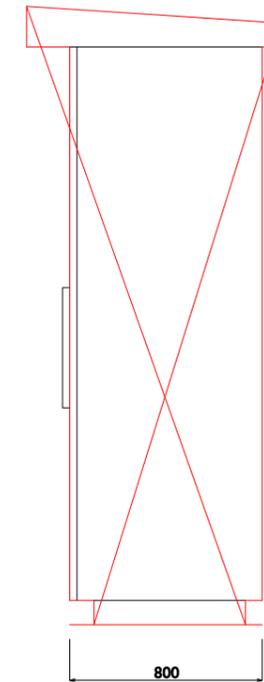
側面図

# ポンプ盤外形図

S=1/15



正面図



側面図

記号	盤記号	盤名称	備考
NP-3	LCB-01	No.1 排水ポンプ盤	
4	LCB-02	No.2 排水ポンプ盤	

記号	記入文字	備考
CP-1	No.1 排水ポンプ	
2	No.2 排水ポンプ	
3	ポンプ井水位	
COS	切換スイッチ (手動-自動)	
CS-1	操作スイッチ (停止-運転)	
PB-1	押釦スイッチ (ランプテスト)	
2	押釦スイッチ (故障復帰)	

記号	記入文字	備考
30F3~4		集合表示灯
AS		電流切換スイッチ
HR		運転時間計
A		電流計
LI		水位指示計

記号	盤記号	盤名称	備考
NP-1	MC-01	高圧引込盤	
2	MC-02	高圧変圧器盤	

記号	記入文字	備考
CP-1	受電断路器	
2	受電遮断器	
3	受電切替	
CS-1	操作スイッチ (切-入)	
2	操作スイッチ (買電-自家発)	
PB-1	押釦スイッチ (故障復帰)	
2	押釦スイッチ (ランプテスト)	

記号	記入文字	備考
30F1~2		集合表示灯
VS		電圧切換スイッチ
AS		電流切換スイッチ
V		電圧計
A		電流計
DMA		上・下限設定付き電流計
W		電力計
COSφ		力率計
Hz		周波数計
67R	[ ]	地絡方向過電流継電器
27R	[ ]	不足電圧継電器
51R	[ ]	過電流継電器
51N	[ ]	地絡過電流継電器

30F1			
受電	受電	受電	
過電流	地絡	停電	

30F2			
変圧器	MCCB	漏電	
温度上昇	トリップ		

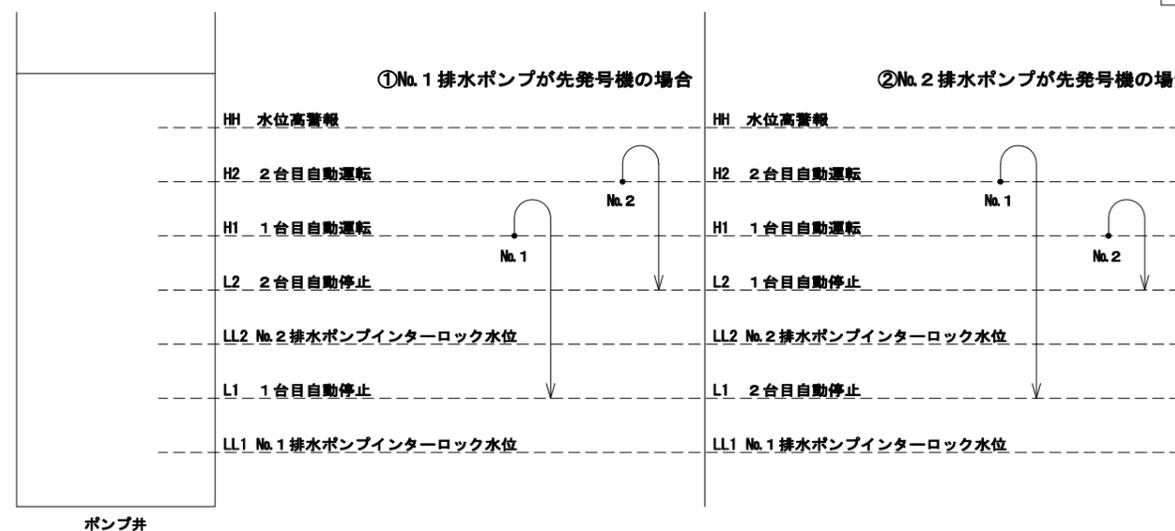
高圧引込盤	
構造	屋外自立型
材質	SUS製
板厚	箱体: 2.3mm
	外扉: 2.3mm
チャンネルベース	SUS製
塗装	ポリウレタン焼付
備考	内装品 ・スペースヒータ ・盤内灯 ・盤内コンセント

No.1 排水ポンプ盤	
構造	屋外自立型
材質	SUS製
板厚	箱体: 2.3mm
	外扉: 2.3mm
チャンネルベース	SUS製
塗装	ポリウレタン焼付
備考	内装品 ・スペースヒータ ・盤内灯 ・盤内コンセント

30F3					
ポンプ	先発	ポンプ	ポンプ		高水位
運転		地絡	温度上昇		
ポンプ		ポンプ	ポンプ		低水位
停止		3E	浸水		

30F4					
ポンプ	先発	ポンプ	ポンプ		
運転		地絡	温度上昇		
ポンプ		ポンプ	ポンプ		低水位
停止		3E	浸水		

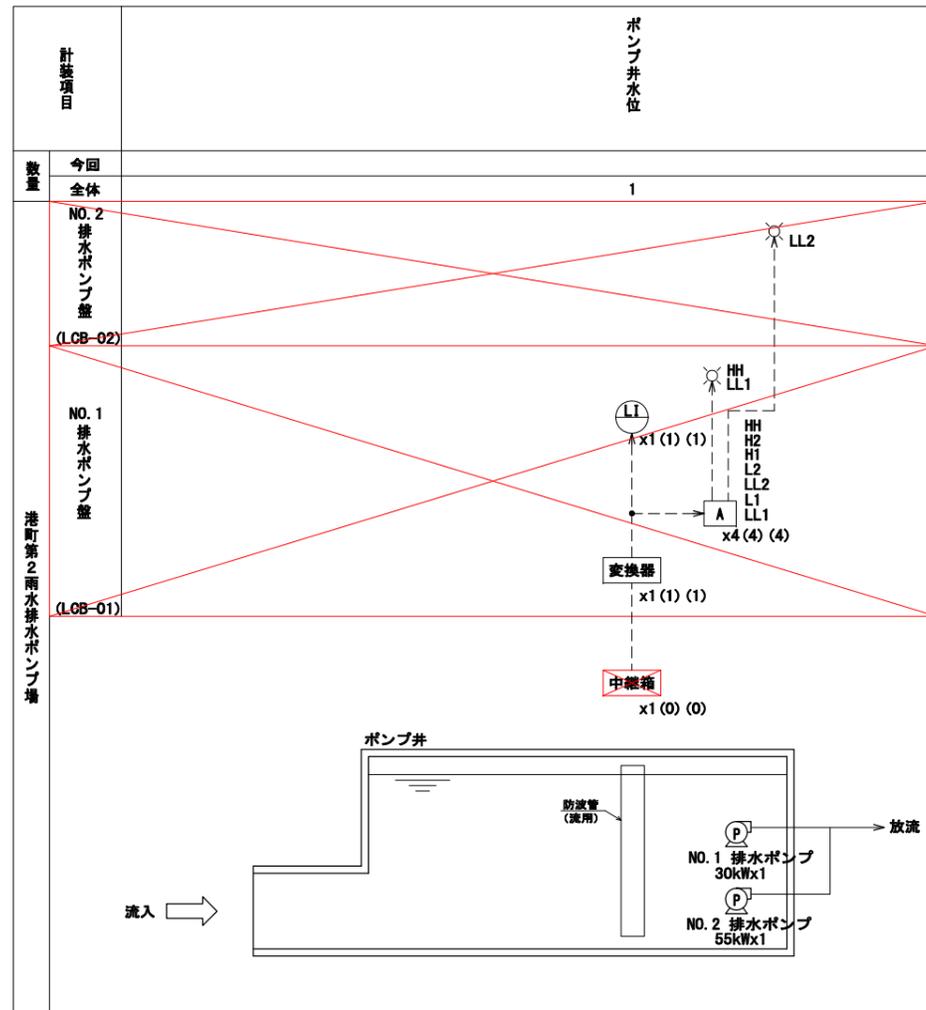
## ポンプ井水位による自動運転



注記  
1. 図中 は、撤去を示す。

令和2年度 公共下水道事業			
工事名	港町第2雨水排水ポンプ場 自家発電設備工事		
工事場所	三原市港町三丁目		
図面番号	E-18	縮尺	1/15
高圧盤・ポンプ盤外形図 (撤去) (STEP-2)			
三原市			

# 計装フローシート

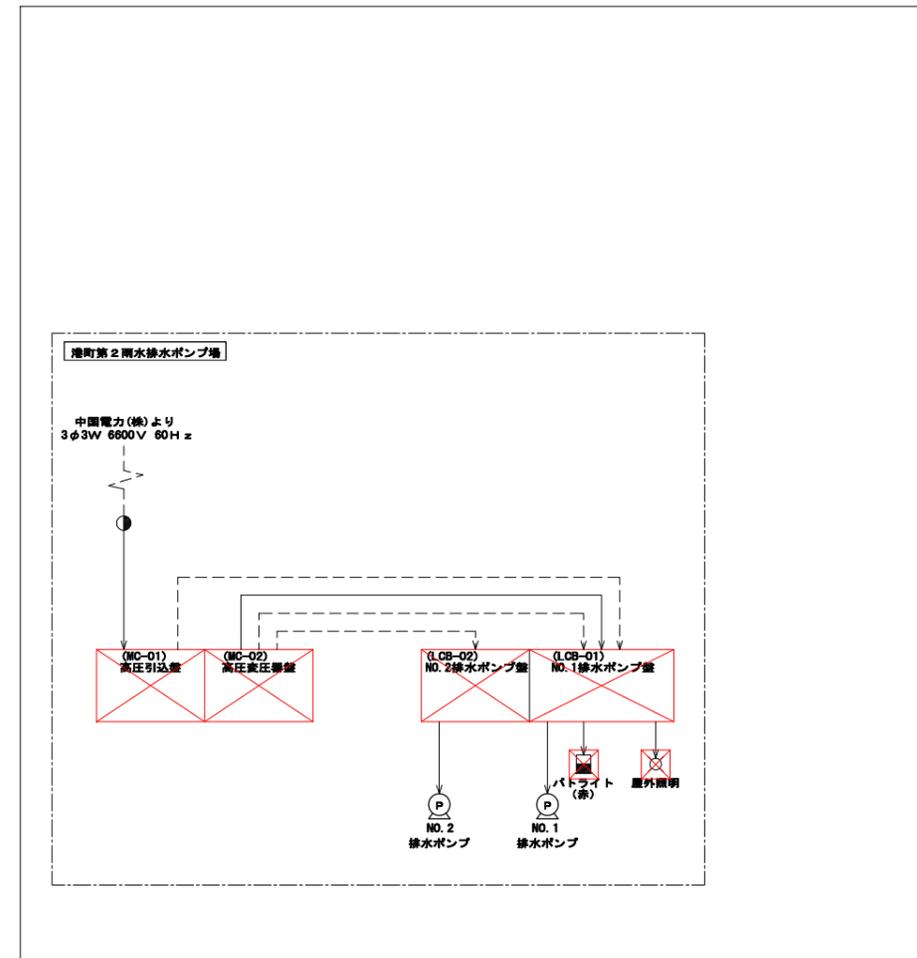


### 凡例

記号	名称	備考
L	水位 (液位)	
I	指示	
A	警報設定器	
⊕	投込式水位計	

備考 1) xA (B) (C)  
 A: 既設  
 B: 今回  
 C: 全体

# システム構成図

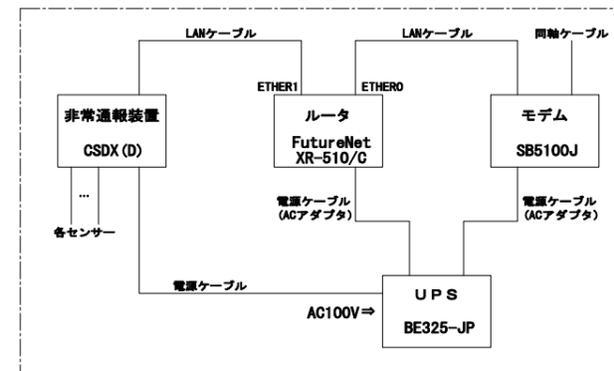


### 凡例

—	動力
- - -	制御・計装

# 非常通報システム詳細図

(参考図)

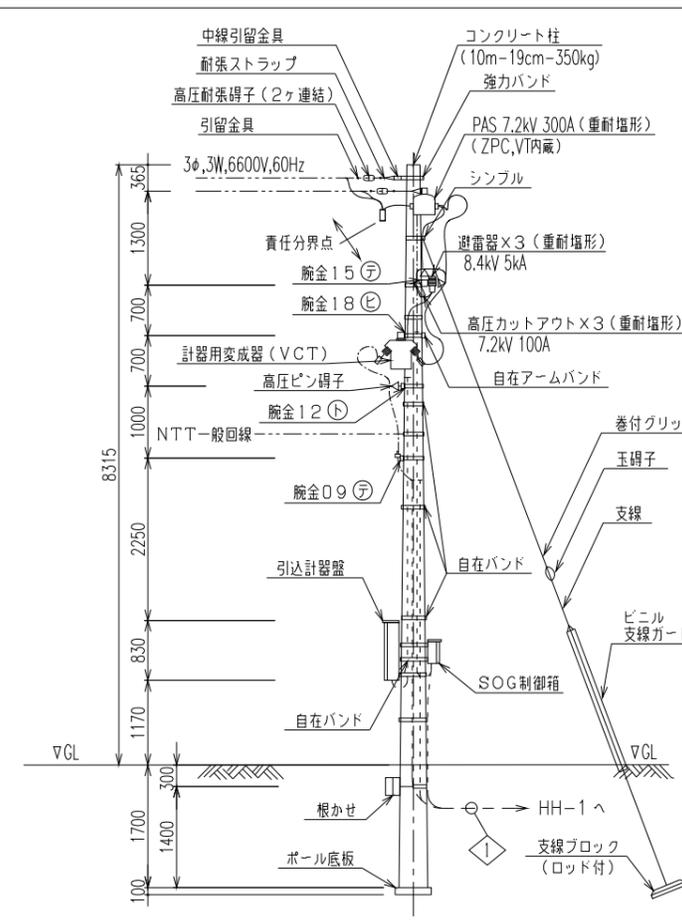
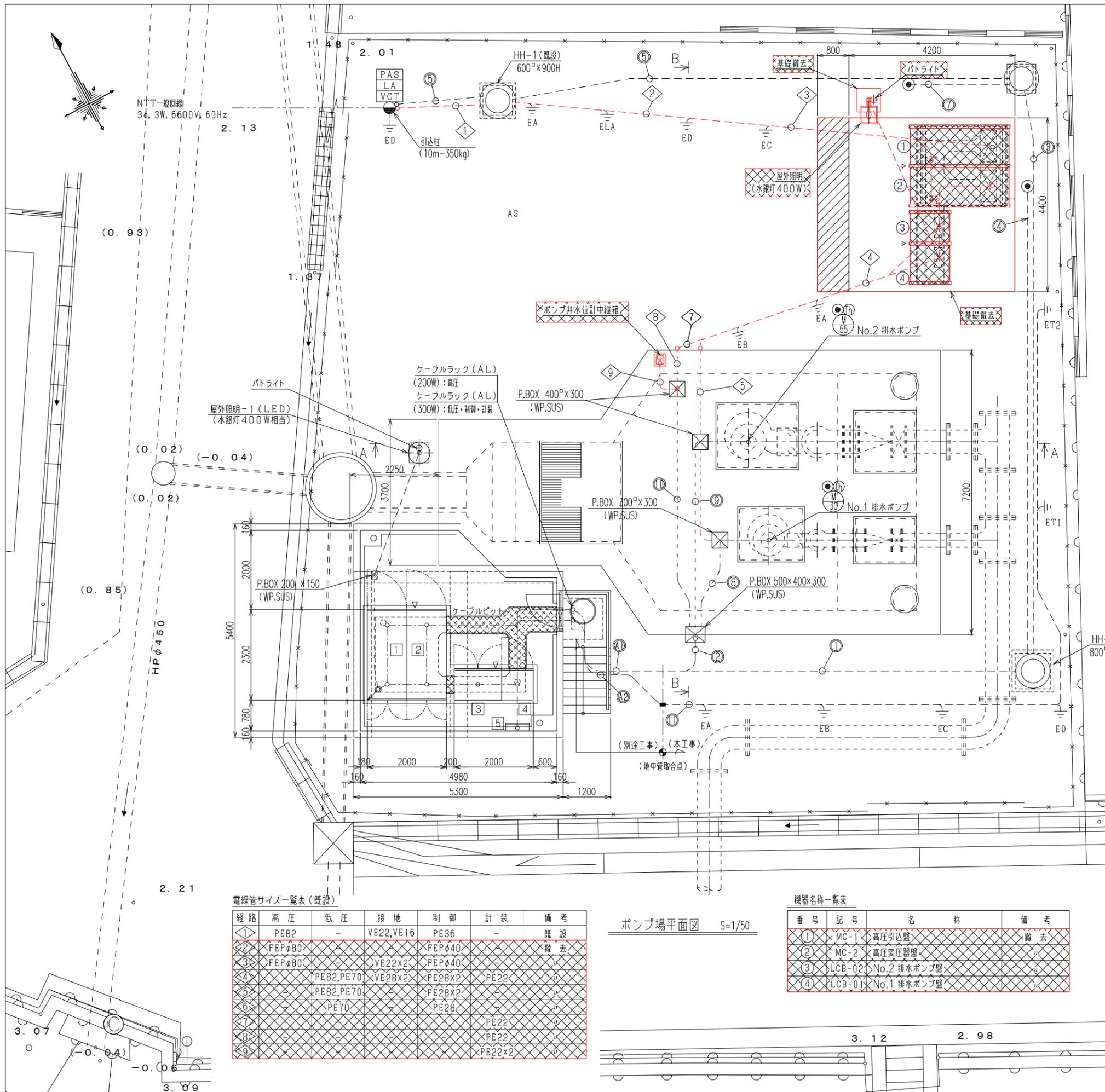


### 注記

1. 図中 は、撤去を示す。

## 令和2年度 公共下水道事業

工事名	港町第2雨水排水ポンプ場 自家発電設備工事		
工事場所	三原市港町三丁目		
図面番号	E-19	縮尺	NON
計装フローシート・システム構成図 (撤去) (STEP-2)			
三原市			



機器名称一覧表 (新設)

番号	記号	名称	備考
1	MC-12	高圧変圧器盤	既設
2	MC-11	高圧引込盤	〃
3	LCB-11	No.1 排水ポンプ盤	〃
4	LCB-12	No.2 排水ポンプ盤	〃
5	ETB	接地端子箱 (4P+2P)	〃
6	DEG	自家発電装置 (250kVA) 75dB (A)	STEP-2

電線管サイズ一覧表

経路	高圧	低圧	接地	制御	計装	CATV	NTT	備考
①	G82	G104, G54, G104	-	G54, G54	G28	G28	G54	別途工事
②	-	-	VE22x4, VE16x2	-	-	-	-	〃
③	* FEPφ80	FEPφ100, φ50	-	FEPφ50	-	* FEPφ30	* FEPφ50	既設
④	-	FEPφ100	-	FEPφ50	* FEPφ30	-	-	〃
⑤	* FEPφ80	FEPφ50	-	FEPφ30	-	* FEPφ30	* FEPφ50	〃
⑥	-	FEPφ100, φ50	-	FEPφ50	-	-	-	〃
⑦	* FEPφ80	-	-	FEPφ30	-	* FEPφ30	* FEPφ50	〃
⑧	-	FEPφ30x2	-	-	-	-	-	〃
⑨	-	FEPφ30	-	-	-	-	-	〃
⑩	-	G70	-	G22	-	-	-	〃
⑪	-	G92	-	G22	-	-	-	〃
⑫	-	-	-	-	G28	-	-	〃
⑬	-	-	VE22x4, VE16x2	-	-	-	-	〃

注) 1 G管は溶融亜鉛メッキ銅管とする。  
注) 2 \*印のFEPは難燃型とする。

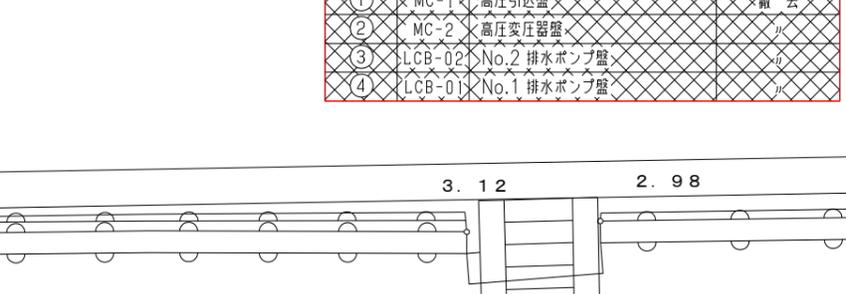
電線管サイズ一覧表 (既設)

経路	高圧	低圧	接地	制御	計装	備考
①	PE82	-	VE22, VE16	PE36	-	既設
②	FEPφ80	-	-	FEPφ40	-	撤去
③	FEPφ80	-	VE22x2	FEPφ40	-	〃
④	-	PE82, PE70	VE28x2	PE28x2	PE22	〃
⑤	-	PE82, PE70	VE28x2	PE28x2	PE22	〃
⑥	-	PE70	VE28	PE28	PE22	〃
⑦	-	-	-	-	PE22	〃
⑧	-	-	-	-	PE22	〃
⑨	-	-	-	-	PE22x2	〃

機器名称一覧表

番号	記号	名称	備考
①	MC-1	高圧引込盤	撤去
②	MC-2	高圧変圧器盤	〃
③	LCB-02	No.2 排水ポンプ盤	〃
④	LCB-01	No.1 排水ポンプ盤	〃

ポンプ場平面図 S=1/50



注記

1. は、撤去を示す。
2. 盤基礎・屋外照明基礎及び地中埋設電線管は、撤去する。
3. 特記無きは、既設を示す。

**令和2年度 公共下水道事業**

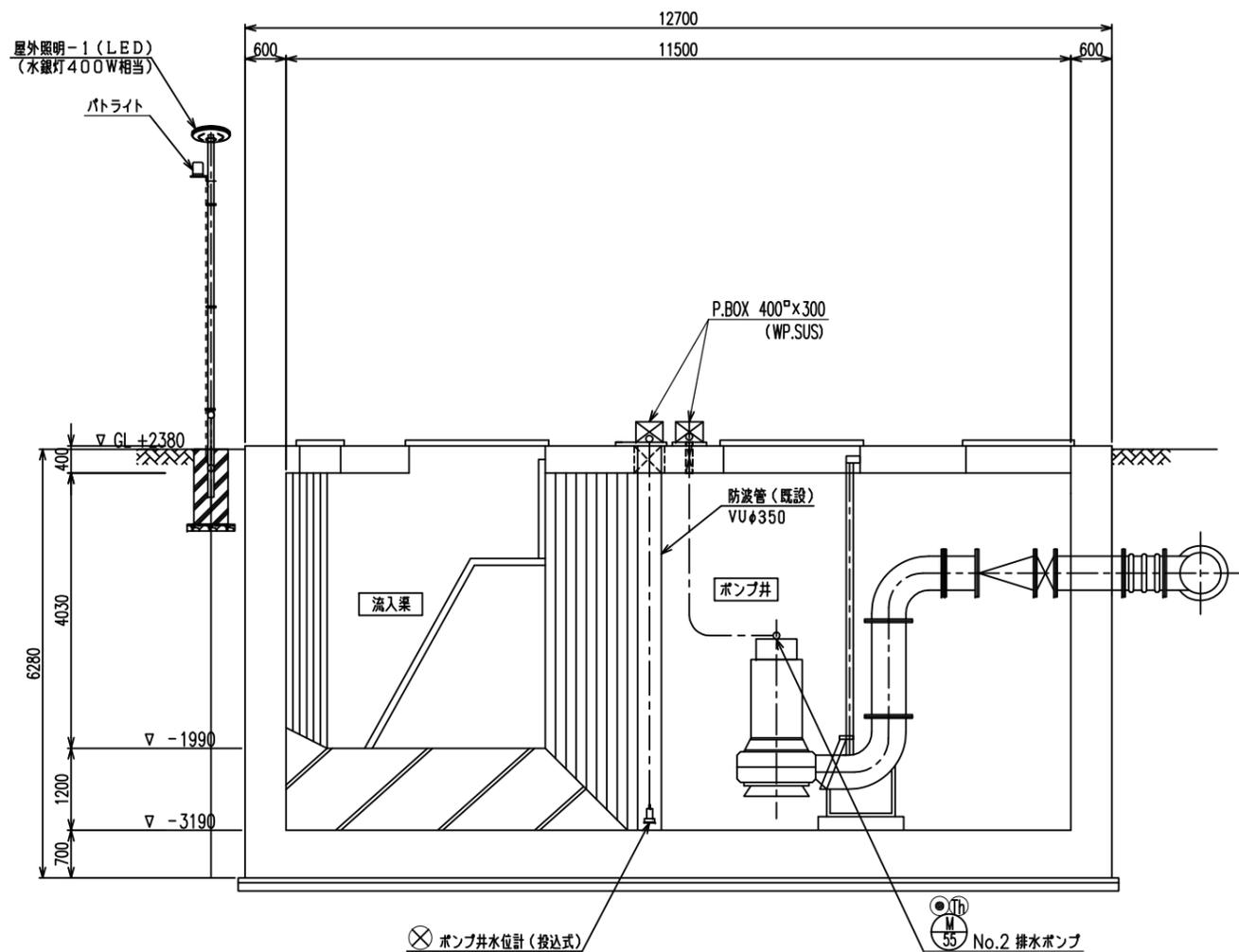
**工事名** 港町第2雨水排水ポンプ場 自家発電設備工事

**工事場所** 三原市港町三丁目

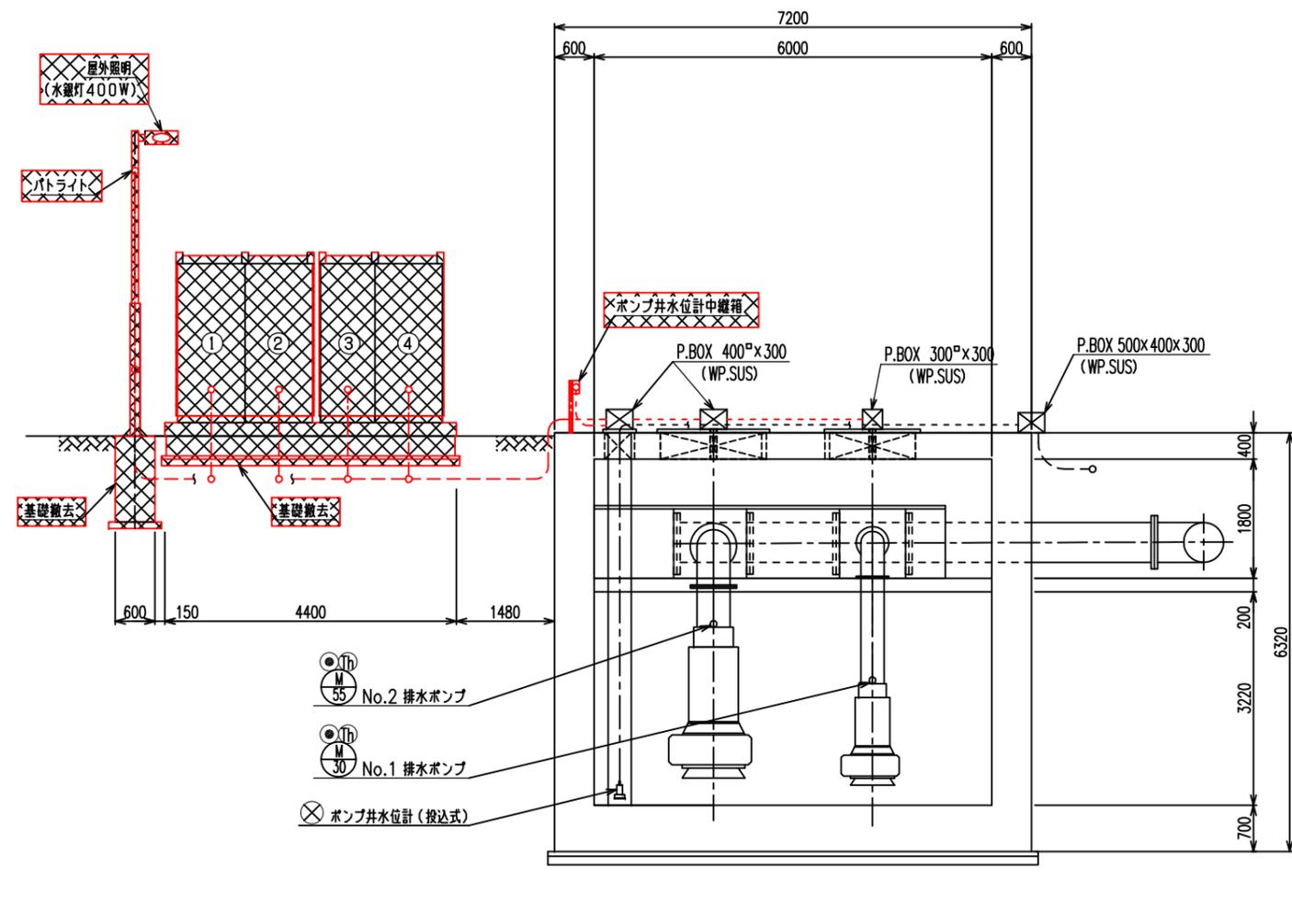
**図面番号** E-20 **縮尺** 1/50

**機器配置・配線図 (平面図) [撤去] (STEP-2)**

**三原市**



A-A 断面図 S=1/50



B-B 断面図 S=1/50

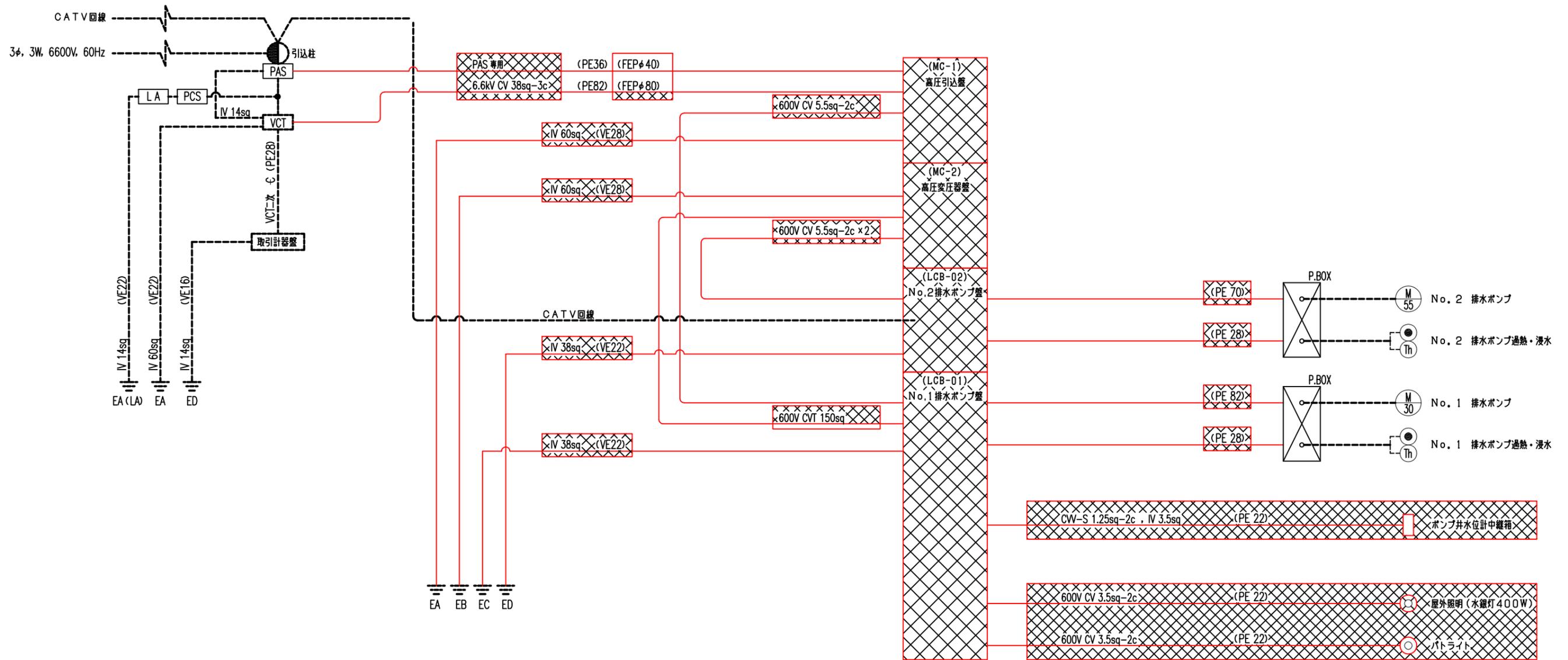
機器名称一覧表

番号	記号	名称	備考
①	MC-1	高压引込盤	仮設
②	MC-2	高压変圧器盤	
③	LCB-02	No.2 排水ポンプ盤	
④	LCB-01	No.1 排水ポンプ盤	

注記

- ①, ② は、撤去を示す。
- 盤基礎及び地中埋設電線管は、撤去する。
- 特記無きは、既設を示す。

令和2年度 公共下水道事業			
工事名	港町第2雨水排水ポンプ場 自家発電設備工事		
工事場所	三原市港町三丁目		
図面番号	E-21	縮尺	1/50
機器配置・配線図 (断面図) [撤去] (STEP-2)			
三原市			



配線系統図 (撤去)

注記  
 1. は、撤去を示す。

凡例  
 1. は、撤去ケーブルを示す。

令和2年度 公共下水道事業			
工事名	港町第2雨水排水ポンプ場 自家発電設備工事		
工事場所	三原市港町三丁目		
図面番号	E-22	縮尺	NON
配線系統図 [撤去] (STEP-2)			
三原市			

港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事  
(建築工事)

# 工事仕様書

工事名称	港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事
工事場所	三原市港町三丁目
工事内容	港町第2雨水排水ポンプ場の自家発電設備架台建築工事を行う。
準 則	公共建築工事標準仕様書、公共建築改修工事標準仕様書、建築物解体工事共通仕様書 (国土交通省官庁官庁営繕部監修・最新版) 及び下水道施設標準図(下水道事業団)に基づき施工する。
関係法令等	本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 ・建築基準法、同施行令、同施行規則 ・消防法、同施行令 ・建設業法、同施行令、同施行規則 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則 ・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則 ・建設工事公衆災害防止対策要綱 ・石綿障害予防規則 ・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法 ・その他関係法令
疑義変更	本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 施工に際して疑義を生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、監督員と協議したうえ施工すること。ただし、これらに伴う請負金額の増減は原則行わないものとする。
提出書類	施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けるものとする。また、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けるものとする。
工 期	本工事は請負契約締結の後、令和3年3月31日をもって工期とする。このうち検査期間として13日間を見込んでいる。
留意事項	・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音、振動及び粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。 ・工事に支障を及ぼす雨水及び湧水等の排水については、ノッチタンクにより汚泥等の処理を行ったうえ、適切に排水すること。 ・仮設建物費(事務所、便所)、環境安全対策費、工事に電気・水道等に係る事務所雑費は共通仮設費に見込んでいる。 ・工事中に粉塵の発生が予想される工種については、周辺の環境対策のため散水を実施すること。 ・道路使用等の手続きについては、受注者の負担により遅滞なく行うこと。 ・第三者災害防止及び飛散防止対策のため、必要に応じて監督員の指示する範囲に、バリケード等を設置すること。 ・図面に明示されていない事項であっても、工事上必要とされる事は工事範囲とする。 ・各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。 ・施工箇所周囲の工作物等の養生、清掃等については十分にこれを行うこと。 ・台風等の強風が見込まれる場合、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。 ・配筋検査は、受注者による自主検査を行ったうえ、監理者及び監督員による検査を受検すること。 なお、これらの検査は、種類、径及び数量については全数検査を行うこと。 ・施工上で必要となる備品類の移動等については受注者で行うこと。



港町第2雨水排水ポンプ場 特記仕様書			
I. 工事概要			
工事名称	港町第2雨水排水ポンプ場		
工事場所	広島県三原市港町三丁目地内		
敷地面積			
床面積(㎡)			棟 造
小計			
合計			
建築面積(㎡)			
合計			
消防法施行令第1条第1区分			
建ぺい率(指定率)	% ( )	容積率(指定率)	% ( )
用途地域		防火地域	・防火地域 ・準防火地域 ・指定なし
H	建築工事 一式	電	プラント電気設備工事 一式
機		配	
器		工	
田		機	

II. 建築工事仕様			
1. 共通仕様			
(1)	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官庁官庁管轄部制定「公共建築工事標準仕様書(建築工編)(平成31年版)」(以下、「標準仕様書」という。)による。ただし、「アスベスト」成形板の処理等は、国土交通省官庁官庁管轄部制定「公共建築改修工事標準仕様書(建築工編)(平成31年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)による。		
(2)	請負者は完了検査(中間検査含む)の検査には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料等(報告書等)を用意するものとする。		
2. 特記仕様			
(1)	項目は番号に〇印のついたものを適用する。		
(2)	特記事項は①のついたものを適用する。 ①印のつかない場合は、②印のついたものを適用する。 ①と②のついた場合は共に適用する。		
(3)	特記事項に記載の( ) 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。[ ] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。		
(4)	標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等(条例を含む)に抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.1.3)の規定を優先する。		
(5)	①印は、「図等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(以下「グリーン購入法」という。)の特定調達品目を示す。		
(6)	「監督職員」は「監督員」と読み替える。		

章	項目	特記事項
I 一般共通事項	① 適用基準等	●建築工事標準詳細図 国土交通大臣官庁官庁管轄部標準監修(平成28年版)(以下「標準詳細図」という) ●工事写真の取り方(改訂第2版) 建築編 建設大臣官庁官庁管轄部監修 ●下水道施設標準図(詳細) 土木・建築・建築設備(機械) 編 平成20年度 日本下水道事業団編集 適用するものとする。
	② 電気保安技術者(1,3,3)	
	③ 施工条件(1,3,5)	・施工時間帯 ●指定なし ・指定あり( ) ・部別別の施工順序 ●指定なし ・指定あり(・図示・ ) ・工事車両の駐車場所 (・図示・ ) ・資機材置場 (・図示・ ) ・建設発生土置置場 (・図示・ )
	4 工事安全計画書(1,3,7)	建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。
	5 発生材の処理等(1,3,8)	・引き渡しを要するもの( ) ・現場において再利用を図るもの( ) ・再生資源化を図るもの ・コンクリート、コンクリート及び敷からる建設資材・アスファルトコンクリート・建設発生木材・建設汚泥
	6 環境への配慮(1,4,1)	(a)化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から5)を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないもの 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないもの 3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないもの 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散がきわめて少ないもの 5) 1)、3)及び4)の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないもの また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 1. ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 該当する建築材料 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 II. ホルムアルデヒド放散量 第二種 該当する建築材料 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆品 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのE0品 ④旧JASのF0c品 (b)工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとする。 (c)「グリーン購入法」(平成12年法律第100号)により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。

10	① 材料の品質等(1,4,2)	(d)環境配慮型建設機械の使用 ●構造及びラベル表示の異なる写真(協写とも)を工事写真帳に添付 低騒音型 ●杭打機・発電機(杭工事)、バックホー(杭工事、土工事)、ブルドーザー(土工事)、振動ローラー・マダマローラー・タイヤローラー(舗装工事) 排出ガス対策型 ●バックホー(土工事)、振動ローラー・マダマローラー・タイヤローラー(舗装工事)
	② 特別な材料の工法	(a)本工事に使用する材料・構材等(以下、「材料」という。)は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有する新品とする。ただし、仮設に使用する材料は新品でなくてもよい。 (b)使用する材料が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督職員に提出する。ただし、設計図書でJIS又はJASによると指定された材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合及びあらかじめ、監督職員の承諾を受けた場合は、資料の提出を省略することができる。 (c)設計図書でJIS又はJASによると品質及び性能が指定された場合に、JIS又はJASマークの表示のない材料及びその製造業者は、次の1)から6)の事項を満たすものとする。 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されているもの (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われているもの (3) 安定的な供給が可能であるもの (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得しているもの (5) 販売、保守等の営業体制が整えられているもの(なお、システムとして機能するものにあつては、システムの構築体制があり、現場で施工体制が整えられているもの) (6) 販売、保守等の営業体制が整えられているもの(なお、システムとして機能するものにあつては、システムの構築体制があり、現場で施工体制が整えられているもの) なお、これらの材料を使用する場合は、JIS又はJASに定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する証明資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 (d)設計図書でJIS又はJASによる以外に特別に指定された材料及び建築材料等指定名簿に記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、上記3)と同様に所要の品質及び性能を有することの同等証明資料を監督職員に提出して、その承諾を受けるものとする。 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品等の指定工法によるものとする。
	③ 技能士(1,5,2)	
	④ 化学物質の濃度測定(1,5,9)	図示した室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告するものとする。 ●パッシブ型採取機器(拡散方式パッシブ型測定装置)を用いて、次の要領で測定及び分析を行う ①30分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む)を開放し、30分間換気する。 ②5時間閉鎖 ①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。 ③測定 イ ②の状態のまま測定する。 ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時~3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分~18時30分までの時間帯で測定する。 ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。 ④分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。 ⑤その他 監督員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けるものとする。 ・厚生労働省の標準的方法による(アクティブ法)
	⑤ 完成写真	下記のもの監督職員に提出するものとする。 分類・規格
	⑥ 完成時の提出図書(1,7,1~3)	完成図(CADデータの提出(●要・不要)) 表1,7,1 保全に関する資料(提出部数 ●1部・部) 提出書類の詳細については、別途、監督員の指示による。
	⑦ 施工図及び施工計画書(1,7,2)	提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る著作権は、発注者に帰属するものとする。
	⑧ 設備工事との取り合い	設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、監督員の承諾を受けるものとする。 ●採員進捗要注

N 初 期 工 事	⑤ 設計GL	●図示・( )
	⑥ 耐荷重及び耐外力	建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 V0=32m/s 地表面粗糙度区分・I・II・④・D 構造区分 H12建告第1465号別表(34) (三原市建築基準法施行細則第25条による垂直積雪量:30cm)
	① 足場その他(2,2,4)	足場を設ける場合は、標準仕様書2.2.4(b)による。
	② 監督職員事務所(2,3,1)	●設ける ㎡ ・設けない 積雪等は、監督職員の指示を受けて設置するものとする。
	③ 工事用水	構内既存の施設 ●利用できない ・利用できる(●有償・無償)
	④ 工事用電力	構内既存の施設 ●利用できない ・利用できる(●有償・無償)
	① 埋戻し及び盛土(3,2,3)	種別・A種・B種・C種・D種 ・建設汚泥から再生した処理土⑥ D種の場合は必要に応じて「セメント」及びセメント系固結材を使用した改良土の六面クロム溶出試験を必要に応じて「セメント」及びセメント系固結材を使用した改良土の六面クロム溶出試験を実施する(案)」により、監督職員と協議の上、六面クロム溶出試験を行うものとする。
	② 建設発生土の処理(3,2,5)	●構外指示の場所に処分 ・構内指示の場所に堆積(地盤沈下による近隣家屋への影響に要注意)
	3 山留めの撤去(3,3,3)	●撤去する(撤去費・砂砂め・ ) ・撤去しない
	M 洋 堀 工 事	1 共通仕様(4,2,2)
2 既製コンクリート杭地業(4,3,2~7)		地質調査位置、柱状図、地層構成、地下水位 ●構造図による ●透心力高強度コンクリート(PhC杭) ・外殻鋼管付コンクリート杭(SC杭) ・プレキャスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) 杭仕様 ●図示による ・下記表による
		符号 杭径 (mm) 杭長 (m) 及び 種別 継手数 本数 コンクリート強度 (N/mm <sup>2</sup> ) 長期設計支持力 (kN/本) 備考
試験杭		上杭 中杭 下杭
本杭		上杭 中杭 下杭
SC杭の鋼管		・SKK400 ・SKK490 ・STK400 ・STK490
SC杭の取付		●構造図による
PhC杭の種別		・A種 ・B種 ・C種
PRC杭の種別		・I種 ・II種 ・III種 ・IV種 なお、特定埋込杭工法における杭材料はJIS又は認定条件に適合するものとする。 杭先端部の形状 ●開放形 ・閉そく形 杭先端部 ●測定仕様 ネガティブフリクション対策
杭の継手		●不要 ・要(構造図による) ●アーク溶接継手(JIS A 7201及びWES 7601による) 半自動溶接 ●JIS Z 3841 SS-2H若しくはSA-2H程度又は日本溶接協会規格 WES8106によるFP-SS2P若しくはFP-SA-2Pの積量を有する者 溶接のバズ数 ●建築工事監理指針 表4.3.12による 溶接部の試験 ●浸透探傷試験 ●外観検査(全数検査) ・機械式無溶接継手(建築基準法に基づき評定等を受けたもの) ・機械式無溶接継手は評定等により定められた項目の検査を行う。 施工は評定等に記された施工管理基準によるものとする。
杭頭処理	●処理しない ・処理する(処理方法 ●構造図による)	
杭頭の中詰め材料	●コンクリート(基礎コンクリートと同仕様:打設時は落下防止材で養生)	
支持地盤の位置及び種類(基礎杭の先端の位置含む)	●構造図による	
支持地盤の確認方法	●電流計の数値(自動記録計)及びオーガー先端部付土質の確認 【写真撮影要(協写とも)】	
既製コンクリート杭地業施工法	●特定埋込杭工法 ・セメントミルク工法 ・H13国交告第1113号第6による支持力算定式でα=250程度を採用できる工法 ・H13国交告第1113号第6による支持力算定式でα=、β=、γ=を採用できる工法 工法 ・プレホーリング拡大掘削工法 ・プレホーリング拡大掘削工法(高支持力工法) 掘削固定液の使用 ●する ・しない	
杭の精度	水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・構造図による 杭の傾斜 ・1/100 ・評定条件または認定条件による ・構造図による	
施工管理技術者	●適用する	
断面等		
	符号 軸径 (mm) 杭長 (m) 底径 (mm) セット数 長期設計支持力 (kN/本) 備考	
試験杭		
本杭		
材料	コンクリートの種別(表4.5.1)及び設計基準強度 ( ) 種かつ ( ) N/mm <sup>2</sup> 構造体コンクリート強度と供試体の強度の差を考慮した割増し ・行う(・3N/mm <sup>2</sup> ・ N/mm <sup>2</sup> ) ・行わない セメントの種類 ●高炉セメントB種 G □ 鉄筋の種類 ●第5章 鉄筋工事の種類による。 鋼管巻きの材料 ・SKK400 ・SKK490 ・STK400 ・STK490 鋼管径・板厚・長さ ●構造図による	
溶接部の検査	●選定探傷試験 ●外観全数検査	
掘削工法	・アースドリル工法(安定液) ●使用する ・使用しない) ・リバーシ工法 ・オールケーシング工法(孔内の水張り) ・行う ・行わない)	
併用する工法	●場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ●底版杭工法(安定液) ●使用する ・使用しない)	
孔型の測定	●行う 測定方法 ●超音波測定器 測定場所 ●試験杭 ( ) 箇所及び本杭 ( ) 箇所 ・行わない	
スライム処理	・行う	
帯筋	●構造図による	
鉄筋かごの補強	●構造図による ・④、⑤、3(a)(2)(B)による	
鉄筋の最小かぶり厚さ	・100mm ・ mm ●構造図による	
支持地盤	●構造図による 支持地盤の確認 ●杭先端部土質の確認	
杭の精度	水平方向のずれ ・100mm以下 ●構造図による 杭径 ・設計値以上	

切 削 工 事	④ 鋼杭地業	支持地盤の設計支持力度 ・ kN/m <sup>2</sup> 以上 支持地盤 ●構造図による
	⑤ 砂利地業(4,6,2~3)	材料 ●再生クワッシュラン④ ●切込砂利及び切込砕石
	⑥ 給コンクリート地業(4,6,4)	材料 設計基準強度 ●18N/mm <sup>2</sup> ・ N/mm <sup>2</sup> スラブ ●15cm ・18cm コンクリートの仕様 ●6、コンクリート工事 無筋コンクリート による 厚さ及び使用範囲 使用範囲
	7 床下防湿層(4,6,5)	施工範囲 ●建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピットを除く) 防湿工法 ●ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ●重ね及びのみみ 250mm以上 防湿層の位置 ●図示による
	8 地盤改良(セメント系固結材を用いた工法による改良)	六面クロム溶出試験 ●行う(溶出基準及び測定方法は H3 環境省告示第46号による)
	9 置換コンクリート地業(ラッパルコンクリート地業)	材料 コンクリートの種類 ●普通コンクリート 設計基準強度 ●18N/mm <sup>2</sup> ・ N/mm <sup>2</sup> スラブ ●15cm ・18cm 形状 ●構造図による 支持地盤の長期設計支持力 ・ kN/m <sup>2</sup> 支持地盤 ●構造図による コンクリートの仕様 ●6、コンクリート工事 無筋コンクリート による 使用時の有無 ●有り ・無し
	10 杭鉄土の重金屬等溶出試験	カドミウム、鉛、六価クロム、塩素、総水銀、セレンの6種類の溶出試験を行うこと。 溶出量基準及び測定方法は、H3環境省告示第46号による。
	① 鉄筋の種類(5,2,1)	規格の名称 種類の記号 呼び径(mm) 備考 ●異形鉄筋 ●SD295A ●下記以外の鉄筋 (鉄筋コンクリート用棒筋) ●D345 ●D19以上の柱・梁の主筋
	2 溶接金網(5,2,2)	種類 種類の記号 網目の形状、寸法及び鉄筋の径 使用範囲 ●溶接金網 ●図示・ ●鉄筋格子 ●図示・
	③ 鉄筋の継手(5,3,4)	部 位 継手の方法及び適用例 ●継梁主筋 ・重ね継手( ) ●ガス圧接(D19以上)・機械式継手( ) ●主筋 ・重ね継手( ) ●ガス圧接(D19以上)・機械式継手( ) ●主筋 ・重ね継手( ) ●ガス圧接(D19以上)・機械式継手( ) ●基礎スラブ・前立スラブ ・重ね継手( ) ●ガス圧接(D19以上)・機械式継手( ) ・土圧壁など ●重ね継手( ) ●ガス圧接(D19以上)・機械式継手( ) ●扉壁 ●重ね継手( ) ●ガス圧接(D19以上)・機械式継手( ) ・杭主筋 ●重ね継手( ) ●ガス圧接( ) ・機械式継手( ) ●記以外の鉄筋 ●重ね継手( )
④ 鉄筋重ね継手の長さ(5,3,4)	鉄筋の継手位置 ●「各部配筋 参考図」による ・構造図による 主筋と副力筋鉄筋の重ね継手の長さ ●40dと標準仕様書表5.3.2のうち大きい値 ・構造図による 上記以外の鉄筋の定着長さ ●標準仕様書表5.3.2 による	
⑤ 鉄筋の定着方法、位置、長さ及び余長	鉄筋の定着方法、位置、長さ、余長 ●「各部配筋 参考図」による ・構造図による (5,3,4)	
⑥ 鉄筋の定着の長さ(5,3,4)	柱に取付ける引張鉄筋の定着長さ ●40dと標準仕様書表5.3.4のうち大きい値 ・構造図による 上記以外の鉄筋の定着長さ ●標準仕様書表5.3.4 による	
⑦ 耐久性及ぶり厚さ	耐久上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下記による(目地底から計測) 施工箇所 標準仕様書 表5.3.6に加える寸法(mm) ●梁・梁及び底などの外気に接する打ち打ち面 ●10	
⑧ 各部配筋(5,3,7)	各部配筋 ●標準仕様書「各部配筋 参考図」による ・構造図による 既製コンクリート杭の杭頭接合の方法 ●図示による	
⑨ 帯筋	●H形 ●「各部配筋 参考図」による ・構造図による ●W形 ●「各部配筋 参考図」による ・構造図による ●SP形 ●「各部配筋 参考図」による ・構造図による	
⑩ 壁開口部の補強	一般形 ・A形 ・「各部配筋 参考図」による ●構造図による ●構造 ●「各部配筋 参考図」による ・構造図による	
① 梁貫通孔の補強形式	新設壁 ●H形 ●「各部配筋 参考図」による ●構造図による ●M形 ・「各部配筋 参考図」による ・構造図による ●MH形 ・「各部配筋 参考図」による ・構造図による	
② 構造(耐震)スリット	●構造図による	
③ ガス圧接継手(5,4,9)	技能資格者 ●適用する 圧接完了後の試験 外観試験 ●行う(全圧接部) 抜取試験 ●超音波探傷試験(第三者)	
14 機械式継手(5,5,2)	機械式継手の種類 ・グラウト材必要 ・グラウト材不要 使用箇所 ●構造図による 性能 ●H12建設省告示第1463号に適合するもの ・A級	

令和 2年度 公共下水道事業

工事名	港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事		
工事場所	三原市港町三丁目		
図面番号	A-01	縮尺	—
特記仕様書(1)			
三原市			









附近見取図



建築場所 三原市港町三丁目

仕上表

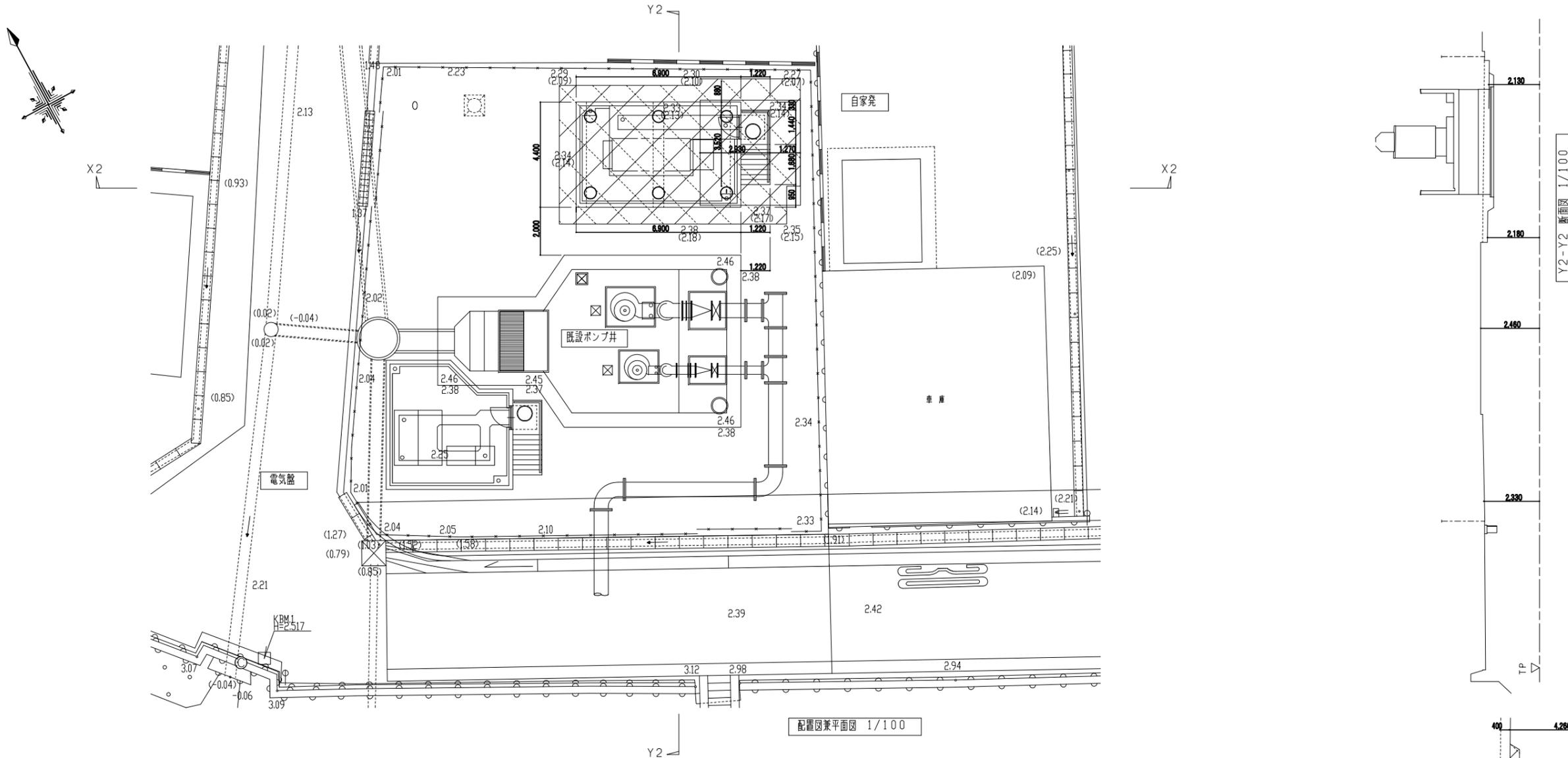
共通事項	略号		外部付属物及び詳細番号		
1. 外部仕上表及び内、外部付属物の適用分類、詳細番号は、○印のついたものを適用する。 2. 図面中〈 ー ー 〉は建築工事標準詳細図平成28年版（国土交通省大臣官房官庁官署部建築課監修）の詳細図番号を示す 3. 特記以外の鉄部の塗装はSOPとする。 4. 付属物のうち、室名札、床点検口等は、平面図による。 5. 付属物のうち、天井点検口等は天井伏図による。 6. 打放し仕上げの出隅部分は、面取りを行う。（見付 W=20 柱・梁・壁） 7. 天井仕上げボード張りは、突付け張りとする。 8. 内装建築材料として使用する建材は、国土交通大臣認定によるF☆☆☆☆とする 9. 外壁の打増は外部側：厚20とする。 10. 打放し仕上げの出隅部分は、面取りを行う。 11. 床コンクリート面均し仕上〈1-01-3, 4〉部分の床打増は厚20mmとする。 12. 床面かさ上げコンクリート（無筋コンクリート）には、ひび割れ防止溶接金網（6φ×100×100）を敷設する。 13. 仕様ステンレスは全てSUS316とする。 14. 外部に使用するアルミ表面処理種別はJIS H8602におけるA1仕様とする。	C CB M MC LGS GB GB (T) GB (S) ケイカル板 吸音材貼 PF板 複層塗材 (RE) 外装薄塗材 (E) 内装薄塗材 (S1) 打放し仕上 (B) 打放し仕上 (C) 軽量吹付	コンクリート下地 コンクリートブロック下地 モルタル下地 無筋コンクリート下地 軽量鉄骨下地 せっこうボード 化粧石こうボード (トラバーチン) シーリングせっこうボード 無石棉セメントケイ酸カルシウム板 グラスウール吸音ボード 2号32K 厚25 ガラスクロス額縁張り 押出法ポリスチレンフォーム保温材 反応硬化形成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材 外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材 内装けい酸系薄付け塗材 コンクリート打放し仕上 B種 コンクリート打放し仕上 C種 軽量骨材仕上塗材	AE DP EP-G EP SOP FAフロアー TP-P TP-S RD-Y RD-T VP	アクリル樹脂エナメル塗り 耐候性塗料塗り つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗 合成樹脂エマルジョンペイント塗 合成樹脂調合ペイント塗り フリーアクセスフロアー ポリプロピレン防錆被覆鋼製タラップ W=400 ステンレス製タラップ W=400 ルーフドレン 横型 ルーフドレン 縦型 硬質塩化ビニル管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 壁樋 (VPφ ○ 100・75・50) &lt;5-31-2, 6, 10&gt;</li> <li>・ RD-Y (φ ○ 100・75・50) &lt;5-31-2&gt;</li> <li>・ RD-T (φ・100・75・50) &lt;5-31-1&gt;</li> <li>○ 目地 (打継、化粧、誘発、水切)</li> <li>○ 一般手摺 (アルミ製) 固定式</li> <li>○ 一般手摺 (アルミ製) 可動式</li> <li>・ ステンレス製防鳥網</li> <li>・ くつきマット</li> <li>○ タラップ (ステンレス製)</li> <li>・ タラップ (ステンレス製・安全ガード付)</li> <li>・ 手摺 (ステンレス製)</li> <li>・ 固定式トップライト</li> <li>・ 煙突</li> <li>・ 室名表示札</li> <li>・ 外部水切 (SUS)</li> <li>・ 外部吊フック</li> <li>○ 手摺 (アルミ製) 固定式</li> <li>○ ノンスリップ (階段タイル 150×60)</li> </ul> 基準詳細図1参照 基準詳細図1参照 <D-9, 10, 11> <8-21-2> 基準詳細図1参照 <D-15> <D-2> <D-24> <D-24> <D-17> 基準詳細図1参照 立面図参照

外部仕上表

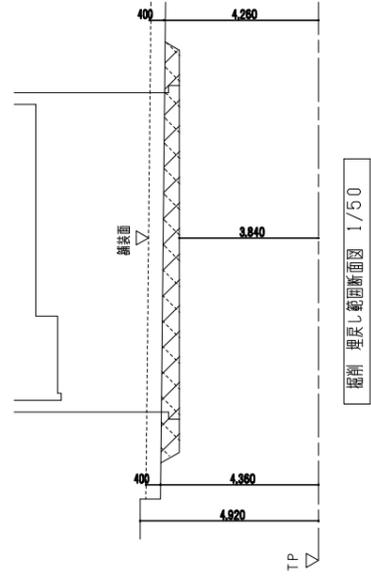
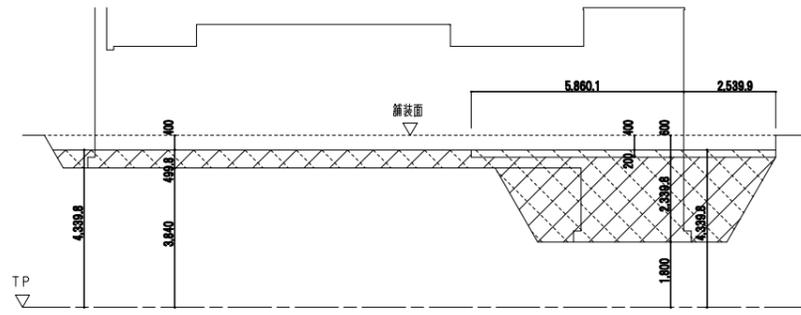
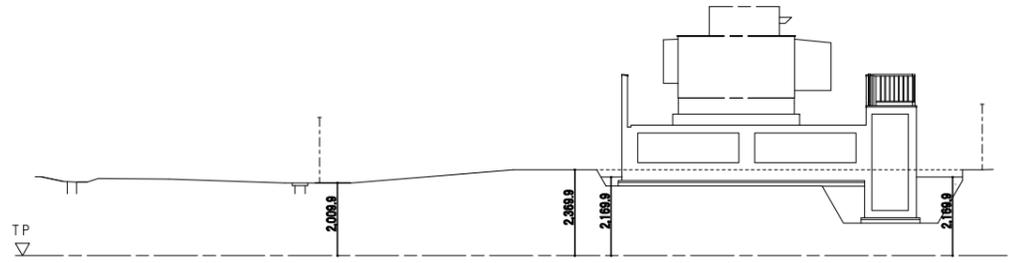
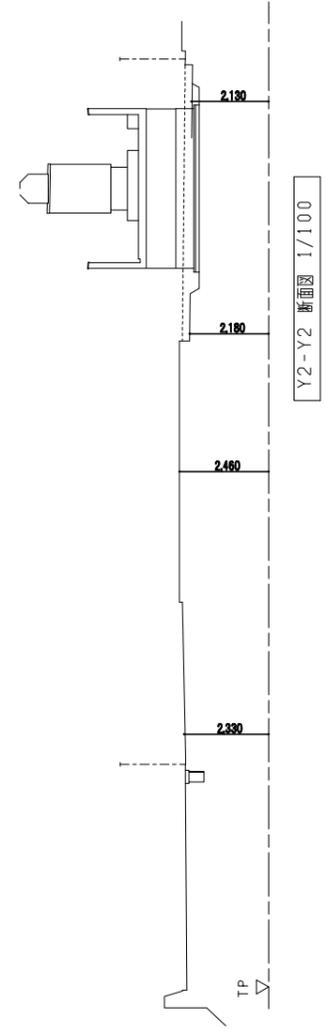
床	外壁	屋外階段	外壁立上り手摺笠木	備考
コンクリート直均し	打放し仕上 (B) 打増 厚20	蹴込・路面 コンクリート階段 モルタル金コテ押え 上裏 打放し仕上 (B) 打増 厚20 ノンスリップ (階段タイル) ステンレス手摺 (別図参照)	モルタル金コテ押え	

令和 2年度 公共下水道事業	
工事名	港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事
工事場所	三原市港町三丁目
図面番号	A-06 縮尺 ー
付近見取図 仕上表	
三原市	

工種区分部	< > (C)	: 土木工事
	< > (AM)	: 建築機械設備工事
	< > (AE)	: 建築電気設備工事
	< > (PM)	: プラント機械設備工事
	< > (PE)	: プラント電気設備工事
無記号又は (A)		: 建築工事



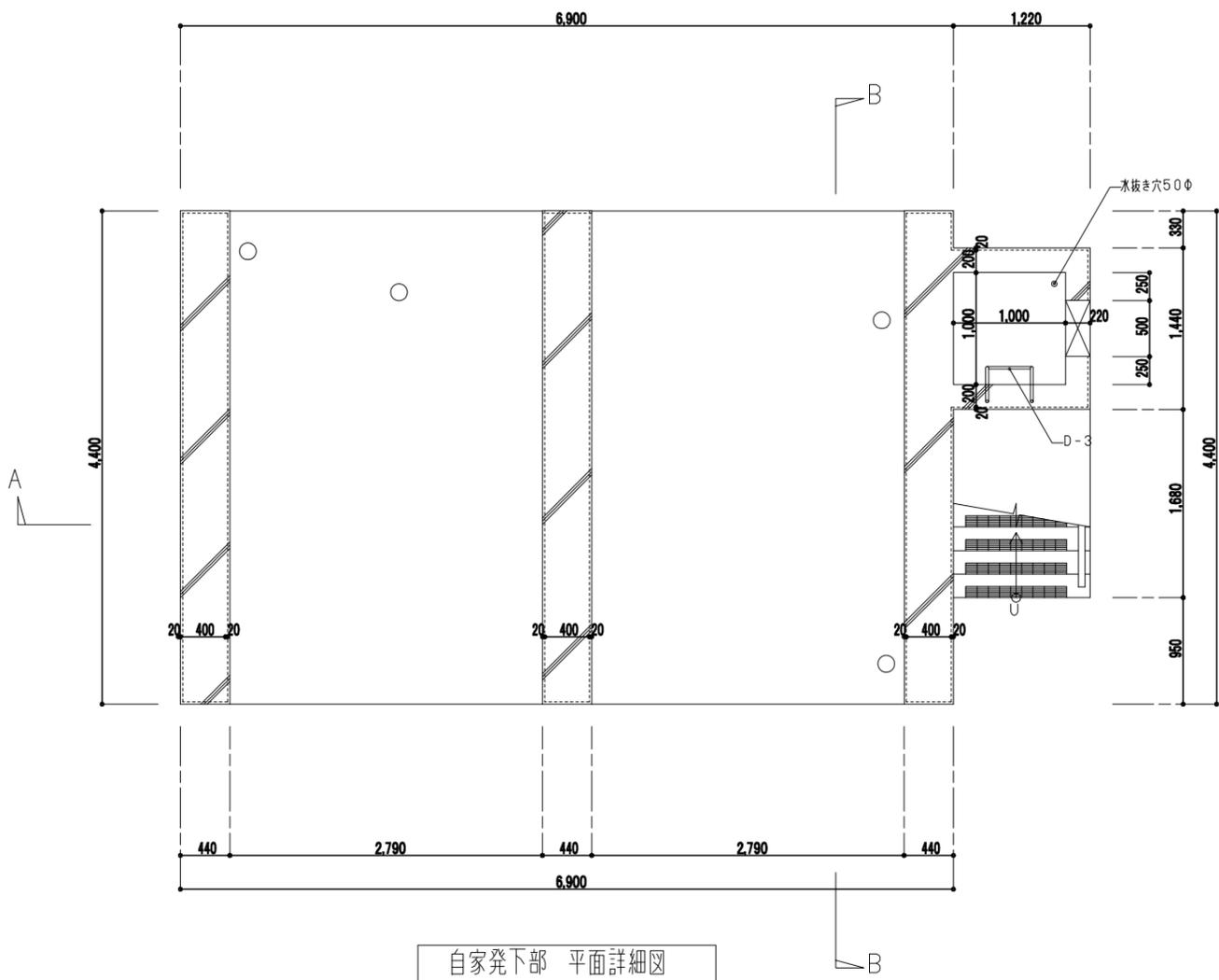
配置図兼平面図 1/100



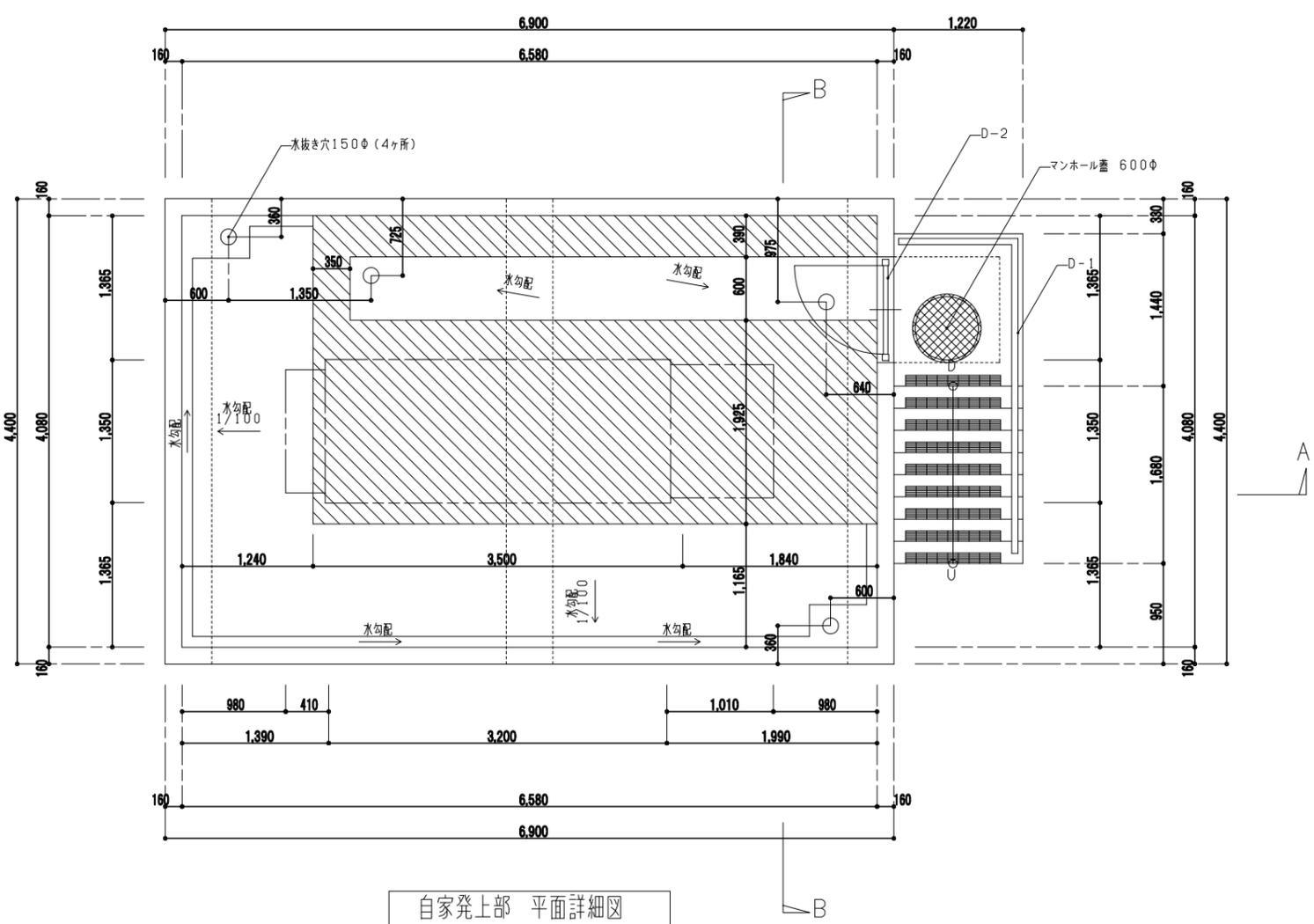
凡例

	掘削範囲を示す
	埋戻し範囲を示す
*** (***)	( )内は施工時の地盤高さを示す

令和 2年度 公共下水道事業	
工事名	港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事
工事場所	三原市港町三丁目
図面番号	A-07 縮尺 1/100 1/50
配置図兼平面図	
三原市	



自家発下部 平面詳細図

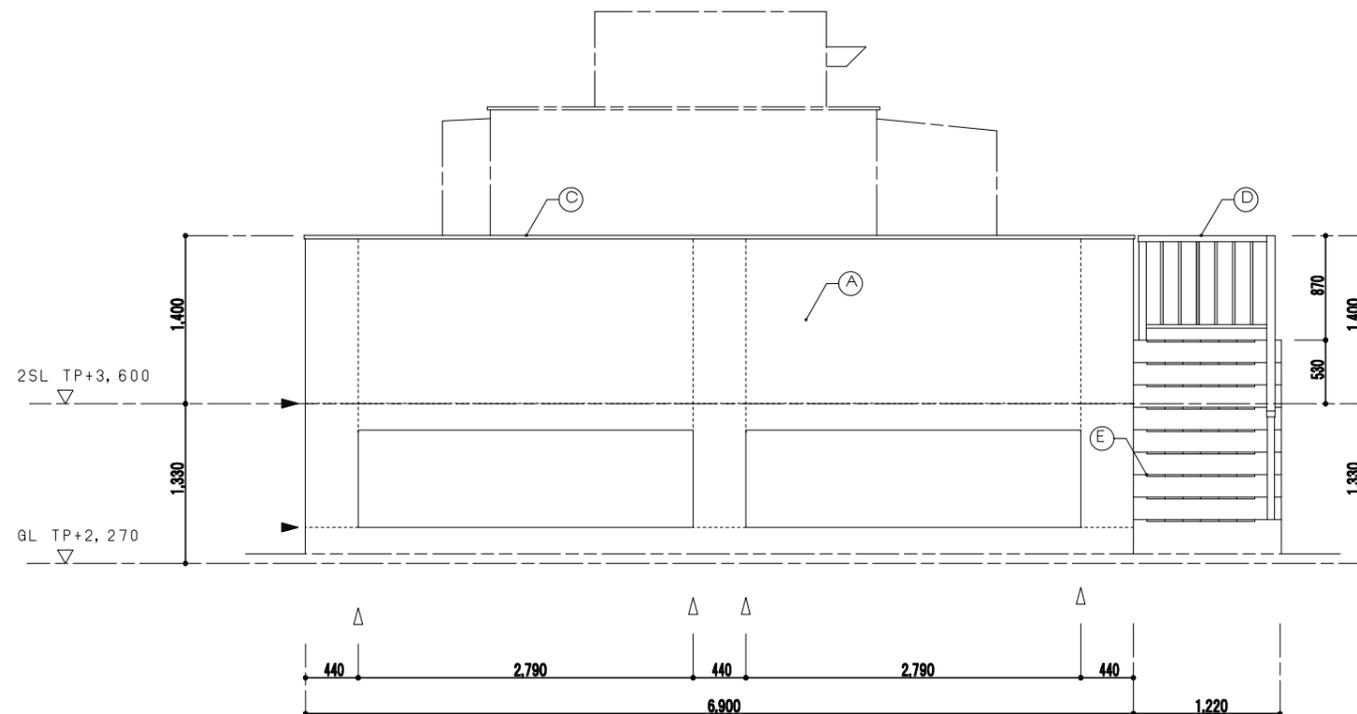


自家発上部 平面詳細図

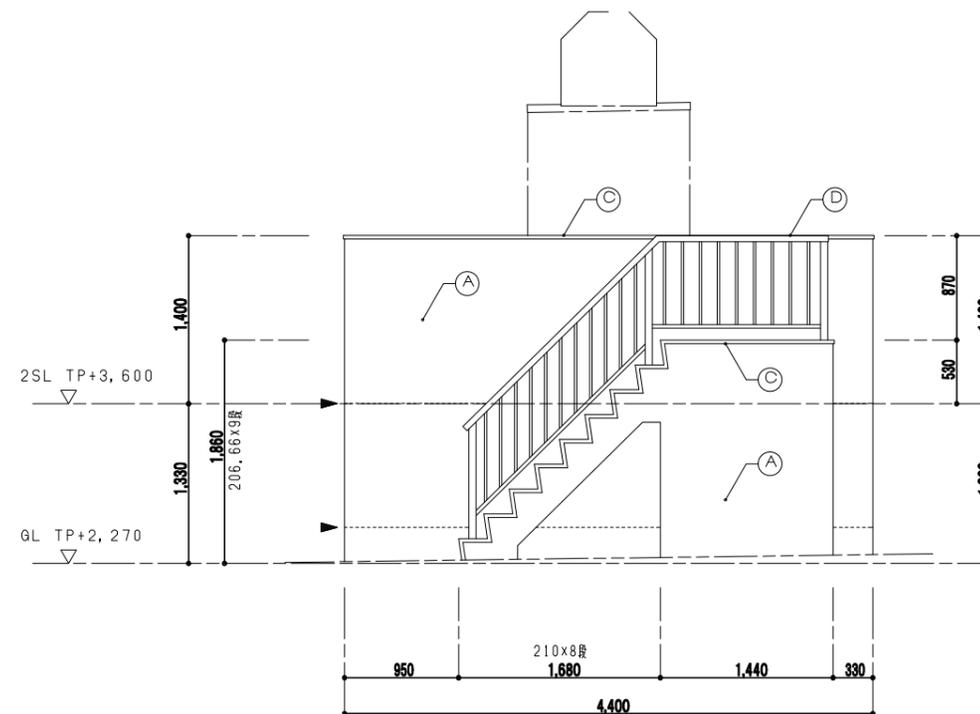
凡例

	鉄筋コンクリートを示す
	無筋コンクリートを示す
	〈機械基礎〉 (PE) を示す
	基準詳細図 符号を示す

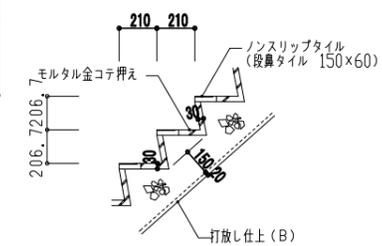
令和 2年度 公共下水道事業		
工事名	港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事	
工事場所	三原市港町三丁目	
図面番号	A-8 縮尺	1/30
自家発平面詳細図		
三原市		



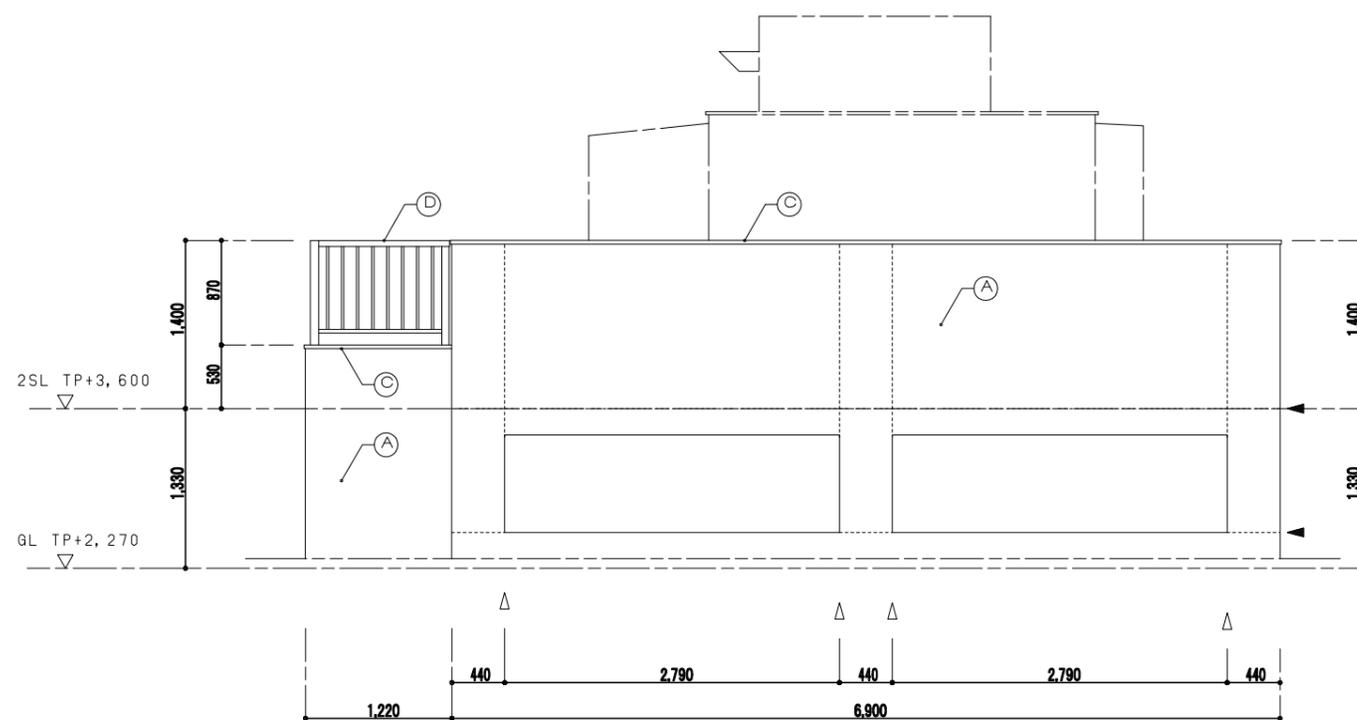
南面立面図 1/30



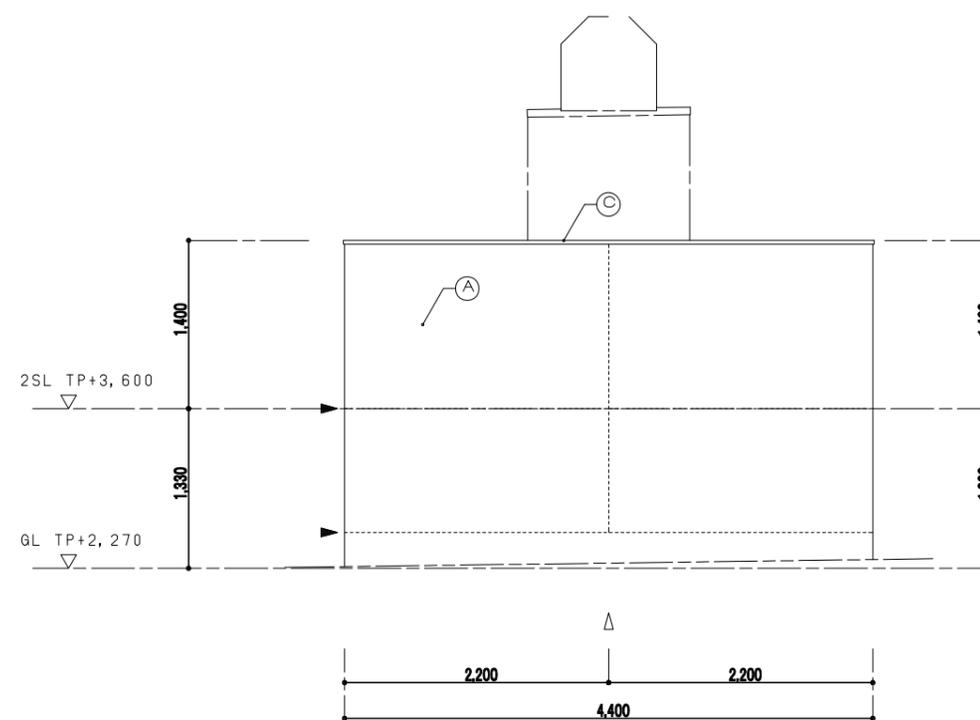
東面立面図 1/30



階段部分詳細図 1/20



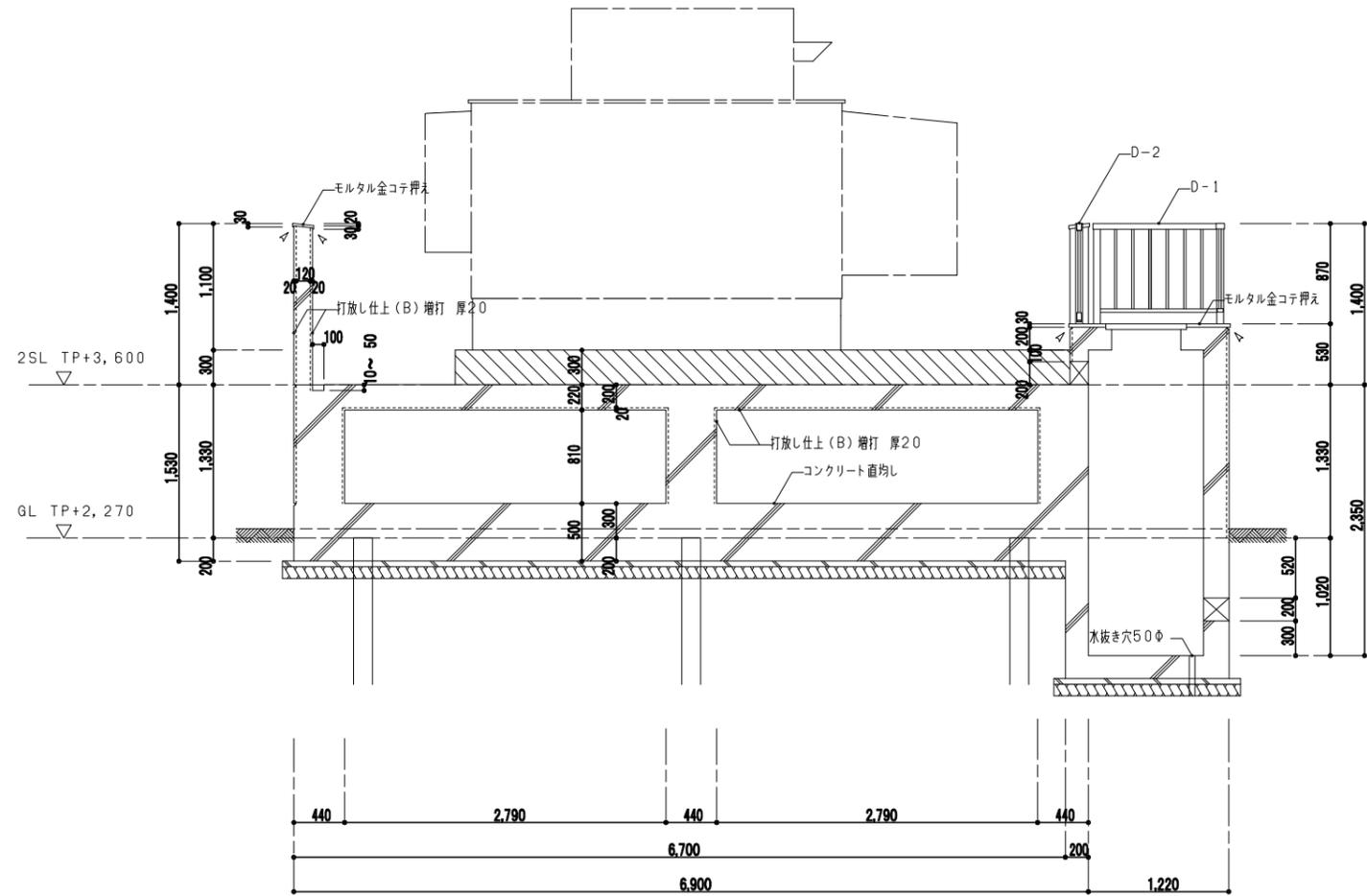
北面立面図 1/30



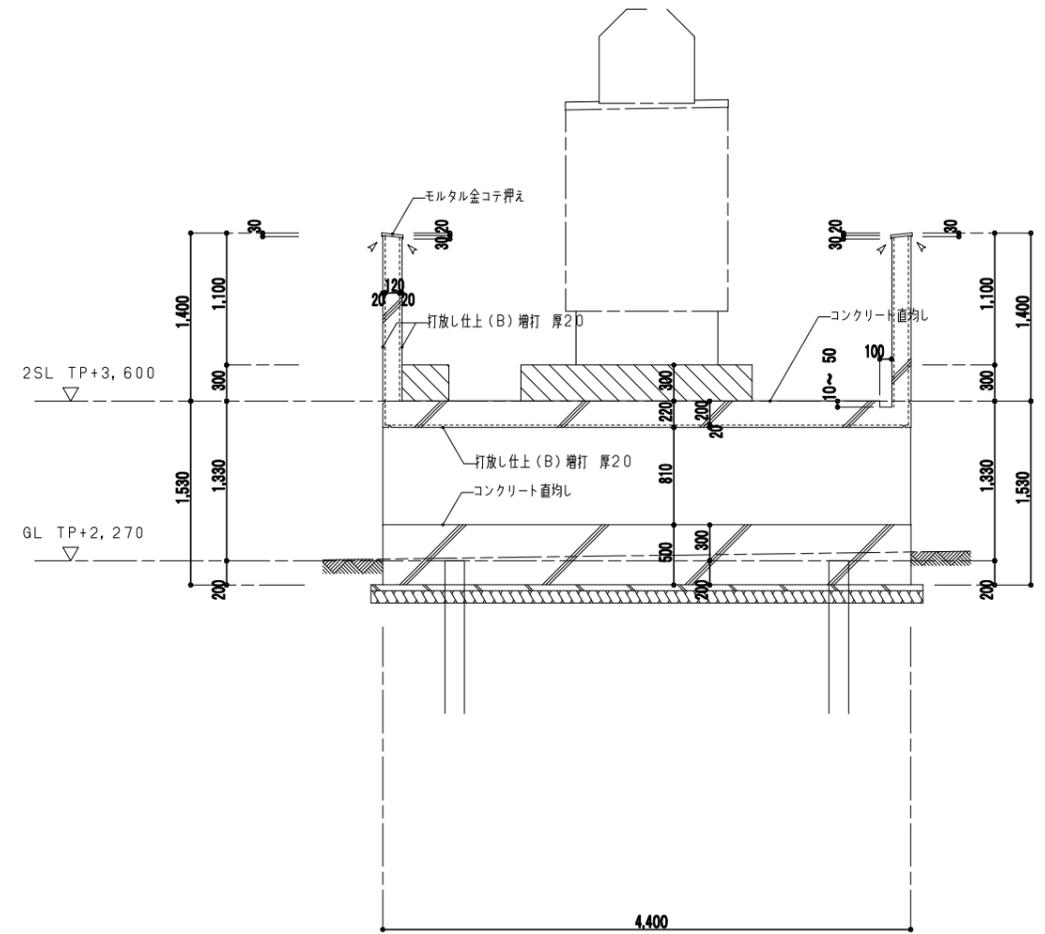
西面立面図 1/30

凡例			
符号	仕上	符号	仕上
Ⓐ	打放し仕上 (B) 打増 厚20	..... Δ	伸縮目地を示す
Ⓑ	コンクリート直均し	..... ▲	打継目地を示す
Ⓒ	モルタル金コテ押え		
Ⓓ	カラーアルミ手摺		
Ⓔ	ノンスリップタイル		
Ⓕ			

令和 2年度 公共下水道事業			
工事名	港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事		
工事場所	三原市港町三丁目		
図面番号	A-9	縮尺	1/30 1/20
自家発立面図			
三原市			



A-A 断面詳細図

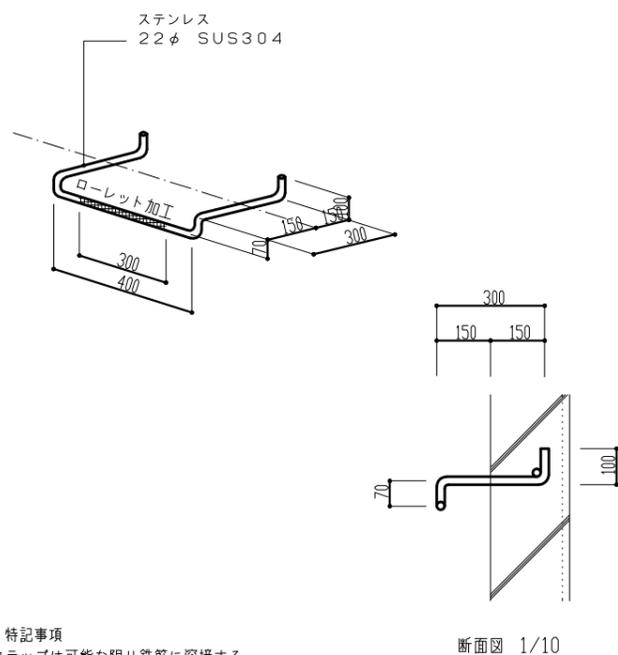
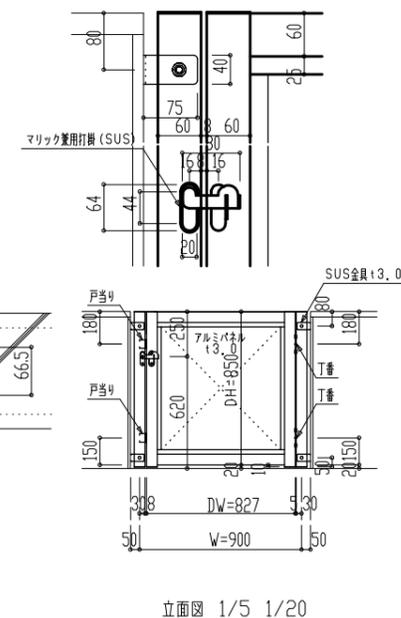
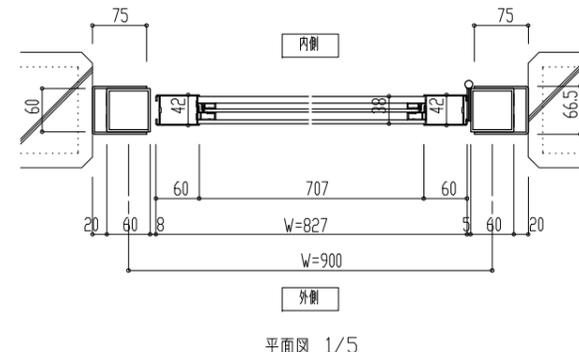
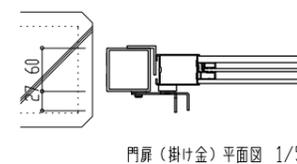
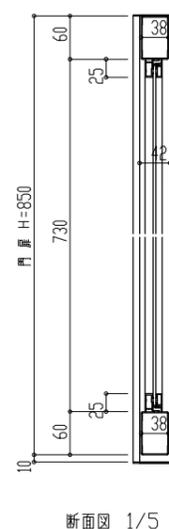
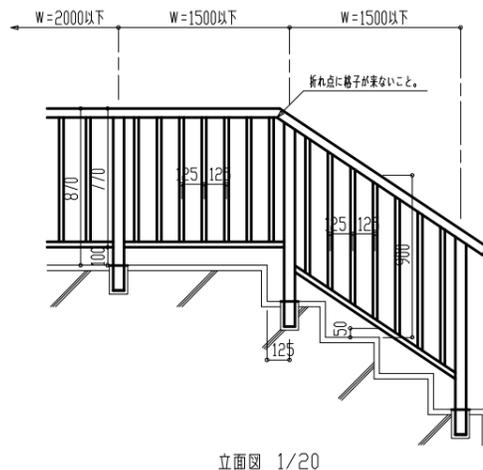
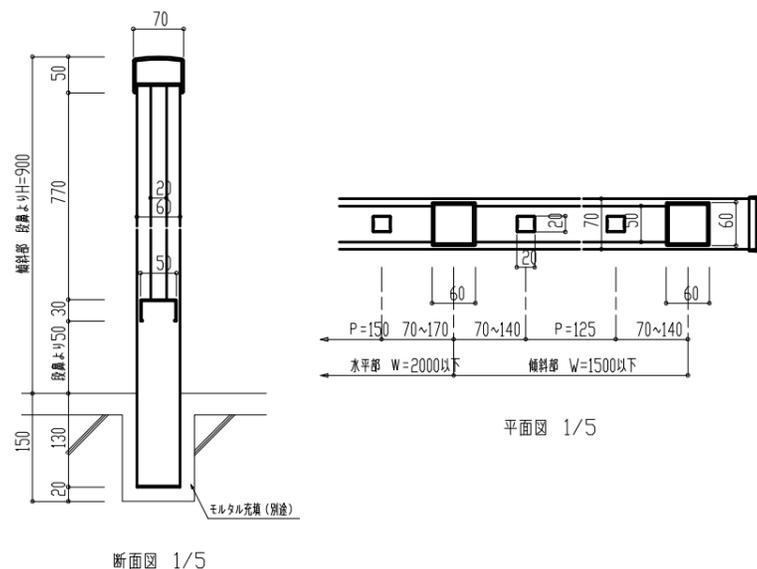


B-B 断面詳細図

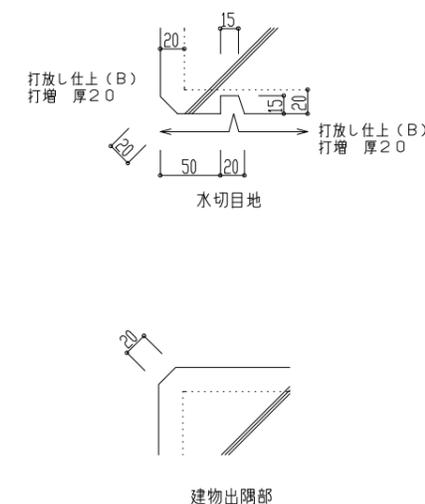
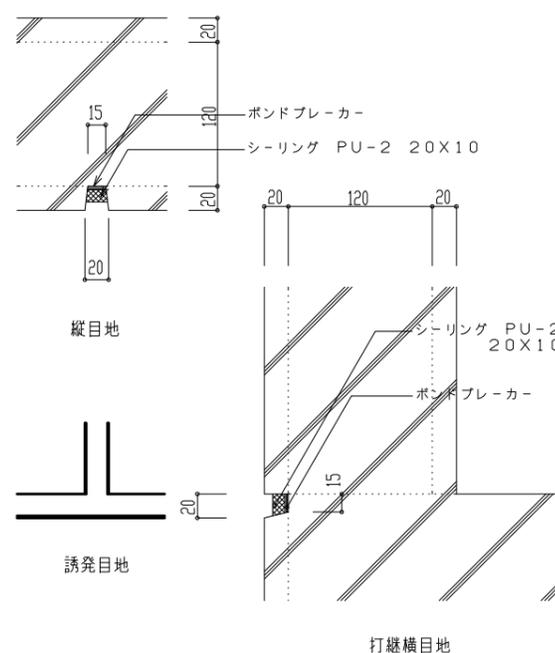
凡例

	鉄筋コンクリートを示す
	無筋コンクリートを示す
	〈機械基礎〉 (PE) を示す
	基準詳細図 符号を示す

令和 2年度 公共下水道事業		
工事名	港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事	
工事場所	三原市港町三丁目	
図面番号	A-10 縮尺	1/30
自家発断面詳細図		
三原市		



特記事項  
 ・タラップは可能な限り鉄筋に溶接する。  
 ・材質 ステンレス SUS304 とする。  
 ・タラップは壁に100mm以上埋め込むこと。



凡例  
 △ : シーリングを示す  
 ▲ : 仕上の見切りを示す

令和 2年度 公共下水道事業

工事名 港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事

工事場所 三原市港町三丁目

図面番号 A-11 縮尺 1/3 1/5 1/10 1/20

基準詳細図 1

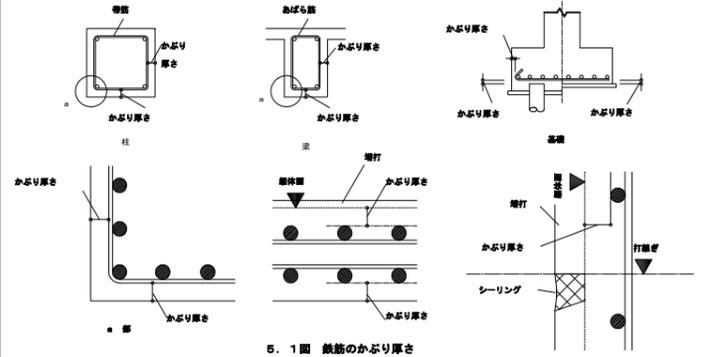
三原市



5 鉄筋のかぶり及び間隔

5.1 かぶり厚さ

かぶり厚さは、一番外側の鉄筋（幅止め筋、組立筋を除く）の外側から躯体面までの距離（6.1図）をいう。  
鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚さに許容施工誤差10mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。



5.2 最小かぶり厚さ

- 最小かぶり厚さは、5.1表による。
- 床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。
  - 柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上として最小かぶり厚さを定める。
  - 溶接金網にも適用する。

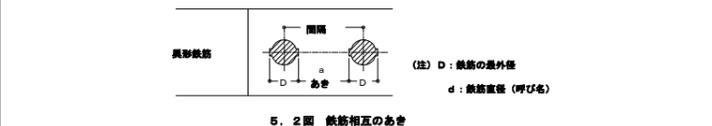
5.1表 鉄筋の最小かぶり厚さ(mm)

構造部分の種類	場内区分		
	※ 通常の施工の場合	・ 塩害対策を必要とする場合(外周部)	
一般	床、耐力壁以外の壁	30	70
	柱、梁、耐力壁	40	70
	床版	40	70
土、水に接する部分	柱、梁、床、壁	40	70
	床版、基礎	60	70
埋戻し等高圧を受ける部分		60	70

1: 打継目地部分は目地部より最小かぶり厚さを確保する。  
2: 杭基礎の場合の最小かぶり厚さは、杭先端からとし、「2.1 杭基礎の補強」を参照。  
3: 仕上なしの場合を標準とする。

5.3 鉄筋相互のあき

- 鉄筋相互のあきは、下記の最大値のもの以上とする。ただし、機械式継手及び溶接継手の場合はあきは特記による。
- 縦骨材の最大寸法の1.25倍
  - 最小のあき25mm
  - 隣り合う鉄筋の平均径（呼び名の数値）の1.5倍



5.2表 鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧

鉄筋径 d (mm)	最外径 D (mm)	鉄筋相互のあき: a			最小鉄筋間隔 a+D
		(1) 縦骨材径×1.25	(2) 最小あき	(3) 鉄筋径×1.5	
D10	11	31mm 縦骨材最大径 25mm の場合	25mm	15mm	42mm
D13	14			20mm	45mm
D16	18			24mm	49mm
D19	21			29mm	52mm
D22	26			33mm	58mm
D25	28			38mm	66mm
D29	33			44mm	77mm

6 鉄筋の継手及び定着

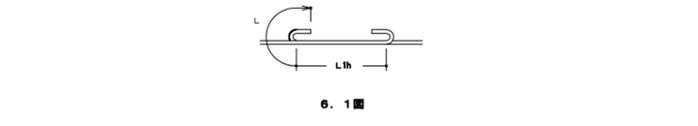
6.1 継手及び定着

- 鉄筋の重ね継手の長さは、6.1表による。
- 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
- 主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは40dとする。ただし、SD390、SD490を使用する場合は特記による。

6.1表 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 $F_c$ (N/mm <sup>2</sup> )	L1 (フックなし)		L1h (フックあり)	
		小梁	スラブ	小梁	スラブ
SD295A	24, 27	35d	30d	25d	20d
	30	35d	30d	25d	20d
SD345	24, 27	40d	35d	30d	25d
	30	35d	30d	25d	20d

- (注) 1. L1, L1h: フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ  
2. フックありの場合のL1hは、6.1図に示すようにフック部分Lを含まない。



- 継手の特記事項
  - 継手は、極力応力の小さい位置に設ける。
  - 異径径の鉄筋をガス圧接する場合は、鉄筋径の直近の範囲内とする。

6.1.3 鉄筋の定着

- (1) 鉄筋の定着の長さは、6.2表による。

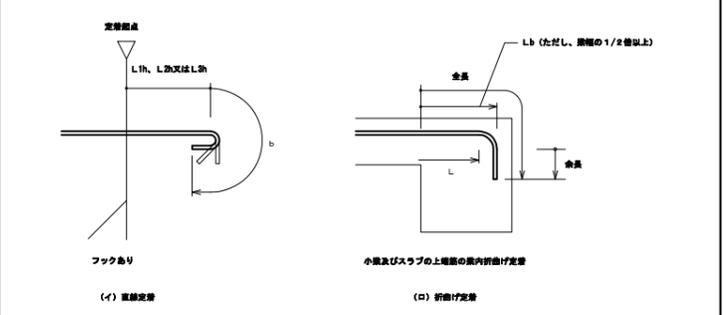
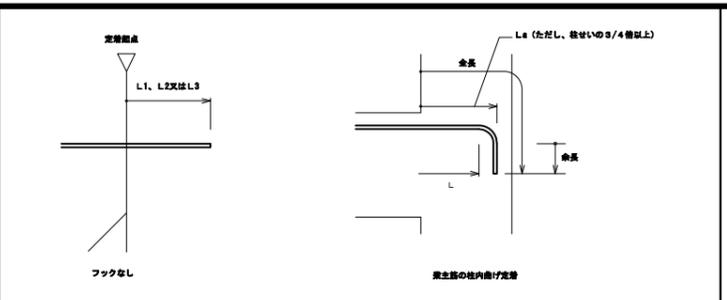
6.2表 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 $F_c$ (N/mm <sup>2</sup> )	フックなし				フックあり				
		L1	L2	L3		L1h	L2h	L3h		
				小梁	スラブ			小梁	スラブ	
SD295A	24, 27	35d	30d	20d	10d	かつ 150mm 以上	25d	20d	10d	-
	30	35d	30d				25d	20d		
SD345	24, 27	40d	35d	20d	10d	かつ 150mm 以上	30d	25d	10d	-
	30	35d	30d				25d	20d		

- (注) 1. L1, L1h: 2. 以外の直線定着の長さ及びフックありの長さ  
2. L2, L2h: 新設破壊の恐れのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ  
3. L3: 小梁及びスラブの下端の直線定着の長さ（溶接鋼筋スラブ及びこれを受ける小梁を除く）  
なお、片持小梁及び片持スラブの場合は、20d及び10dを25d以上とする。  
4. L3h: 小梁の下端筋のフックあり定着の長さ  
5. フックあり定着の場合は、6.2図(イ)に示すようにフック部分hを含まない。また、中間部での折曲げは行わない。

6.1.4 定着の方法

- 定着の方法は6.2図による。
- なお、(ロ)折曲げ定着の梁主筋の柱内折曲げ定着において、仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さLが、6.2表のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を6.2表に示すフックなし定着長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを6.3表に示す長さのみ込ませる。
- (注) 1. La, Lbは、6.3表の鉄筋の投影定着長さを示し、下記条件を満たすものとする。
- 梁主筋の柱内定着においては、原則として柱径の3/4倍以上
  - 小梁主筋の大梁内定着においては、原則として大梁幅の1/2倍以上
  - スラブの梁内定着においては、原則として梁幅の1/2倍以上



6.2図 定着の方法

6.3表 鉄筋の投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 $F_c$ (N/mm <sup>2</sup> )	La		Lb	
		小梁	スラブ	小梁	スラブ
SD295A	24, 27	15d	15d	15d	15d
	30	15d	15d	15d	15d
SD345	24, 27	20d	15d	15d	15d
	30	15d	15d	15d	15d

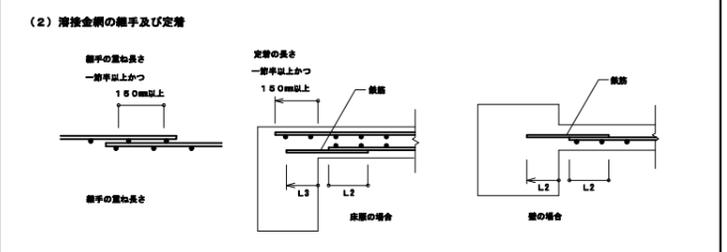
- (注) 1. La: 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁、片持ちスラブを含む。）  
2. Lb: 小梁及びスラブの上層筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。）

6.2 隣り合う継手の位置及び定着

- (1) 隣り合う継手の位置は、6.4表により、a寸法を守ること。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。

6.4表 隣り合う継手の位置

条件	重ねる場合		隣接する場合	
	フックありの場合	フックなしの場合	フックありの場合	フックなしの場合
縦骨材				
スラブ筋				
床版筋				



6.3図 溶接鋼筋の継手及び定着要領

令和2年度 公共下水道事業

工事名 港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事

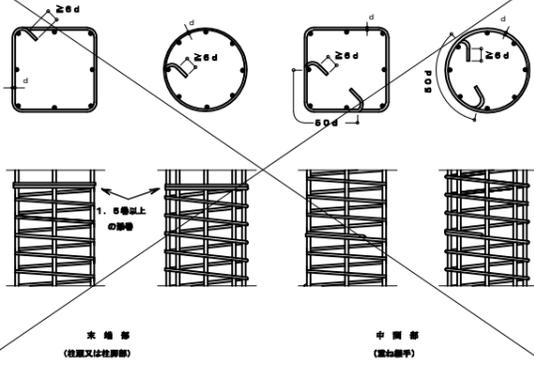
工事場所 三原市港町三丁目

図面番号 A-13 縮尺

自家発基礎 構造細目共通図 (建築構造物) (2)

三原市

(3) スパイラル筋の継手及び定着



6. 4 図 スパイラル筋の継手及び定着要領

7 柱筋の継手位置

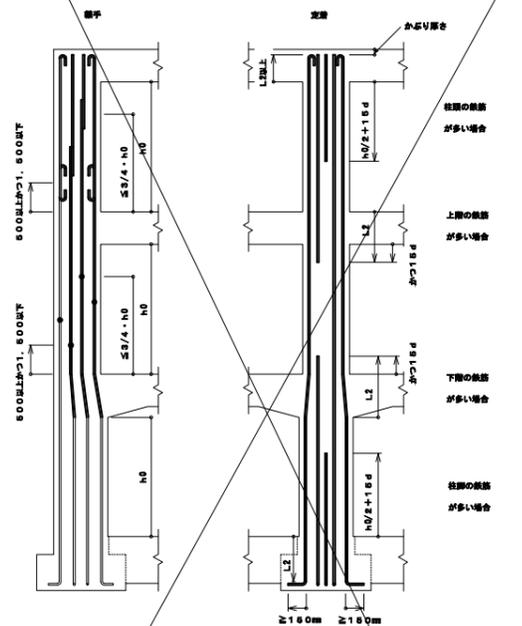
7. 1 継手及び圧接中心位置

- (1) 柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から500mm以上、1500mm以下かつ  $3/4 h_o$  ( $h_o$ は柱の内法高さ) 以下とする。

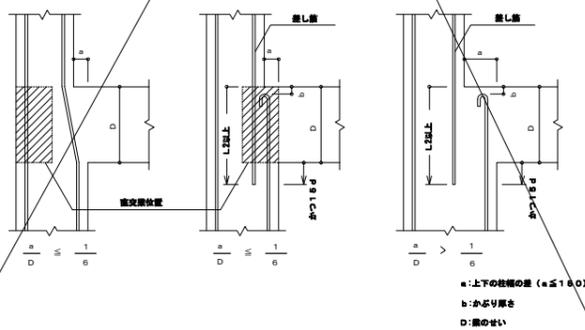
8 柱筋の継手及び定着

8. 1 一般事項

- (1) 継手長さはL1とし、定着及び余長は、8. 1 図による。
- (2) 柱頭定着長さL2が確保出来ない場合は、図面による。
- (3) 上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、8. 2 図による。



8. 1 図 柱主筋の継手、定着及び余長

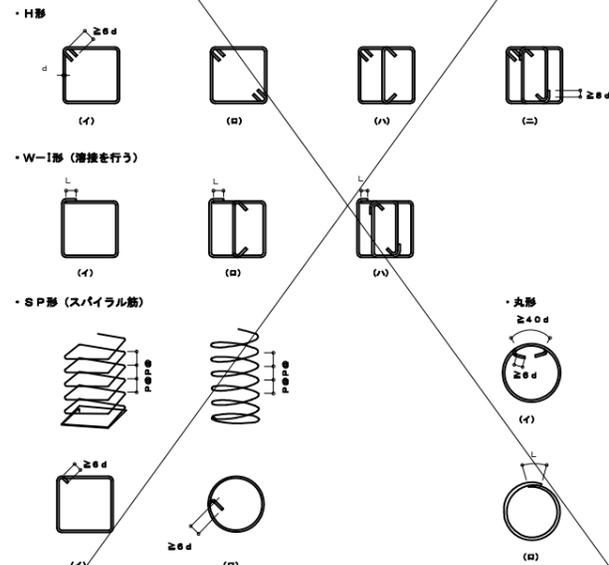


8. 2 図 上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

9 帯筋

9. 1 帯筋の形状

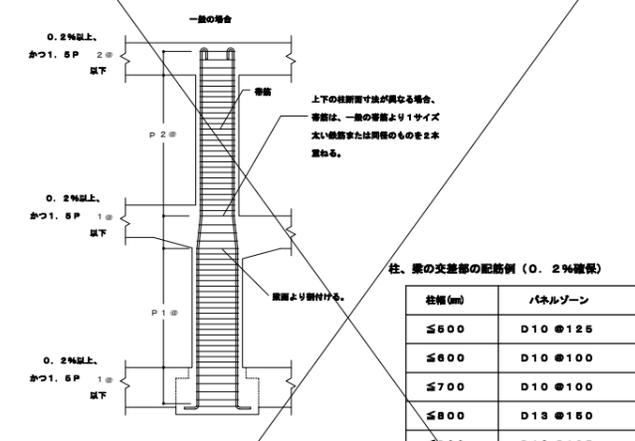
- (1) 帯筋の形状は、9. 1 図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。
- (a) H形を標準とする。
- (b) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-1形とする。
- (c) 溶接する場合の溶接長さは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とし、組立前に行う。
- (d) SP形において、柱頭及び柱脚の端部は、1. 5巻以上の巻巻きを行う。



9. 1 図 帯筋組立の形

9. 2 帯筋の割付け

- (1) フック及び継手の位置は交互とする。
- (2) 帯筋の割付けは、9. 2 図による。ただし、図面にある場合はそれによる。
- (3) 柱、梁の交差部 (パネルゾーン) の帯筋のせん断補強率は、0. 2%以上を確保し、補強筋間隔  $\leq 1. 5P$  とする。



柱、梁の交差部の配筋例 (0. 2%確保)

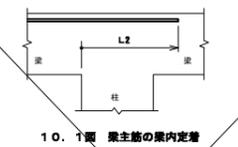
柱径 (mm)	パネルゾーン
≦600	D10 @125
≦600	D10 @100
≦700	D10 @100
≦800	D13 @150
≦900	D13 @125
≦1000	D13 @125
≦1100	D13 @100
≦1200	D13 @100

※1. 5P1, 1. 5P2のピッチは150mm以下とする。

10 大梁筋の継手及び定着

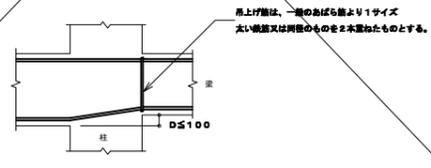
10. 1 大梁 (基礎梁以外の大梁に限る) 主筋の継手、定着及び余長

- 大梁主筋の継手及び定着の一般事項
- a. 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことが出来ない場合は、b. により柱内に定着することができる。ただし、や心得ず梁内に定着する場合は、10. 1 図による。



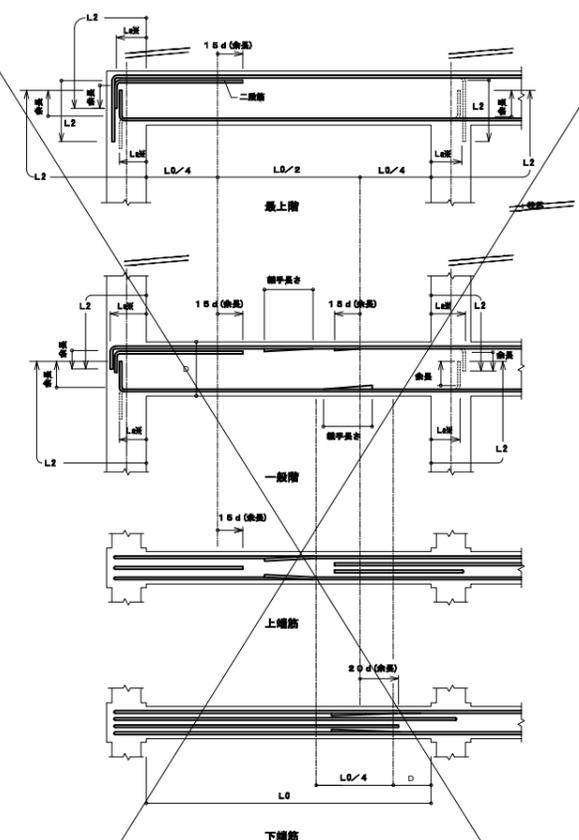
10. 1 図 梁主筋の梁内定着

- b. 梁主筋を、柱内に折曲げて定着する場合は次による。なお、定着の方法は、6. 1. 4による。
- 上層筋：曲げ下ろす。
- 下層筋：原則として曲げ上げる。
- c. 取違い量は10. 2 図による。



10. 2 図 取違い梁

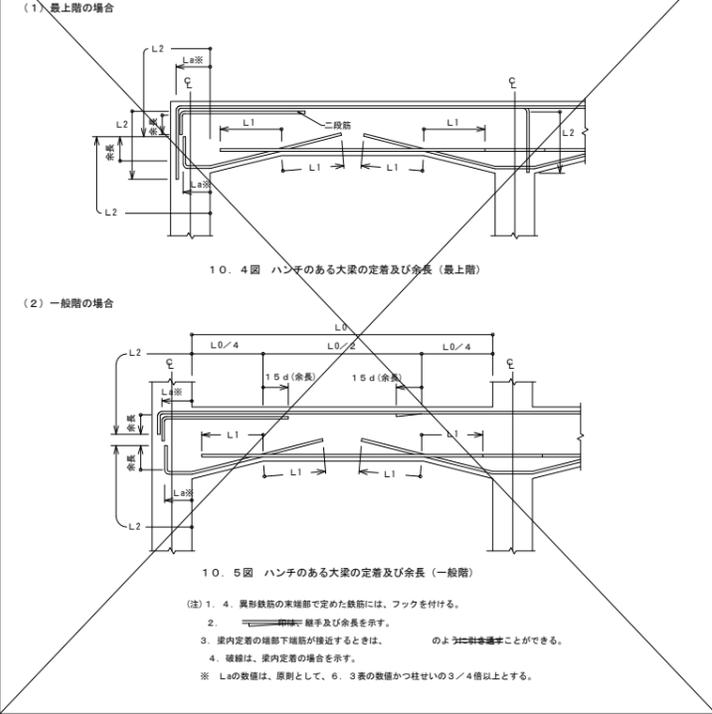
10. 2 ハンチのない場合



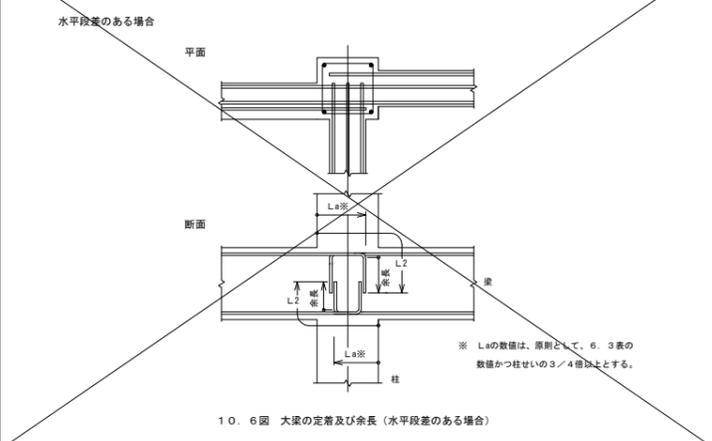
- (注) 1. 継手中心位置は次による。  
上層筋：中央L0/2以内  
下層筋：柱頭より筋せり(D)以上とし、L0/4を加えた範囲以内
- 2. 4. 異径筋筋の束増設で定めた筋筋には、フックを付ける。
- 3. 筋筋は、継手及び余長を示す。
- 4. 補強は、柱内定着の場合を示す。
- ※ L0の取違いは、原則として、6. 3 巻の巻巻きかつ柱径の3/4倍以上とする。

10. 3 図 大梁の重ね継手、定着及び余長

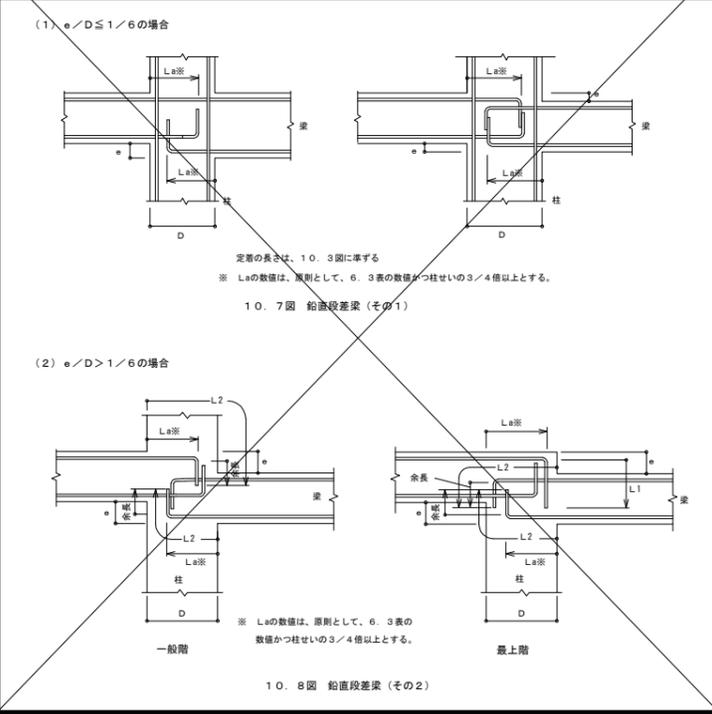
10.3 ハンチのある場合



10.4 水平段差のある場合



10.5 鉛直段差 (e) のある場合

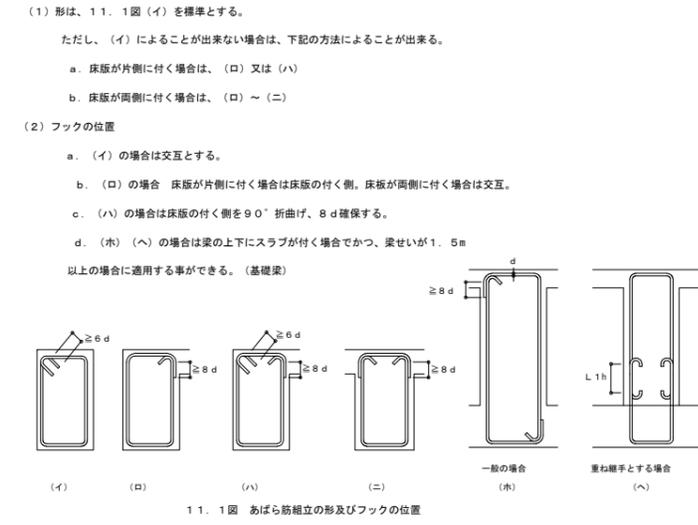


11 梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋

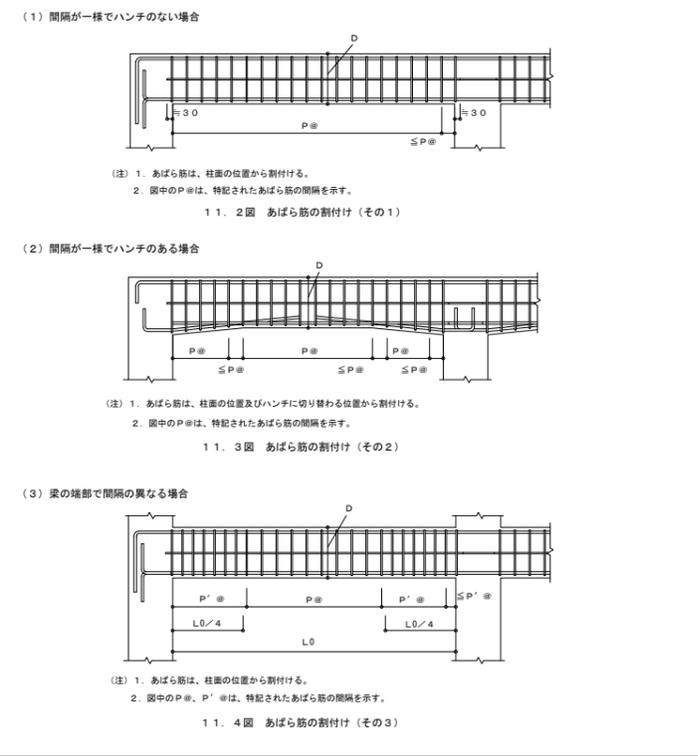
11.1 一般事項

(1) 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。  
(2) 壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは、L2とする。  
(3) 土圧、水圧を受ける梁は、図面による。  
(4) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1000mmピッチ程度とする。

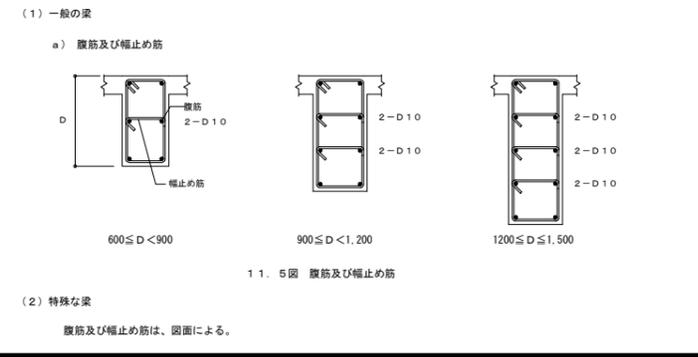
11.2 あばら筋組立の形及びフックの位置



11.3 あばら筋の割付け



11.4 腹筋及び幅止め筋

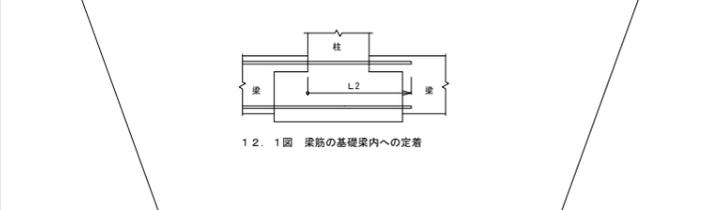


12 基礎梁及び底版の継手及び定着

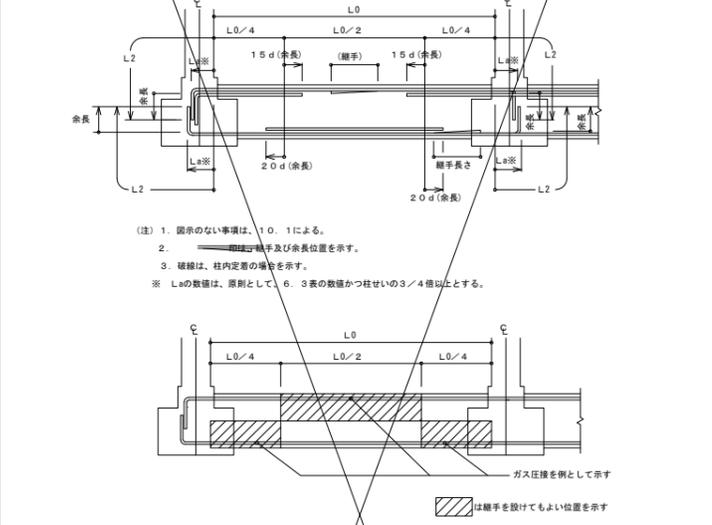
12.1 基礎梁主筋の継手、定着及び余長

1) 一般事項

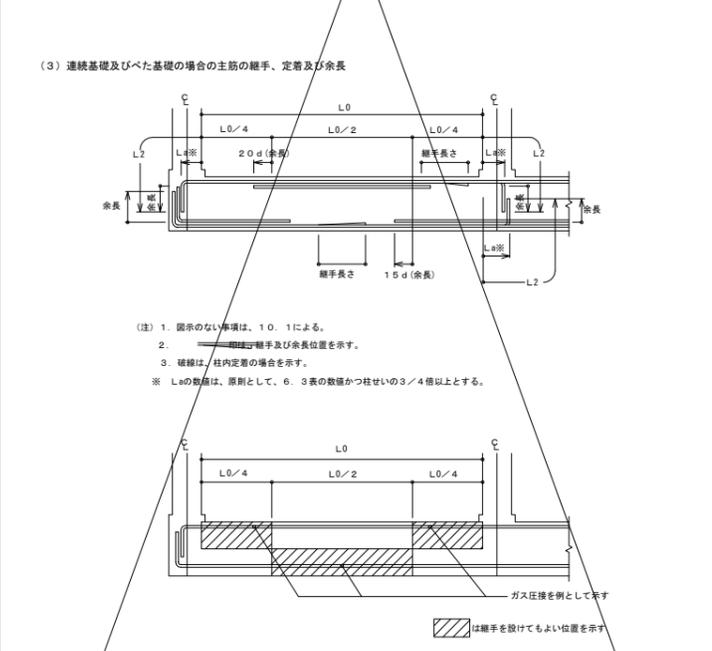
(a) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合は柱内に定着する。やむを得ず梁内に定着する場合は、12.1図による。  
(b) 梁筋を柱内に定着する場合は10.1(1)bによる。



(2) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長

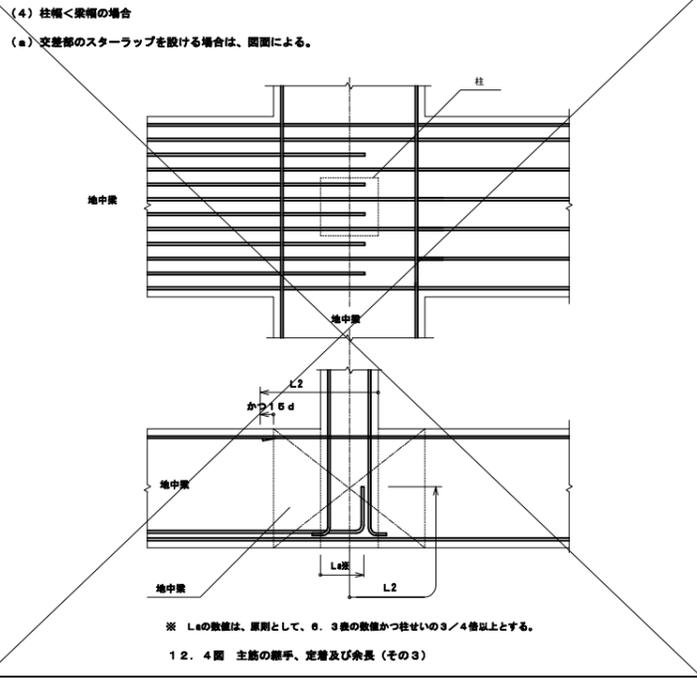


(3) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長



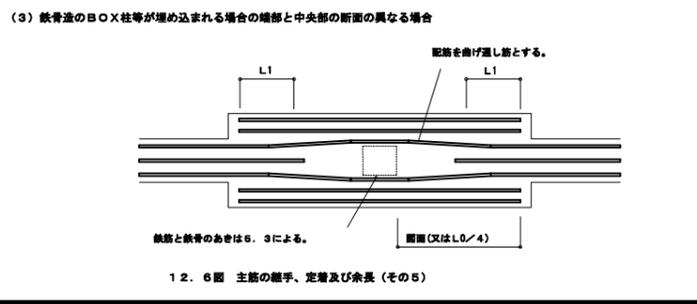
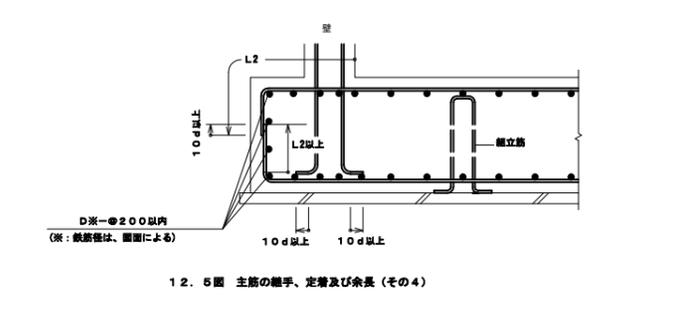
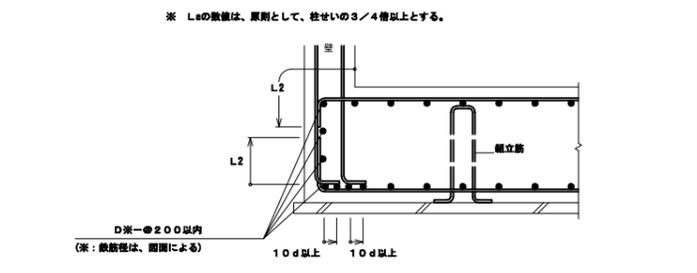
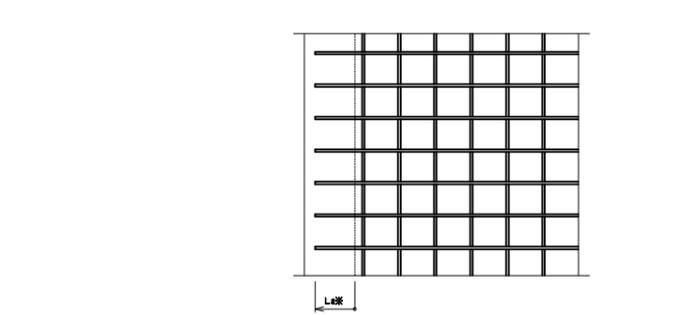
(注) 1. 図示のない事項は、10.1による。  
2. 破線は、柱内定着の場合を示す。  
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。  
※ Laの数は、原則として、6.3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

令和2年度 公共下水道事業	
工事名	港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事
工事場所	三原市港町三丁目
図面番号	A-15 縮尺
自家発電基礎 構造細目共通図 (建築構造物) (4)	
三原市	



12.4 梁形を設けない場合の基礎底版（オイルタンク等）

- (1) 定着の取り方は、壁の面からとする。
- (2) 途中で配筋が変わる場合の定着は、12.2図のように基礎底版筋を横筋と読みかえる。



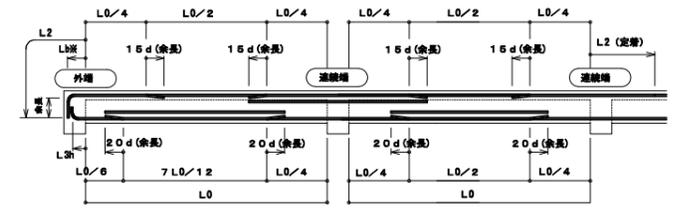
13 小梁及び片持梁の配筋要領

13.1 一般事項

- (1) 図面にない事項は、大梁、梁のあばら筋、及び基礎梁の項に準ずる。
- (2) 印は、継手及び余長を示す。

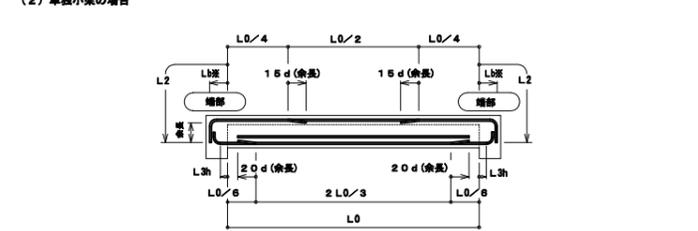
13.2 小梁

(1) 連続小梁の場合



13.1図 小梁主筋の継手、定着及び余長（その1）

(2) 単独小梁の場合

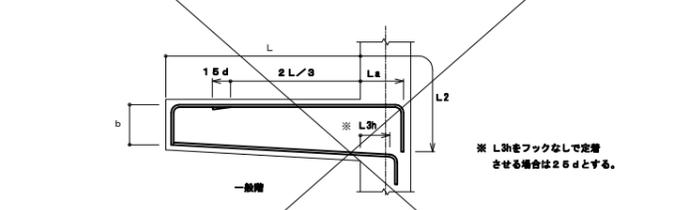


- (注) 1. 印は、継手及び余長を示す。
- 2. 梁内の定着筋において継手が小さく幅面で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。
  - 3. 図示のない事項は、10.1及び12.1に準ずる。
- ※ Lbの数値は、原則として、6.3条の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

13.3 片持梁筋の定着

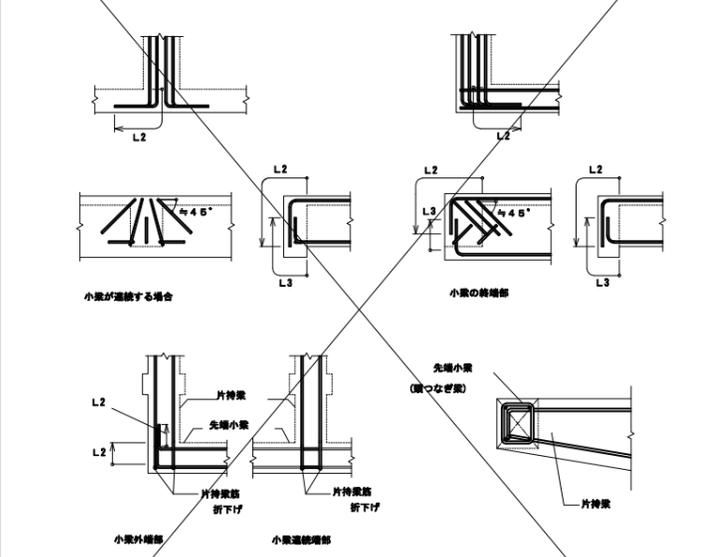
(1) 先端に小梁のない場合

- a. 先端の折曲げの長さbは、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。
- b. 梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。



(2) 先端に小梁がある場合

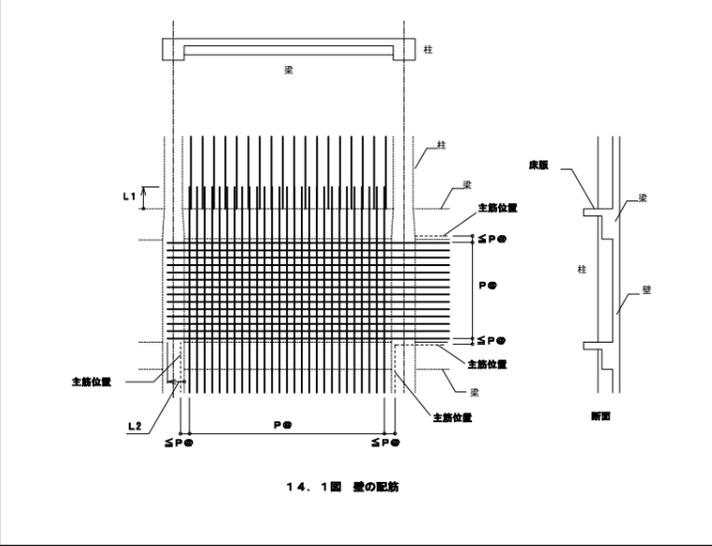
- a. 上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。
- b. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
- c. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。



14 壁の配筋要領

14.1 一般事項

- (1) 壁配筋の継手の長さはL1、及び定着の長さは、L2とする。
- (2) 土圧及び水圧などを受ける壁及び耐震壁として、図面に示されたものは、継手長さをL1、定着長さはL2とする。ただし、耐力壁の重ね継手の長さは40dとし、SD390、SD490を使用する場合は特記による。
- (3) 幅止め筋は、縦、横ともD10-@1000を標準とする。
- (4) 一般部壁筋は、14.1図による。



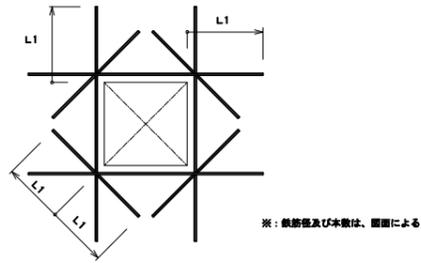
14.2 耐震壁の開口

- (1) 耐震壁等の開口は、図面以外に設けてはならない。
- (2) やむを得ず開口をあける場合は、H19国土交通省告示593号の規定を満足することを構造計算によって確認すること。

令和2年度 公共下水道事業	
工事名	港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事
工事場所	三原市港町三丁目
図面番号	A-16 縮尺
自家発電基礎 構造細目共通図 (建築構造物) (5)	
三原市	

14.3 壁開口部の補強

(1) 壁開口部の補強は、断面による。補強筋の長さ及び位置は、14.3図を標準とする。



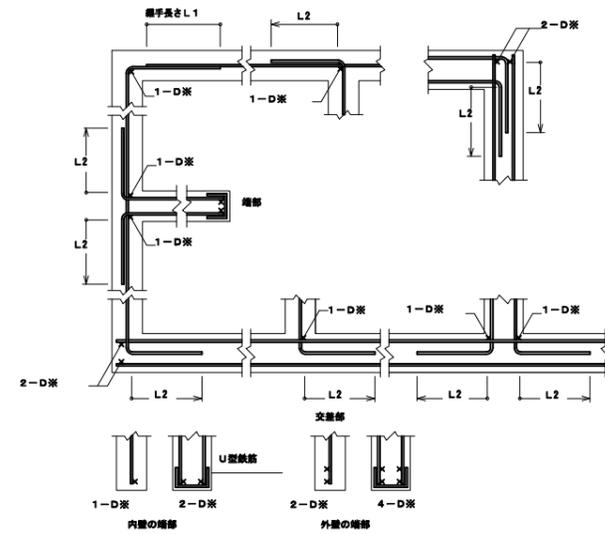
14.3図 壁開口部の補強の定着長さ

(2) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

14.4 壁の交差部及び端部

壁と壁の交差部は、14.4図による。

- a. 交差部補強筋DはD13以上、かつ壁主筋と同径とする。
- b. 壁の端部にU型鉄筋を使用する場合の径及び間隔は、壁筋と同径及び同間隔とする。



14.4図 壁の交差部及び端部の配筋

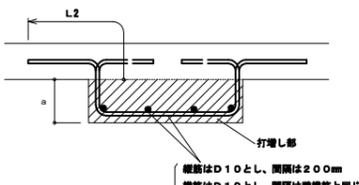
※ 壁構造の場合は、「壁構造配筋指針・同解説」(建築学会)に基づき断面による。

4.5 壁の打増し要領

コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記によるほか、配管等での壁の打増し補強筋は、14.5図による。

打増し厚さのaが50mm以上、200mm以下に適用する。

200mmを超える場合は、特記による。

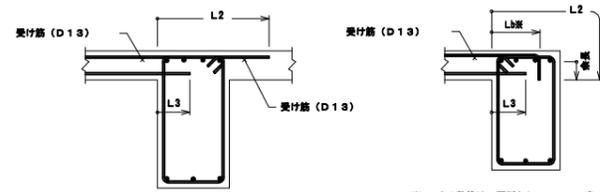


14.5図 壁の打増し補強配筋

15 床の配筋要領

15.1 一般事項

- (1) 鉄筋の標準長さは、L1とする。
- (2) 定着長さ及び受け筋は、15.1図による。ただし、引き通すことができない場合は、15.2図、15.3図により梁内に定着する。
- (3) 基礎梁と床版を一体打ちとし、打ち継ぎを設ける場合の補強は断面による。断面がなければ15.5図による。

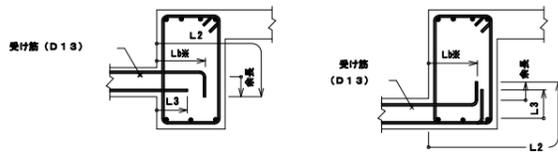


15.1図

スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その1)

15.2図

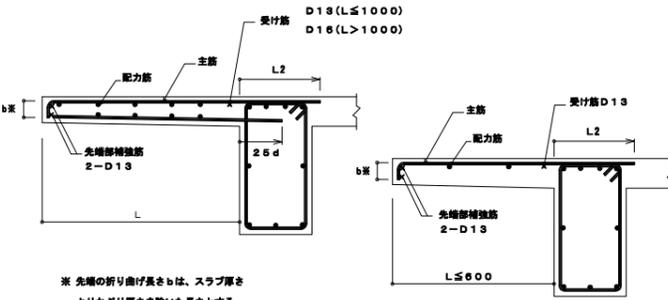
スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その2)



15.3図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その3)

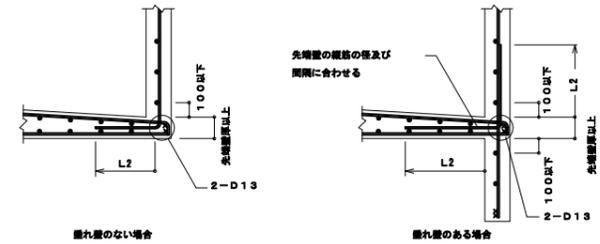
15.2 片持スラブ

(1) 片持スラブの配筋



15.2図 片持スラブの配筋

(2) 先端に小梁がなく壁が取り付く場合



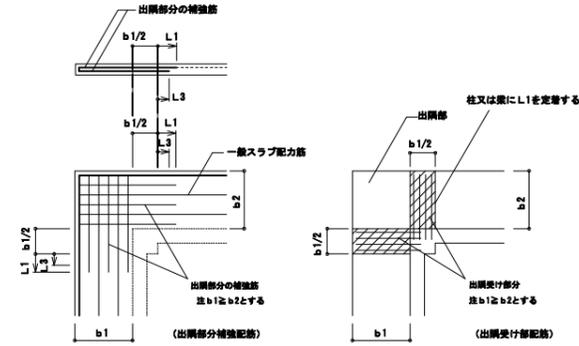
15.3図 先端に壁が付く場合の配筋

15.3 出隅部の配筋方法

(1) 補強の配筋は断面による。配筋方法は、15.6図による。

特記がない場合は、D10@100ダブルとする。

(2) 出隅受け部分(面のハッチ部分)の配筋は、断面(幅はb/2とする)による。

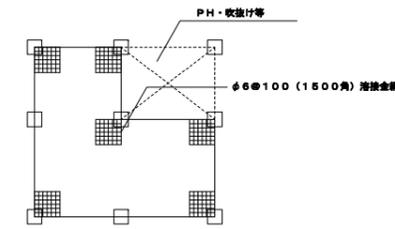


15.6図 片持スラブ出隅部の補強配筋

15.4 地上部最上層の屋根床版

(1) 出隅及び入隅部分には、15.7図により、補強筋(溶接金網)を上端筋の下側に配筋する。

(2) 融雪根、勾配配筋共通とする。

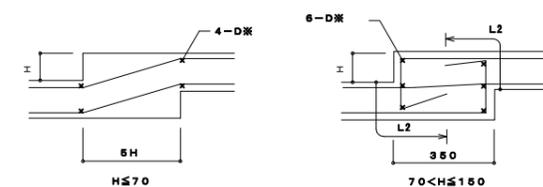


15.7図 出隅及び入隅部分の補強配筋

15.5 段差床版の補強

同一床版に段差がある場合、15.8図の補強を行う。ただし、H>150の場合は、

小梁を設ける事を原則とする。



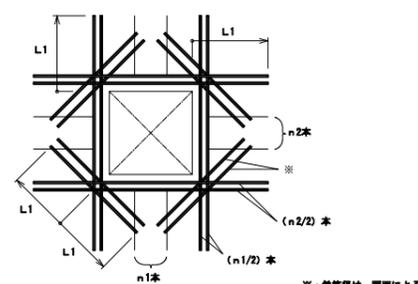
15.8図 段差のある床版の補強配筋

15.6 床版開口部の補強

(1) 開口の最大径が700の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、

隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する。(15.9図)

開口の最大径>700の場合は断面による。



15.9図 床版開口部の補強配筋

(2) 床版開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

令和2年度 公共下水道事業

工事名 港町第2排水ポンプ場自家発電設備工事

工事場所 三原市港町三丁目

図面番号 A-17 縮尺

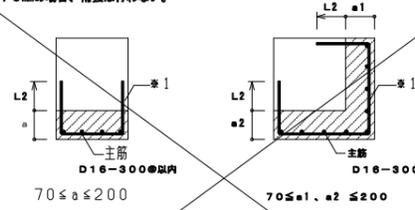
自家発基礎 構造細目共通図  
(建築構造物) (6)

三原市

16 柱及び梁の増し打ち要領

16.1 柱

(1) 増し打ちコンクリートの補強は、16.1図による。  
ただし、 $a < 70\text{mm}$ の場合、補強は行わない。



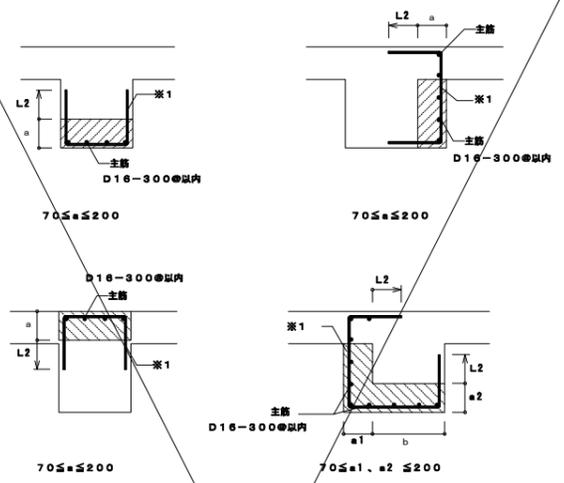
\*1. 帯筋と同径・同材質・同ピッチとする。

16.1図 柱の増し打ち補強配筋

- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合は除く。
- (3) 増し打ち部分の帯筋の定着長さは、 $L2$ 以上とする。
- (4) 増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。

16.2 梁

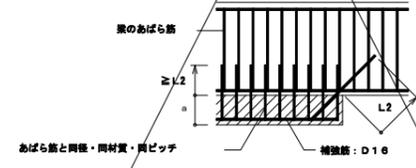
(1) 増し打ちコンクリートの補強は、16.2図による。ただし、 $a < 70\text{mm}$ の場合、補強は行わない。



\*1. あばら筋と同径・同材質・同ピッチとする。

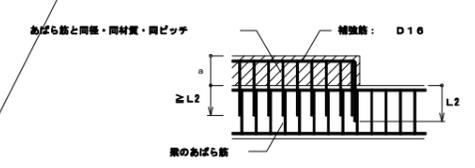
16.2図 梁の増し打ち補強配筋

- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合は除く。
- (3) 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、 $L2$ 以上とする。
- (4) 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。
- (5) 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合



16.3図 梁の上下の増し打ち配筋補強（途中で終わる場合）

(6) 梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合

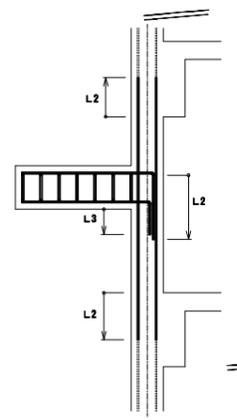


16.4図 梁の側面の増し打ち配筋補強（途中で終わる場合）

18 階段の配筋要領

18.1 階段の配筋要領

(1) 壁配筋は、図面による。  
(2) 階段主筋は、壁の中心線を越えてから壁に曲げ下ろす。

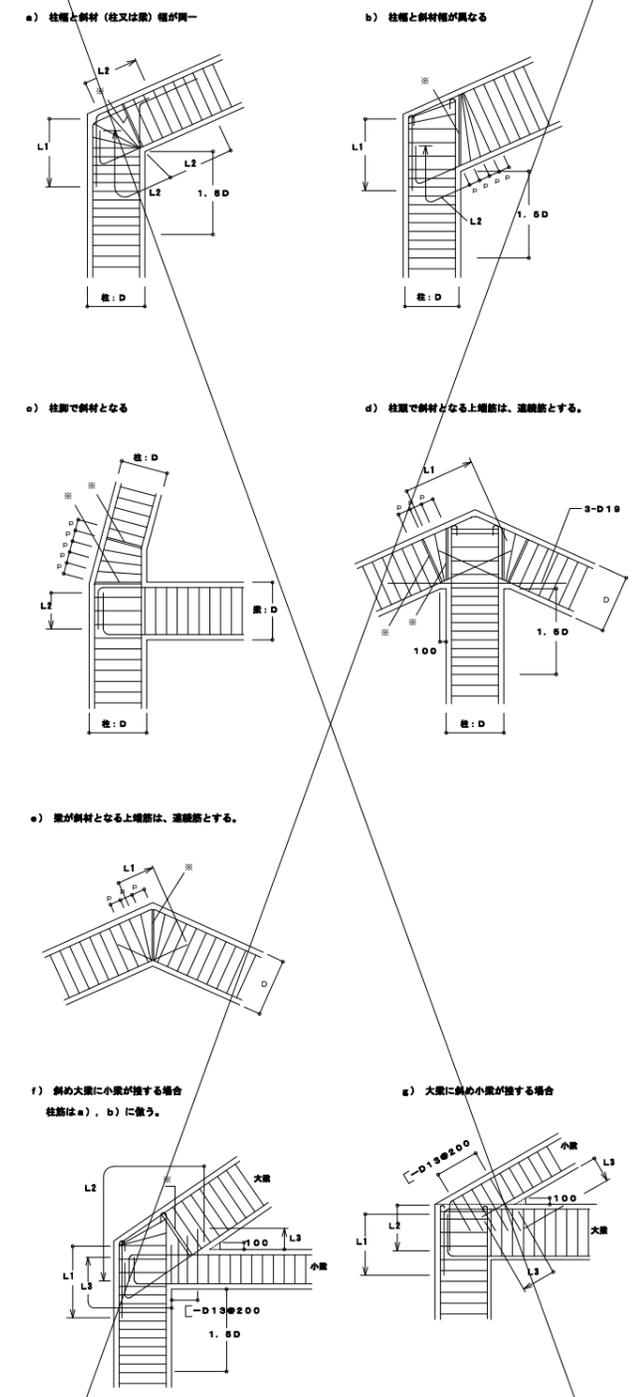


18.1図 片持スラブ形階段配筋の定着

19 勾配屋根の取り合い

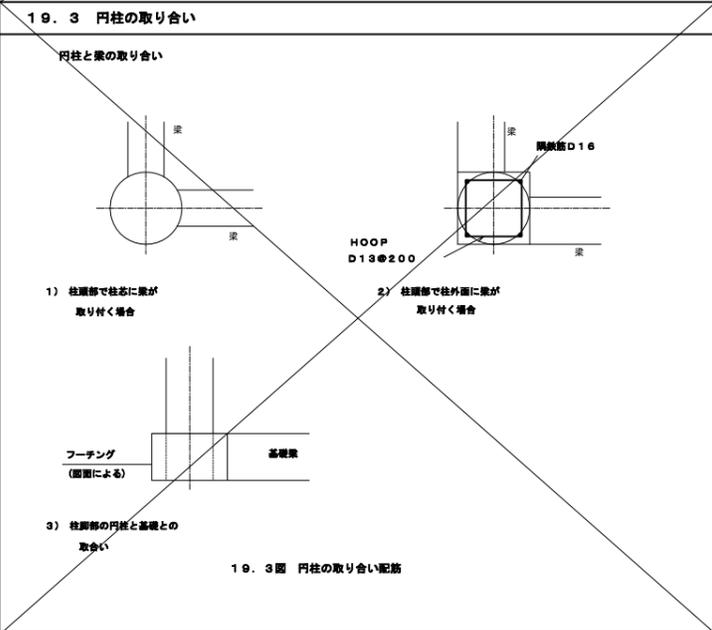
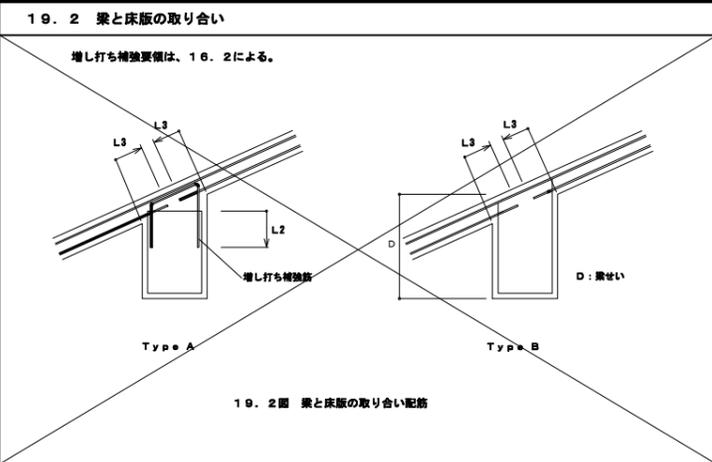
19.1 斜め柱・斜め梁の取り合い

(1) ※印の鉄筋は、両径以上とし、かつダブル巻きとする。  
(2) 1.5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、またはダブル巻きとし $\phi 100$ 以下とする。  
(3) 柱の取合い部における斜め梁のせん断補強筋中心間隔は、当該梁部材のせん断補強筋中心間隔 $p$ 以下とする。



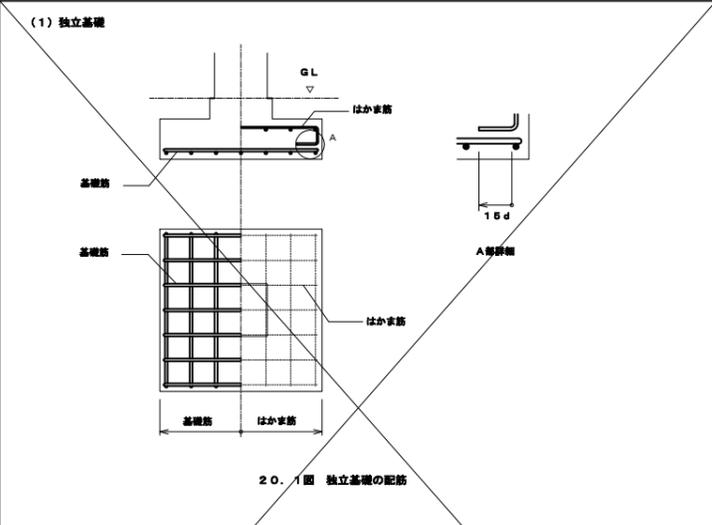
19.1図 斜め柱・斜め梁の取り合い配筋

令和2年度 公共下水道事業	
工事名	港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事
工事場所	三原市港町三丁目
図面番号	A-18 縮尺
自家発基礎 構造細目共通図 (建築構造物) (7)	
三原市	

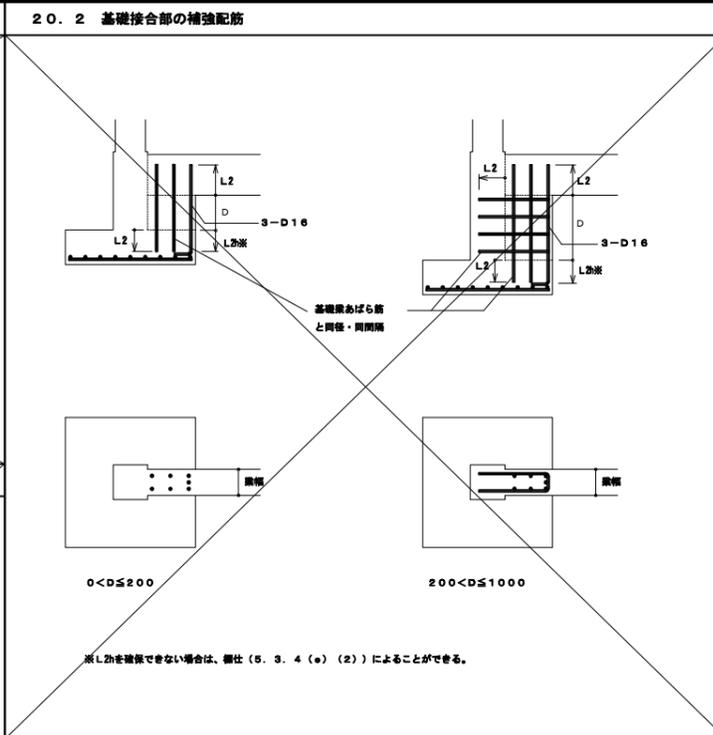
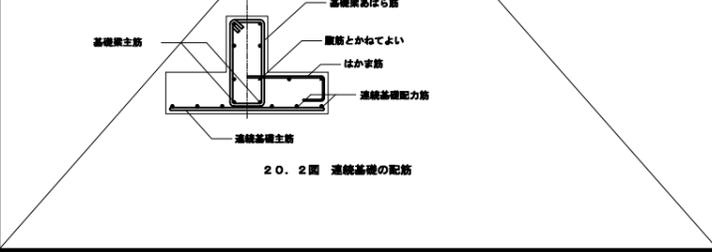


**20 基礎及び基礎梁の配筋**

**20.1 直接基礎の配筋**



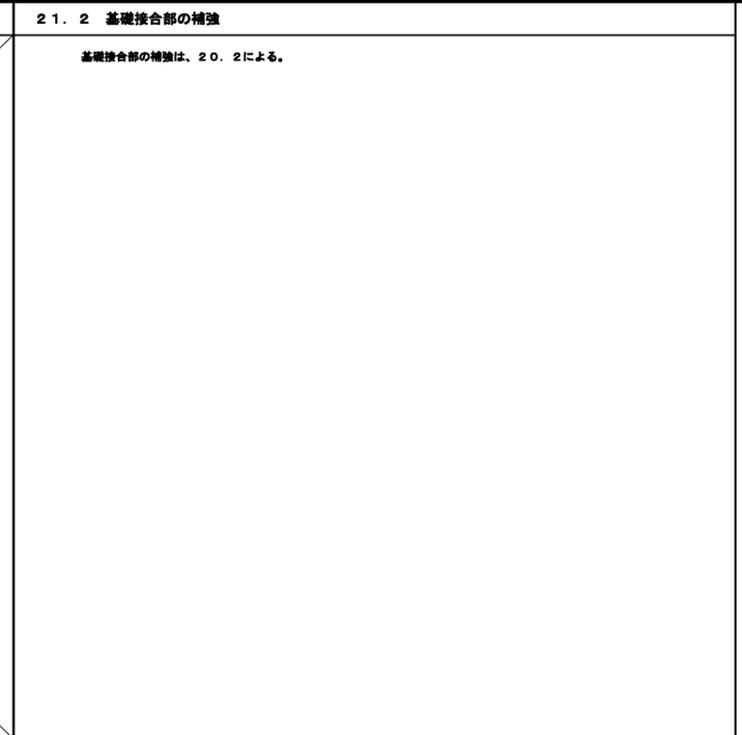
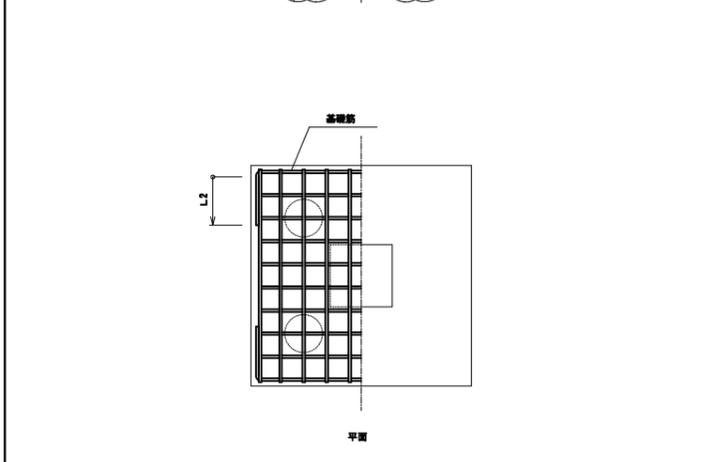
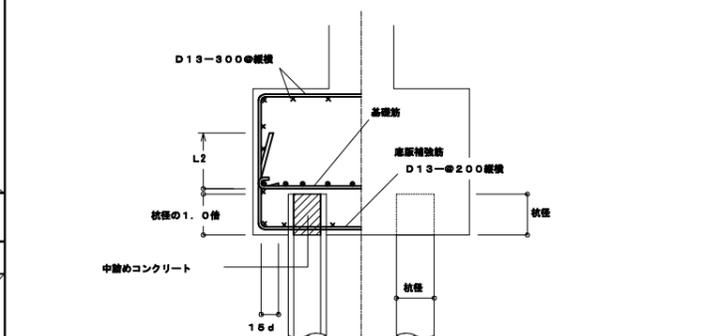
**20.2 連続基礎の配筋**



**21 杭基礎の補強**

**21.1 杭基礎の配筋**

- (1) 中詰めコンクリートは、基礎のコンクリートと同じ割合のコンクリートを使用する。
- (2) 既製コンクリート杭以外の場合は、特記による。

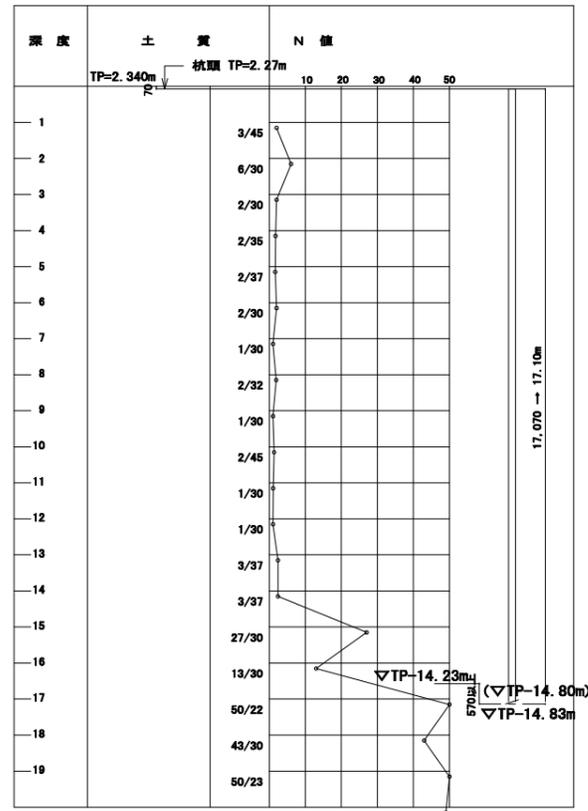


<b>令和2年度 公共下水道事業</b>	
工事名	港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事
工事場所	三原市港町三丁目
図面番号	A-19 縮尺
自家発電基礎 構造細目共通図 (建築構造物) (8)	
三原市	

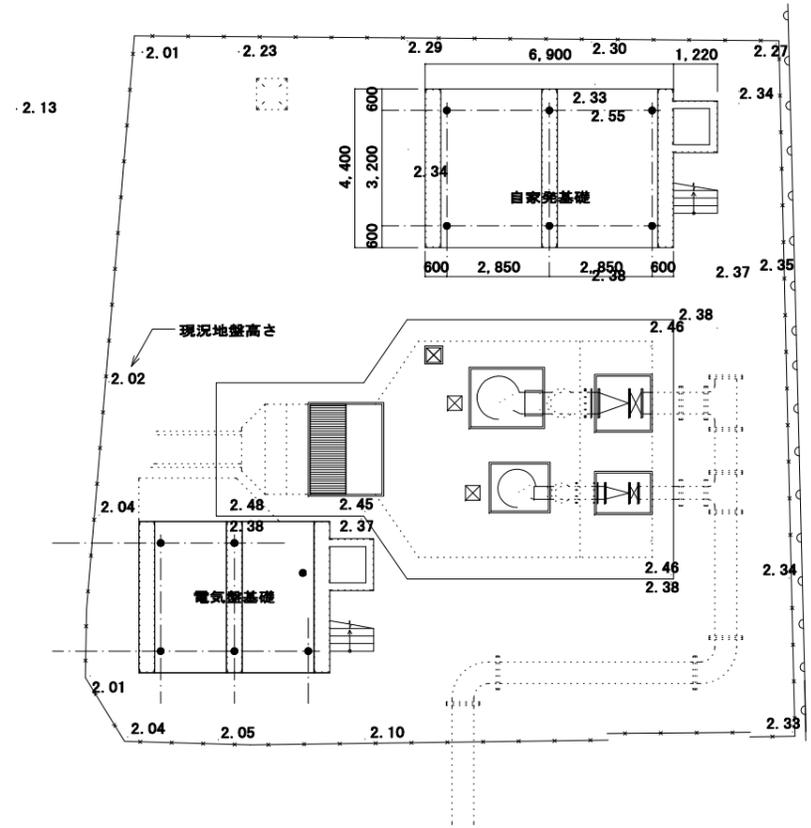


ボーリング柱状図

ボーリングデータ No.2 (自家発電) S=1/100



杭仕様  
 翼付き鋼管杭 回転工法 (EAZET)  
 杭径 φ190.7x7.0 杭長 17.1m  
 羽根径 φ570 羽根厚 SM490A PL-22  
 必要支持力 250 KN/本  
 杭キャップ SS400 PL-12



杭配置図 S=1:100

令和2年度 公共下水道事業			
工事名	港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事		
工事場所	三原市港町三丁目		
図面番号	A-21	縮尺	1/100
杭配置図			
三原市			

# 港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事 参考資料



港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事  
(電気設備工事)

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-02.04.01(0)		凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	G 下水道電気設備		
	当世代	前世代	
復興係数区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	00 補正なし 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工（機器費）					Y1800G レベル1
電気設備工	1	式			Y28001G レベル2
電気設備工	1	式			Y280011G レベル3
設計技術費対象	1	式			Y28001101G レベル4
機器費	1	式			V0001 00
** 機器費 **	1	式			単第0 -0001 表
設備工					Y1900G レベル1
電気設備工	1	式			Y29001G レベル2
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
輸送費	1	式			Y390011G レベル3
運搬費	1	式			YZ901001001 レベル4
車扱運賃料金 220km 4t車まで	1	台			F0000000003 00
材料費	1	式			Y390012G レベル3
直接材料費	1	式			Y49001201G レベル4
低圧ケーブル	1	式			V0002 00
制御ケーブル	1	式			単第0 -0002 表 V0003 00
電線類	1	式			単第0 -0003 表 V0004 00
端末処理材	1	式			単第0 -0004 表 V0104 00
	1	式			単第0 -0005 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
電線管類					V0005 00
	1	式			単第0 -0006 表
ケーブルラック					V0105 00
	1	式			単第0 -0007 表
その他材料					V0205 00
	1	式			単第0 -0008 表
補助材料費					Y49001202G レベル4
	1	式			
補助材料費(率分)					SY49202G 00
	1	式			電気設備 単第0 -0009 表
労務費					Y390013G レベル3
	1	式			
一般労務費					Y49001301G レベル4
	1	式			
一般労務費					V0006 00
	1	式			単第0 -0010 表
技術労務費					Y49001302G レベル4
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術労務費					V0007 00
複合工費	1	式			単第0 -0011 表 Y390014G レベル3
複合工	1	式			Y49001403G レベル4
土工	1	式			V1000 00
基礎工	1	式			単第0 -0012 表 V2000 00
撤去工	1	式			単第0 -0017 表 V3000 00
舗装工	1	式			単第0 -0026 表 V4000 00
直接経費	1	式			単第0 -0031 表 Y390015G レベル3
機械経費	1	式			Y49001503G レベル4
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械経費（率分）					SY49503G 00
	1	式			電気設備 単第0 -0034 表
総合試運転費					Y49001504G レベル4
	1	式			
総合試運転費（率分） 電気設備工 ポンプ場施設					SY49504G 00
	1	式			電気設備 単第0 -0035 表
仮設費					Y390016G レベル3
	1	式			
仮設費（率分）					SY396G 00
	1	式			電気設備 単第0 -0036 表
**直接工事費**					
準備費					Z0002
準備費					YZ902 レベル2
	1	式			
準備費					YZ902001 レベル3
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
準備費					YZ902001001レベル4
	1	式			
運搬処分工					V5000 00
	1	式			単第0 -0037 表
共通仮設費率分					Z0010
計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
** 共通仮設費 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
据付（技術者）間接費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
据付（機器）間接費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
**据付工事原価**					
設計技術費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
**工事原価**					
一般管理費率分額 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率... 対象額合計...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
**一般管理費計**					
**工事価格計**					
消費税相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
**請負工事費計**					











# 施工単価表

電線管類

V0005

単第0 -0006 表

頁0 -0014

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
厚鋼電線管 G92 亜鉛メッキ	1.54	m			
厚鋼電線管 G36 亜鉛メッキ	1.54	m			
厚鋼電線管 G28 亜鉛メッキ	1.54	m			
付属材料費	35	%			#01
波状硬質合成樹脂管 FEP100mm	1.76	m			
波状硬質合成樹脂管 FEP50mm	3.52	m			
波状硬質合成樹脂管 FEP30mm	1.10	m			
直線接続材 FEP100mm用	3	個			
直線接続材 FEP50mm用	1	個			
直線接続材 FEP30mm用	1	個			
ベルマウス FEP100mm用	1	個			
ベルマウス FEP50mm用	2	個			



















# 施工単価表

機械投入埋戻工(小型バックホウ)

SG1D0002002

単第0 -0015 表

頁0 -0024

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-18_小型バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.13m3(平積0.10m3)	1.538	日			単第0-0014 表 100/65
タンバ締固め	100	m3			単第0-0016 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 山積0.13m3			B=6	材料別途	

# 施工単価表

タンパ締固め

SPK19040020

単第0 -0016 表

頁0 -0025

機械構成比: 1.45% 労務構成比: 97.12% 材料構成比: 1.43% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,340.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.45%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.43%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 全ての費用					

# 施工単価表

基礎工

V2000

単第0 -0017 表

頁0 -0026

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	2.06	m3			単第0-0018 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	1.93	m3			単第0-0019 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	9.52	m2			単第0-0020 表
モルタル上塗工(配合1:3)(マンホール用)	3.02	m2			単第0-0021 表
金こて仕上げ 直均し(手間のみ)	12.6	m2			
コンクリートはつり 平均はつり厚3cm以下	5.95	m2			単第0-0023 表
鉄筋 SD345 D13	0.13	t			単第0-0024 表
差筋アンカー 樹脂カプセル 13mm	18	本			
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	0.49	m2			単第0-0025 表
鋼材加工 塗装なし	1.51	kg			
鋼材加工 溶融亜鉛メッキ	192	kg			
*** 単位当たり ***	1	式			

# 施工単価表

コンクリート

SPK19040150

単第0 -0018 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.78% 労務構成比:

37.76% 材料構成比: 57.46%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

26,831.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.51%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.24%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	6.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.76%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	55.46%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.89%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

コンクリート

SPK19040150

単第0 -0019 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.78% 労務構成比:

37.76% 材料構成比: 57.46%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

26,831.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.51%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.24%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	6.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.76%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	55.46%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.89%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

型枠

SPK19040152

単第0 -0020 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,254.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	47.76%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	24.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.08%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 全ての費用			B=1 鉄筋・無筋構造物		



# 施工単価表

モルタル練  
高炉

SPK19040151

単第0 -0022 表

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

混合比1:3

61.59%

材料構成比: 38.41%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1

m3 当り  
36,083.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	61.59%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	25.55%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	12.86%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉 C=1 全ての費用			B=3 混合比1:3		

# 施工単価表

コンクリートはつり  
平均はつり厚3cm以下

SPK19040114

単第0 -0023 表

機械構成比: 1.78% 労務構成比: 94.39%

材料構成比: 3.83%

市場単価構成比: 0.00%

1  
標準単価:

m2 当り  
4,304.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量5m3/min 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.73%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型] 5m3/min		KTPC00030 KTPT00030
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	38.30%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	31.43%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	21.92%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.72%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001



# 施工単価表

鉄筋

SPK19040337

単第0 -0024 表

SD345 D13

1

t 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 75.69% 材料構成比: 24.31% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 310,470.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	44.57%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	19.51%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.13%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	24.31%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPC00001 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=4 SD345 D13			B=1 全ての費用		

# 施工単価表

基礎砕石

SPK19040039

単第0 -0025 表

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 4.78% 労務構成比:

77.15%

材料構成比: 18.07%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

942.25000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.75%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	40.16%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	17.48%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.93%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	9.05%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	15.28%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.78%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013





# 施工単価表

頁0 -0040

舗装版切断

SPK19040309

単第0 -0027 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 6.42%

労務構成比:

53.37%

材料構成比: 40.21%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

547.25000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径56cm	4.34%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.48%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	37.36%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.93%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009





# 施工単価表

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)

SDT00033

単第0 -0029 表

頁0 -0043

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_鉄筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 昼間施工 C=2 低騒音・低振動対策			B=1 機械施工 D=1 時間的制約なし		

1 m3 当り





# 施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK19040236

単第0 -0032 表

RM-30

全仕上り厚150mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.59% 労務構成比: 29.59%

材料構成比: 59.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

533.81000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	4.28%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.32%		ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.08%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	13.58%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	4.78%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	4.54%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.36%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK19040236

単第0 -0032 表

RM-30

全仕上り厚150mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.59%

労務構成比:

29.59%

材料構成比:

59.82%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

533.81000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30~0mm	57.14%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.20%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 H=1 RM-30 -(全ての費用)			E=150 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0048

表層(車道・路肩部)

SPK19040243

単第0 -0033 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.51% 労務構成比:

42.49%

材料構成比: 57.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,433.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.30%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.14%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	13.28%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.97%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	52.25%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.58%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK19040243

単第0 -0033 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.51% 労務構成比:

42.49%

材料構成比: 57.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,433.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.12%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.03%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					







# 施工単価表

運搬処分工

V5000

単第0 -0037 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)	30.4	m3			単第0-0038 表
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(小規模土工) DID区間有り 運搬距離3.5km以下(3.0km超)	10.4	m3			単第0-0040 表
殻運搬 Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 DID区間有り 運搬距離3.5km以下(3.0km超)	9.91	m3			単第0-0041 表
殻運搬 Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 DID区間有り 運搬距離3.5km以下(3.0km超)	0.83	m3			単第0-0041 表
残土処分費	30.4	m3			
アスファルト殻受入費	24.4	t			
コンクリート殻受入費 鉄筋	24.8	t			
コンクリート殻受入費 無筋	1.95	t			
車扱運賃料金 10km 6t車まで	1	台			
スクラップ H3	-5.02	t			
*** 単位当たり ***	1	式			



# 施工単価表

ダンプトラック運転  
011 オンロード ディーゼル

SM2203010

単第0 -0039 表

1

日 当り

2t積級

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	22.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 2t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 2 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011_オンロード ディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=1 2t積級 D=22 燃料消費量(L/日) F=1 路面状況:良好		

# 施工単価表

殻運搬

SPK19040148

単第0 -0040 表

舗装版破碎 機械積込(小規模土工)

DID区間有り 運搬距離3.5km以下(3.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 20.75% 労務構成比:

69.90%

材料構成比: 9.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,164.10000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.75%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	69.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.35%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 全ての費用			B=5 機械積込(小規模土工) D=17 運搬距離3.5km以下(3.0km超)		

# 施工単価表

殻運搬

SPK19040148

単第0 -0041 表

Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込

DID区間有り 運搬距離3.5km以下(3.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 48.90% 労務構成比:

36.46% 材料構成比: 14.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,010.60000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	48.90%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	36.46%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.64%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=2 E=1	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り 全ての費用		B=1 D=17	機械積込 運搬距離3.5km以下(3.0km超)	



## 材料数量

(\*) 印は工量無

( 1 )	低圧ケーブル	600V EM-CET 250 sq	m	49.8
( 2 )	低圧ケーブル	600V EM-CE 3.5 sq- 3 c	m	44.2
( 3 )	低圧ケーブル	600V EM-CE 3.5 sq- 2 c	m	48.7
( 4 )	制御ケーブル	EM-CEE 1.25 sq- 10 c	m	48.2
( 5 )	その他電線	EM-IE 38 sq	m	26.8
( 6 )	端末処理材	600V EM-CET 250 sq	組	2 (*)
( 7 )	電線管類	亜鉛メッキG 92 mm (埋込)	m	1.54
( 8 )	電線管類	亜鉛メッキG 36 mm (埋込)	m	1.54
( 9 )	電線管類	亜鉛メッキG 28 mm (埋込)	m	1.54
(10)	電線管類	FEP 100 mm (埋込)	m	1.76
(11)	電線管類	FEP 50 mm (埋込)	m	3.52
(12)	電線管類	FEP 30 mm (埋込)	m	1.10
(13)	ケーブルラック	アルミケーブルラック セパレータ有100% 200W	m	1.5
(14)	電線管類	ベルマウス FEP 100 φ用	個	1 (*)
(15)	電線管類	ベルマウス FEP 50 φ用	個	2 (*)
(16)	電線管類	ベルマウス FEP 30 φ用	個	1 (*)
(17)	電線管類	直線接続材 FEP 100 φ用	個	1 (*)
(18)	電線管類	直線接続材 FEP 50 φ用	個	2 (*)
(19)	電線管類	直線接続材 FEP 30 φ用	個	1 (*)
(20)	その他材料	屋外照明(LED) T4.5m(水銀灯400W相当)	組	1
(21)	その他材料	ケーブル埋設シート 高反射クロスタブル 150W	m	0.6
(22)	複合工費	鋼材加工 SS : 塗装無し	kg	1.51 (*)
(23)	複合工費	鋼材加工 SS : 塗装無し(溶融亜鉛メッキ)	kg	192 (*)
(24)	複合工費	鉄筋加工 D 13	kg	131 (*)
(25)	複合工費	差し筋アンカー D 13	本	18 (*)

## 材料数量

(\*) 印は工量無

(26)	複合工費	鉄筋コンクリート工 21N/mm2	m3	2.06 (*)
(27)	複合工費	無筋コンクリート工 18N/mm2	m3	1.93 (*)
(28)	複合工費	型枠工	m2	9.52 (*)
(29)	複合工費	モルタル仕上げ工 20mm	m2	3.02 (*)
(30)	複合工費	金こて仕上げ工	m2	12.6 (*)
(31)	複合工費	チップング工 10mm	m2	5.95 (*)
(32)	複合工費	掘削	m3	40.4 (*)
(33)	複合工費	埋戻し工 (発生土・機械)	m3	41.7 (*)
(34)	複合工費	残土処理工 (土砂)	m3	0.39 (*)
(35)	複合工費	砂充填	m3	0.10 (*)
(36)	複合工費	再生密粒度 アスファルト工50mm	m2	234 (*)
(37)	複合工費	粒度調整 再生砕石工150mm	m2	234 (*)
(38)	複合工費	アスファルトカッター工	m	23.4 (*)
(39)	複合工費	アスファルト取壊し工	m2	208 (*)
(40)	複合工費	産業廃棄物 (As殻)	m3	10.4 (*)
(41)	複合工費	基礎砕石工 100mm	m2	0.49 (*)
(42)	複合工費	コンクリート取壊し工	m3	10.7 (*)
(43)	複合工費	産業廃棄物 (Co殻)	m3	10.7 (*)
(44)	一般労務費	電 工 (据付)	人	48
(45)	技術労務費	技術者 (据付)	人	9
(46)	技術労務費	技術者 (組合試験)	人	10







材 料 集 計 表 - 1

内訳区分	600V EM-CET				600V EM-CE				600V EM-CE				EM-CEE				EM-IE			
	250 sq				3.5 sq				3.5 sq				1.25 sq				38 sq			
					3 c				2 c				10 c							
	P&D	RACK	CP	FEP																
CHK ( 3- 1)	15.7	3.0	4.3	22.3	8.1	1.5	2.9	27.7	14.7	3.0	4.3	22.3	14.2	3.0	4.3	22.3	8.1	1.5	1.4	13.4
合計値 (A)	15.7	3.0	4.3	22.3	8.1	1.5	2.9	27.7	14.7	3.0	4.3	22.3	14.2	3.0	4.3	22.3	8.1	1.5	1.4	13.4
補充率 (B)	1.1				1.1				1.1				1.1				1.1			
(C)=(A)×(B)	17.27	3.30	4.73	24.53	8.91	1.65	3.19	30.47	16.17	3.30	4.73	24.53	15.62	3.30	4.73	24.53	8.91	1.65	1.54	14.74
設計数量 (D)=Σ(C)	49.83 ----> 49.8				44.22 ----> 44.2				48.73 ----> 48.7				48.18 ----> 48.2				26.84 ----> 26.8			
電工単位工量(E)=(E0)	0.15	0.22	0.19	0.17	0.016	0.025	0.021	0.018	0.013	0.020	0.017	0.015	0.029	0.044	0.037	0.033	0.025	0.038	0.032	0.028
電工量 (C)×(E)	2.590	0.726	0.898	4.170	0.142	0.041	0.066	0.548	0.210	0.066	0.080	0.367	0.452	0.145	0.175	0.809	0.222	0.062	0.049	0.412

C- 1 / 4

電工量小計= 12.230

材 料 集 計 表 - 2

内訳区分	600V EM-CET端末処理材																			
	250 sq																			
	屋外	屋内																		
CHK ( 3- 2)		2																		
合計値 (A)		2																		
設計数量 (D)		2																		
電工単位工量(E)=(E0)																				
電工量 (A)×(E)																				

C- 2 / 4

材 料 集 計 表 - 3

内訳区分	亜鉛メッキG				亜鉛メッキG				亜鉛メッキG				FEP				FEP			
	92 mm				36 mm				28 mm				100 mm				50 mm			
	露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込		
CHK ( 3- 2)		1.4				1.4				1.4				1.6						
CHK ( 3- 3)																		3.2		
合計値 (A)		1.4				1.4				1.4				1.6				3.2		
補完率 (B)	1.1				1.1				1.1				1.1				1.1			
(C)=(A)×(B)		1.54				1.54				1.54				1.76				3.52		
設計数量 (D)=(C)		1.54				1.54				1.54				1.76				3.52		
電工単位工量(E)=(E0)	0.43	0.36			0.14	0.12			0.12	0.10			0.060	0.060			0.035	0.035		
電工量 (C)×(E)		0.554				0.184				0.154				0.105				0.123		

C- 3 / 4

電工量小計= 1.120

材 料 集 計 表 - 4

内訳区分	FEP															
	30 mm															
	露出	埋込														
CHK ( 3- 3)		1.0														
合計値 (A)		1.0														
補完率 (B)	1.1															
(C)=(A)×(B)		1.10														
設計数量 (D)=(C)		1.10														
電工単位工量(E)=(E0)	0.026	0.026														
電工量 (C)×(E)		0.028														

C- 4 / 4

電工量小計= 0.028

材 料 集 計 表 - 5

内訳書番号	ケーブルラック	電線管類	電線管類	電線管類	電線管類	電線管類	電線管類	その他材料
	アルミケーブルラック	ベルマウス	ベルマウス	ベルマウス	直線接続材	直線接続材	直線接続材	屋外照明(LED)
	セパレータ有100% 200W	FEP 100φ用	FEP 50φ用	FEP 30φ用	FEP 100φ用	FEP 50φ用	FEP 30φ用	T4.5m (水銀灯400W相当)
	m	個	個	個	個	個	個	組
ZHK ( 3- 1)	1.5	1	2	1	1	2	1	1
合計値 (A)	1.5	1	2	1	1	2	1	1
設計数量 (D)=(A)	1.5	1	2	1	1	2	1	1
電工 単位工量 (E)	0.21							1.84
工 量 (A)×(E)	0.315							1.84

Z- 1 / 4

電工量小計=2.155

材 料 集 計 表 - 6

内訳書番号	その他材料	複合工費	複合工費	複合工費	複合工費	複合工費	複合工費	複合工費
	ケーブル 埋設シート	鋼材加工	鋼材加工	鉄筋加工	差し筋アンカー	鉄筋 コンクリート工	無筋 コンクリート工	型枠工
	ポリエチレンクロス ダブル 150W	SS：塗装無し	SS：塗装無し (溶融亜鉛メッキ)	D 13	D 13	21N/mm2	18N/mm2	
	m	kg	kg	kg	本	m3	m3	m2
ZHK ( 3- 2)	0.6	1.51	192	131	18	2.06	1.93	9.52
合計値 (A)	0.6	1.51	192	131	18	2.06	1.93	9.52
設計数量 (D)=(A)	0.6	1.51	192	131	18	2.06	1.93	9.52
電工 単位工量 (E)	0.0040							
工 量 (A)×(E)	0.002							

Z- 2 / 4

電工量小計=0.002

材 料 集 計 表 - 7

内訳書番号	複合工費	複合工費	複合工費	複合工費	複合工費	複合工費	複合工費	複合工費
	モルタル 仕上げ工	金こて仕上げ工	チップング工	掘削	埋戻し工 (発生土・機械)	残土処理工 (土砂)	砂充填	再生密粒度 アスファルト工 50mm
	20mm		10mm					
	m2	m2	m2	m3	m3	m3	m3	m2
ZHK ( 3- 3)	3.02	12.6	5.95	40.4	41.7	0.39	0.10	234
合計値 (A)	3.02	12.6	5.95	40.4	41.7	0.39	0.10	234
設計数量 (D)=(A)	3.02	12.6	5.95	40.4	41.7	0.39	0.10	234

Z- 3 / 4

材 料 集 計 表 - 8

内訳書番号	複合工費	複合工費	複合工費	複合工費	複合工費	複合工費	複合工費	
	粒度調整 再生砕石工 150mm	アスファルトカッター工	アスファルト取壊し工	産業廃棄物 (As殻)	基礎砕石工 100mm	コンクリート取壊し工	産業廃棄物 (Co殻)	
	m2	m	m2	m3	m2	m3	m3	
ZHK ( 3- 4)	234	23.4	208	10.4	0.49	10.7	10.7	
合計値 (A)	234	23.4	208	10.4	0.49	10.7	10.7	
設計数量 (D)=(A)	234	23.4	208	10.4	0.49	10.7	10.7	

Z- 4 / 4

電気設備工事 (STEP-2 新設)

材 料 内 訳 表

NO	配線区間 自 至		600V EM-CET				600V EM-CE				600V EM-CE				EM-CEE				EM-IE			
			250 sq				3.5 sq				3.5 sq				1.25 sq				38 sq			
			P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
1K	DEG	MC-12	15.7	3.0	4.3	22.3																
3	DEG	MC-12													14.2	3.0	4.3	22.3				
5	DEG	LCB-11																				
7	LCB-11	LTG-1					8.1	1.5	2.9	27.7												
8	EC	DEG																	8.1	1.5	1.4	13.4
( 1/3)	CHK ( 3- 1)		15.7	3.0	4.3	22.3	8.1	1.5	2.9	27.7	14.7	3.0	4.3	22.3	14.2	3.0	4.3	22.3	8.1	1.5	1.4	13.4

電気設備工事 (STEP-2 新設)

材 料 内 訳 表

NO	配線区間 自 至		600V EM-CET端末処理材				亜鉛メッキG				亜鉛メッキG				FEP							
			250 sq				92 mm				36 mm				28 mm				100 mm			
			屋外	屋内			露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込		
1K	DEG	MC-12		2																	1.6	
2	DEG	MC-12						1.4														
4	DEG	MC-12													1.4							
6	DEG	LCB-11									1.4											
( 2/3)	CHK ( 3- 2)			2				1.4			1.4				1.4						1.6	







電気設備工事 (STEP-2 新設) ( 1/ 2)

拾い出し根拠表

No	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
1K	DEG 自家発電装置	MC-12 高压変圧器盤	600V EM-CET 250 sq  端末屋内 x 2	P&D	15.7	(1.0)+ 0.4 + 5.0 + (0.3)+ (0.2)+ 0.8 + 0.4 + 0.4 + 0.4 + (0.2)+ (0.3)+ 1.4 + 0.1 + 2.3
				RACK	3.0	+ 1.5 + (1.0) (1.5)+ (1.5)
				CP	4.3	(0.5)+ 0.9 + 2.0 + 0.9
				FEP	22.3	1.2 + 0.4 + 11.8 + 8.1 + 0.8
				CP		
				FEP	100 mm	露出
		埋込	1.6	1.2 + 0.4		
2	DEG 自家発電装置	MC-12 高压変圧器盤		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				垂鉛メッキG	92 mm	露出
		埋込	1.4	(0.5)+ 0.9		
3	DEG 自家発電装置	MC-12 高压変圧器盤	EM-CEE 1.25 sq - 10 c	P&D	14.2	(1.0)+ 0.4 + 5.0 + (0.3)+ (0.2)+ 0.8 + 0.4 + 0.4 + 0.4 + (0.2)+ (0.3)+ 1.4 + 0.1 + 2.3
				RACK	3.0	+ (1.0) (1.5)+ (1.5)
				CP	4.3	(0.5)+ 0.9 + 2.0 + 0.9
				FEP	22.3	1.2 + 0.4 + 11.8 + 8.1 + 0.8
				CP		
				FEP	50 mm	露出
		埋込	1.6	1.2 + 0.4		
4	DEG 自家発電装置	MC-12 高压変圧器盤		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				垂鉛メッキG	28 mm	露出
		埋込	1.4	(0.5)+ 0.9		
5	DEG 自家発電装置	LCB-11 No.1排水ポンプ盤	600V EM-CE 3.5 sq - 2 c	P&D	14.7	(1.0)+ 0.4 + 5.0 + (0.3)+ (0.2)+ 0.8 + 0.4 + 0.4 + 0.4 + (0.2)+ (0.3)+ 1.4 + 0.3 + 0.1
				RACK	3.0	+ 1.5 + 1.0 + (1.0) (1.5)+ (1.5)
				CP	4.3	(0.5)+ 0.9 + 2.0 + 0.9
				FEP	22.3	1.2 + 0.4 + 11.8 + 8.1 + 0.8
				CP		
				FEP	50 mm	露出
		埋込	1.6	1.2 + 0.4		



## 電気設備工事 (STEP-2 新設) ( 1/ 2)

## 設備材料一覧表

No	区 分	明 細 名	材 料 名	形 状	単 位	数 量
1	材料拾い出し表 (STEP-2)	電線管類	ベルマウス	FEP 100φ用	個	1
2	〃	〃	〃	FEP 50φ用	個	2
3	〃	〃	〃	FEP 30φ用	個	1
4	〃	〃	直線接続材	FEP 100φ用	個	1
5	〃	〃	〃	FEP 50φ用	個	2
6	〃	〃	〃	FEP 30φ用	個	1
7	〃	ケーブルラック	アルミケーブルラック	セパレータ有100% 200W	m	1.5
8	〃	その他材料	屋外照明(LED)	T4.5m (水銀灯400W相当)	組	1
9	〃	〃	ケーブル 埋設シート	ポリエチレンクロス ダブル 150W	m	0.6
10	複合工集計表 (STEP-2)	複合工費	掘削		m3	40.4
11	〃	〃	埋戻し工	(発生土・機械)	m3	41.7
12	〃	〃	残土処理工	(土砂)	m3	0.39
13	〃	〃	砂充填		m3	0.10
14	〃	〃	再生密粒度	アスファルト工 50mm	m2	234
15	〃	〃	粒度調整	再生砕石工 150mm	m2	234
16	〃	〃	アスファルトカッター工		m	23.4
17	〃	〃	アスファルト取壊し工		m2	208
18	〃	〃	産業廃棄物	(As殻)	m3	10.4
19	〃	〃	鉄筋 コンクリート工	21N/mm2	m3	2.06
20	〃	〃	無筋 コンクリート工	18N/mm2	m3	1.93





(撤去)材料集計表 - 1

内訳区分	6kV CV				600V CVT				600V CV				600V CV				PAS専用			
	38 sq				150 sq				5.5 sq				3.5 sq							
	3 c								2 c				2 c							
	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
CRK ( 4- 1)	3.8		7.0	12.7	5.2				13.6				7.0		11.2		3.8		9.0	11.5
合計値 (A)	3.8		7.0	12.7	5.2				13.6				7.0		11.2		3.8		9.0	11.5
補充率 (B)	1.1				1.1				1.1				1.1				1.1			
(C)=(A)×(B)	4.18		7.70	13.97	5.72				14.96				7.70		12.32		4.18		9.90	12.65
撤去数量 (D)=Σ(C)	25.85 ----> 25.9				5.72				14.96 ----> 15.0				20.02 ----> 20.0				26.73 ----> 26.7			
電工単位工量(E)=(E0)×K	0.021	0.032	0.027	0.024	0.041	0.062	0.052	0.046	0.006	0.010	0.008	0.007	0.005	0.008	0.006	0.006	0.011	0.017	0.014	0.013
電工量 (C)×(E)	0.087		0.207	0.335	0.234				0.089				0.038		0.073		0.045		0.138	0.164

C- 1 / 4 (K= 0.4)

電工量小計= 1.410

(撤去)材料集計表 - 2

内訳区分	CVV-S				IV				IV				IV							
	1.25 sq				60 sq				38 sq				3.5 sq							
	2 c																			
	P&D	RACK	CP	FEP																
CRK ( 4- 2)	1.0		11.1		6.4		10.6		7.6		14.4		1.0		11.1					
合計値 (A)	1.0		11.1		6.4		10.6		7.6		14.4		1.0		11.1					
補充率 (B)	1.1				1.1				1.1				1.1				1.1			
(C)=(A)×(B)	1.10		12.21		7.04		11.66		8.36		15.84		1.10		12.21					
撤去数量 (D)=Σ(C)	13.31 ----> 13.3				18.70 ----> 18.7				24.20 ----> 24.2				13.31 ----> 13.3							
電工単位工量(E)=(E0)×K	0.004	0.007	0.006	0.005	0.013	0.020	0.016	0.015	0.010	0.015	0.012	0.011	0.003	0.005	0.004	0.003				
電工量 (C)×(E)	0.004		0.073		0.091		0.186		0.083		0.190		0.003		0.048					

C- 2 / 4 (K= 0.4)

電工量小計= 0.678

(撤去)材料集計表 - 3

内訳区分	VE				VE				PE				PE				PE			
	28 mm				22 mm				82 mm				70 mm				28 mm			
	露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込		
CRK ( 4- 2)		10.6																		
CRK ( 4- 3)						14.4			2.6	8.2			5.6	7.8			8.2	16.0		
合計値 (A)		10.6				14.4			2.6	8.2			5.6	7.8			8.2	16.0		
補完率 (B)		1.1				1.1				1.1				1.1				1.1		
(C)=(A)×(B)		11.66				15.84			2.86	9.02			6.16	8.58			9.02	17.60		
撤去数量 (D)=(C)		11.7				15.8			2.86	9.02			6.16	8.58			9.02	17.6		
電工単位工量(E)=(E0)×K	0.030	0.025			0.025	0.021			0.15	0.12			0.12	0.10			0.048	0.040		
電工量 (C)×(E)		0.291				0.332			0.429	1.082			0.739	0.858			0.432	0.704		

C- 3 / 4 (K= 0.4)

電工量小計= 4.867

(撤去)材料集計表 - 4

内訳区分	PE															
	22 mm															
	露出	埋込														
CRK ( 4- 3)	3.0	19.3														
合計値 (A)	3.0	19.3														
補完率 (B)		1.1														
(C)=(A)×(B)	3.30	21.23														
撤去数量 (D)=(C)	3.30	21.2														
電工単位工量(E)=(E0)×K	0.038	0.032														
電工量 (C)×(E)	0.125	0.679														

C- 4 / 4 (K= 0.4)

電工量小計= 0.804



電気設備工事 (STEP-2 撤去)

(撤去) 材 料 内 訳 表

NO	配線区間 自 至		6kV CV				600V CVT				600V CV				600V CV				PAS専用				
			38 sq				150 sq				5.5 sq				3.5 sq								
			3 c								2 c				2 c								
			P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	
R 1001	PAS	MC-1																		3.8		9.0	11.5
R 1002	VCT	MC-1	3.8		7.0	12.7																	
R 1003	MC-1	LCB-01									4.8												
R 1004	MC-2	LCB-01					5.2																
R 1005	MC-2	LCB-02									4.4x2												
R 1012	LCB-01	屋外照明 (水													2.0		5.6						
R 1013	LCB-01	ハトライト													5.0		5.6						
( 1/3)	CRK ( 4- 1)		3.8		7.0	12.7	5.2				13.6				7.0		11.2			3.8		9.0	11.5

電気設備工事 (STEP-2 撤去)

(撤去) 材 料 内 訳 表

NO	配線区間 自 至		CVV-S				IV				IV				IV				VE				
			1.25 sq				60 sq				38 sq				3.5 sq				28 mm				
			2 c																				
			P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	露出	埋込			
R 1006	LCB-01	ポンプ 井水位計	1.0		11.1																		
R 1007	LCB-01	ポンプ 井水位計													1.0		11.1						
R 1014	EA接地極	MC-1					3.0		4.3													4.3	
R 1015	EB接地極	MC-2					3.4		6.3													6.3	
R 1016	EC接地極	LCB-01									4.2		6.2										
R 1017	ED接地極	LCB-02									3.4		8.2										
( 2/3)	CRK ( 4- 2)		1.0		11.1		6.4		10.6		7.6		14.4		1.0		11.1					10.6	





No	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 1001	PAS	MC-1 高压引込盤	PAS専用	P&D	3.8	(2.0)+ 0.8 + (1.0)
				RACK		
				CP	9.0	(6.0)+ (0.6)+ 2.4
				FEP	11.5	10.4 + 0.5 + (0.6)
				CP		
				FEP 40 mm		
R 1002	VCT	MC-1 高压引込盤	6kV CV 38 sq - 3 c	P&D	3.8	(2.0)+ 0.8 + (1.0)
				RACK		
				CP	7.0	(4.0)+ (0.6)+ 2.4
				FEP	12.7	10.4 + 1.7 + (0.6)
				CP		
				FEP 80 mm		
R 1003	MC-1 高压引込盤	LCB-01 No.1排水ポン プ 盤	600V CV 5.5 sq - 2 c	P&D	4.8	(1.0)+ 1.0 + 1.0 + 0.8 + (1.0)
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出 埋込		
R 1004	MC-2 高压変圧器盤	LCB-01 No.1排水ポン プ 盤	600V CVT 150 sq	P&D	5.2	(1.0)+ 1.4 + 1.0 + 0.8 + (1.0)
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出 埋込		
R 1005	MC-2 高压変圧器盤	LCB-02 No.2排水ポン プ 盤	600V CV 5.5 sq - 2 c x 2	P&D	4.4	(1.0)+ 1.4 + 1.0 + (1.0)
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出 埋込		

電気設備工事 (STEP-2 撤去) ( 2/ 4)

拾い出し根拠表

No	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 1006	LCB-01 No.1排水ポン プ 盤	ポンプ 井水位 計中継箱	CVV-S 1.25 sq - 2 c	P&D	1.0	(1.0)
				RACK		
				CP	11.1	(0.6)+ 1.3 + 2.0 + 2.0 + 1.0 + 0.6 + (0.6)+ (0.2)+ 1.0 + 0.4 + 0.7 + (0.7)
				FEP		
				CP		
				PE	22 mm	露出
		埋込	8.1	(0.6)+ 1.3 + 2.0 + 2.0 + 1.0 + 0.6 + (0.6)		
R 1007	LCB-01 No.1排水ポン プ 盤	ポンプ 井水位 計中継箱	IV 3.5 sq	P&D	1.0	(1.0)
				RACK		
				CP	11.1	(0.6)+ 1.3 + 2.0 + 2.0 + 1.0 + 0.6 + (0.6)+ (0.2)+ 1.0 + 0.4 + 0.7 + (0.7)
				FEP		
				CP		
				PE		露出
		埋込				
R 1008	LCB-02 No.2排水ポン プ 盤	No.2排水ポン プ		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				PE	82 mm	露出
		埋込	8.2	(0.6)+ 1.7 + 2.0 + 2.0 + 1.0 + 0.3 + (0.6)		
R 1009	LCB-02 No.2排水ポン プ 盤	No.2排水ポン プ 過熱・浸水		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				PE	28 mm	露出
		埋込	8.2	(0.6)+ 1.7 + 2.0 + 2.0 + 1.0 + 0.3 + (0.6)		
R 1010	LCB-01 No.1排水ポン プ 盤	No.1排水ポン プ		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				PE	70 mm	露出
		埋込	7.8	(0.6)+ 1.3 + 2.0 + 2.0 + 1.0 + 0.3 + (0.6)		

No	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 1011	LCB-01 No.1排水ポン プ 盤	No.1排水ポン プ 過熱・浸水		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				PE 28 mm	露出	5.6
	埋込	7.8	(0.6)+ 1.3 + 2.0 + 2.0 + 1.0 + 0.3 + (0.6)			
R 1012	LCB-01 No.1排水ポン プ 盤	屋外照明 (水 銀灯400W)	600V CV 3.5 sq - 2 c	P&D	2.0	(1.0)+ (1.0)
				RACK		
				CP	5.6	(0.6)+ 4.4 + (0.6)
				FEP		
				CP		
				PE 22 mm	露出	
	埋込	5.6	(0.6)+ 4.4 + (0.6)			
R 1013	LCB-01 No.1排水ポン プ 盤	パトライ ト	600V CV 3.5 sq - 2 c	P&D	5.0	(1.0)+ (1.0)+ (3.0)
				RACK		
				CP	5.6	(0.6)+ 4.4 + (0.6)
				FEP		
				CP		
				PE 22 mm	露出	
	埋込	5.6	(0.6)+ 4.4 + (0.6)			
R 1014	EA接地極	MC-1 高压引込盤	IV 60 sq	P&D	3.0	1.0 + 1.0 + (1.0)
				RACK		
				CP	4.3	2.0 + 1.7 + (0.6)
				FEP		
				CP		
				VE 28 mm	露出	
	埋込	4.3	2.0 + 1.7 + (0.6)			
R 1015	EB接地極	MC-2 高压変圧器盤	IV 60 sq	P&D	3.4	1.0 + 1.4 + (1.0)
				RACK		
				CP	6.3	2.0 + 2.0 + 1.7 + (0.6)
				FEP		
				CP		
				VE 28 mm	露出	
	埋込	6.3	2.0 + 2.0 + 1.7 + (0.6)			













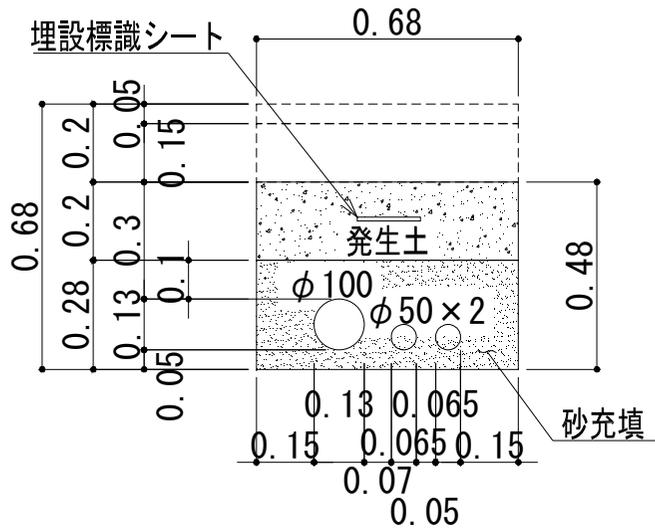
複合工集計表 (STEP-2)

		基礎工						撤去工			運搬処分工		基礎工	
		鉄筋コンクリート工	無筋コンクリート工	型枠工	モルタル仕上げ工	金こて仕上げ工	チッピング工	鉄筋加工	差し筋アンカー	基礎砕石工	コンクリート取壊し工	産業廃棄物	鋼材加工	鋼材加工
		21N	18N		(20mm)		(10mm)	D13	D13	(100mm)		(Co殻)	SS：塗装なし	SS： 溶融亜鉛メッキ
	[m3]	[m3]	[m2]	[m2]	[m2]	[m2]	[kg]	[本]	[m2]	[m3]	[m3]	[kg]	[kg]	
複合工計算表	No. 1		1.93	4.14	3.02	6.43							1.51	191.6
//	No. 2	1.79		3.12		5.95	5.95	130.64	18					
//	No. 4	0.27		2.26		0.24				0.49				
//	No. 11										9.91	9.91		
//	No. 12										0.83	0.83		
合 計		2.06	1.93	9.52	3.02	12.62	5.95	130.64	18	0.49	10.74	10.7	1.51	191.6
設 計 数 量		2.06	1.93	9.52	3.02	12.6	5.95	131	18	0.49	10.7	10.7	1.51	192

No.1	自家発電機床仕上げ	1式	無筋コンクリート工 (18N/mm <sup>2</sup> )	数量	鋼材加工 (縁金物) : SS	数量
床仕上げ拾い出し根拠図 参照  (A) : 無筋Co打増し部面積 = (5.34*2.89)-(3.5*1.7) = 9.483  (B) : ビット面積 = 5.09*0.6 = 3.054  (C) : ビット周長 = 5.09+0.6+5.09 = 10.780  (D) : ビット蓋面積 = 5.115*0.65 = 3.325			$V1 = ((A)-(B))*0.3$ = (9.483-3.054)*0.3 = 1.929	1.93 m <sup>3</sup>	①等辺山形鋼 L-40×40×t5(SS) : (2.95kg/m) L= (C) = 10.780 W= 10.780*2.95(kg/m) = 31.801	
			型枠工	数量	鋼材加工 (縁金物) : SS	数量
			$S1 = ((C)+1.19+1.84)*0.3$ = (10.780+1.19+1.84)*0.3 = 4.143	4.14 m <sup>2</sup>	②平鋼 FB-19×t4.5(SS) : (0.671kg/m) L= (C) = 10.780 W= 10.780*0.671(kg/m) = 7.233	
			モルタル仕上げ工 (20mm)	数量	鋼材加工 (縁金物) : SS	数量
			$S2 = ((B)-((1/4*3.14*0.15^2)*2))$ = (3.054-((1/4*3.14*0.15^2)*2)) = 3.019	3.02 m <sup>2</sup>	③鉄筋 D10×250L : (0.56kg/m) @1000 W= (C)/1.0*0.25*0.56 = (10.780)/1.0*0.25*0.56 = 1.509	
			金こて仕上げ工	数量	鋼材加工 (ビット蓋) : SS	数量
			$S3 = ((A)-(B))$ = (9.483-3.054) = 6.429	6.43 m <sup>2</sup>	④縞鋼板 CH-PL-t4.5(SS) : (36.97kg/m <sup>2</sup> ) S= (D) = 3.325 W= 3.325*37.58(kg/m <sup>2</sup> ) = 124.954	
				数量	鋼材加工 (ビット蓋補強材) : SS	数量
					⑤等辺山形鋼 L-40×40×t5(SS) : (2.95kg/m) L= 0.55*17個 = 9.350 W= 9.350*2.95(kg/m) = 27.583	
		鋼材加工(SS):塗装無し	数量	鋼材加工(SS):溶融亜鉛メッキ	数量	
		③ = 1.509	1.51 kg	① + ② + ④ + ⑤ = 31.801+7.233+124.954+27.583 = 191.571	191.57 kg	

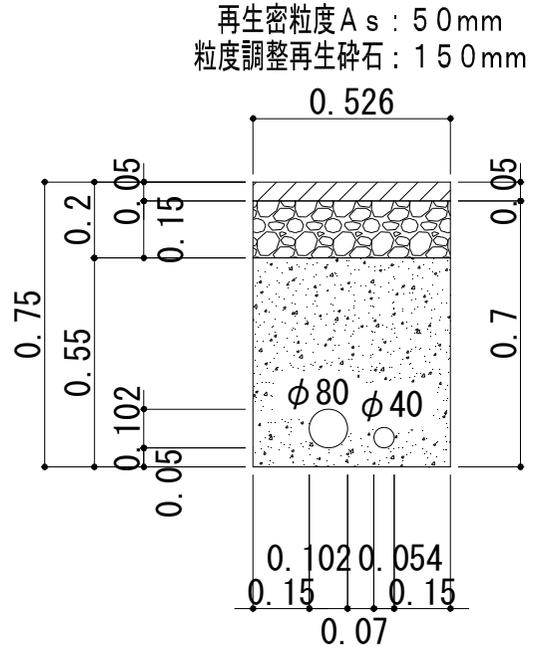
No.2	発電機基礎築造	1式	鉄筋コンクリート工 (21N/mm <sup>2</sup> )	数量	鉄筋加工(D13)	数量
<p>鉄筋長集計</p> <p>上筋= 3.4*9本+1.6*18本 = 59.40</p> <p>下筋= 3.4*9本+1.6*18本 = 59.40</p> <p>縦筋= (18本*2+7本*2)*0.25 = 12.50</p> <p>計 59.40 + 59.40 + 12.50 = 131.30</p>			$V1 = 3.5 * 1.7 * 0.3$ $= 1.785$	1.79 m <sup>3</sup>	鉄筋 D13 : (0.995kg/m) $W1 = L * 0.995$ $= 131.30 * 0.995$ (kg/m) $= 130.644$	130.64 kg
			型枠工	数量	差し筋アンカー(D13)	数量
			$S1 = (3.5 + 1.7) * 2 * 0.3$ $= 3.120$	3.12 m <sup>2</sup>		18 本
			チッピング工 (10mm)	数量		数量
			$S2 = 3.5 * 1.7$ $= 5.950$	5.95 m <sup>2</sup>		
			金こて仕上げ工	数量		数量
			$S3 = 3.5 * 1.7$ $= 5.950$	5.95 m <sup>2</sup>		
				数量		数量
				数量		数量

No.3	④ FEP埋設				1 箇所	掘削工(機械)	数量		数量																							
					掘削長: 0.6 m	$0.68 \times 0.48 \times 0.6$ $= 0.196$	0.20 m3																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>管種</th> <th>数量(本)</th> <th>断面積(m<sup>2</sup>/本)</th> <th>断面積(m<sup>2</sup>)</th> <th>体積(m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FEP100</td> <td>1</td> <td>0.0133</td> <td>0.013</td> <td>0.008</td> </tr> <tr> <td>FEP50</td> <td>2</td> <td>0.003</td> <td>0.006</td> <td>0.004</td> </tr> <tr> <td>合計 (A)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.012</td> </tr> </tbody> </table>					管種	数量(本)	断面積(m <sup>2</sup> /本)	断面積(m <sup>2</sup> )	体積(m <sup>3</sup> )	FEP100	1	0.0133	0.013	0.008	FEP50	2	0.003	0.006	0.004	合計 (A)				0.012						埋戻工(発生土・機械)	数量	数量
管種	数量(本)	断面積(m <sup>2</sup> /本)	断面積(m <sup>2</sup> )	体積(m <sup>3</sup> )																												
FEP100	1	0.0133	0.013	0.008																												
FEP50	2	0.003	0.006	0.004																												
合計 (A)				0.012																												
						$0.68 \times 0.2 \times 0.6$ $= 0.082$	0.08 m3																									
						残土処理工(土砂)	数量	数量	数量																							
						掘削 - 埋戻し $= 0.20 - 0.08$ $= 0.120$	0.12 m3																									
						砂充填工	数量	数量	数量																							
						$(0.68 \times 0.28) \times 0.6 - (A)$ $= (0.68 \times 0.28) \times 0.6 - 0.012$ $= 0.102$	0.10 m3																									
							数量		数量																							
							数量	埋設標識シート	数量																							
									0.6 m																							

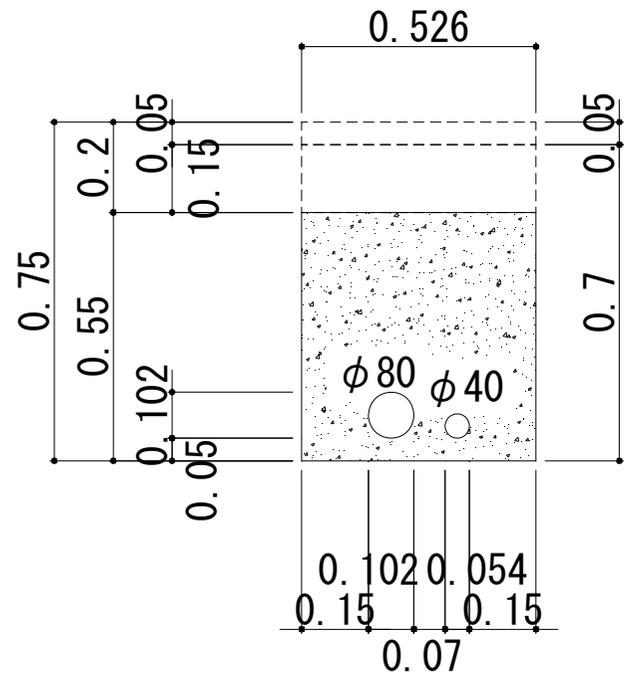


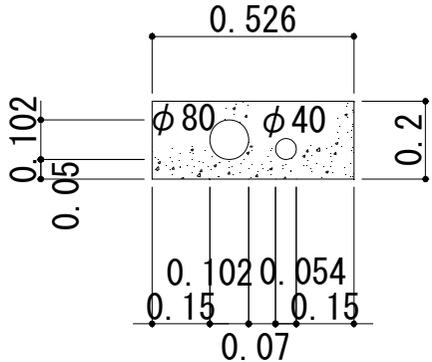
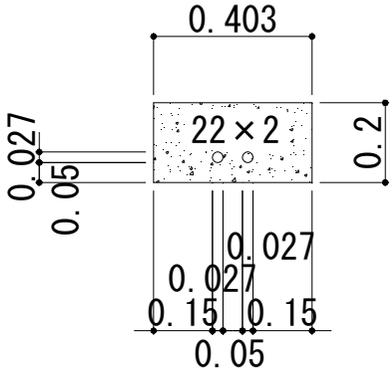
No.4	屋外照明基礎築造	1 式	掘削工(機械)	数 量		数 量
			$1.5 \times 1.3 \times 1.0$ $= 1.950$	1.95 m3		
			埋戻工(発生土・機械)	数 量		数 量
			掘削 — 残土処理 $= 1.95 - 0.27$ $= 1.680$	1.68 m3		
			残土処理工(土砂)	数 量	基礎碎石工(100mm)	数 量
			$(0.5 \times 0.5 \times 0.9) + (0.7 \times 0.7 \times 0.1)$ $= 0.274$	0.27 m3	$0.7 \times 0.7$ $= 0.490$	0.49 m2
			無筋コンクリート工(18N)	数 量		数 量
			$(0.5 \times 0.5 \times 1.1 + 1/4 \times 3.14 \times 0.2^2 \times 0.1)$ $- (1/4 \times 3.14 \times 0.089^2 \times 0.8)$ $= 0.273$	0.27 m3		
			型 枠	数 量		数 量
			$(0.2 \times 3.14 \times 0.1) + (0.5 \times 1.1) \times 4$ $= 2.263$	2.26 m2		
			金こて仕上げ	数 量		数 量
$0.5 \times 0.5 - 1/4 \times 3.14 \times 0.089^2$ $= 0.244$	0.24 m2					

No.5	① FEP埋設	1 箇所	掘削工(機械)	数量	数量																				
掘削長: 7.1 m			0.526*0.7*7.1 = 2.614	2.61 m3																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>管種</th> <th>数量(本)</th> <th>断面積(m<sup>2</sup>/本)</th> <th>断面積(m<sup>2</sup>)</th> <th>体積(m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FEP80</td> <td>1</td> <td>0.008</td> <td>0.008</td> <td>0.057</td> </tr> <tr> <td>FEP40</td> <td>1</td> <td>0.002</td> <td>0.002</td> <td>0.014</td> </tr> <tr> <td>合計 (A)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.071</td> </tr> </tbody> </table>			管種	数量(本)	断面積(m <sup>2</sup> /本)	断面積(m <sup>2</sup> )	体積(m <sup>3</sup> )	FEP80	1	0.008	0.008	0.057	FEP40	1	0.002	0.002	0.014	合計 (A)				0.071			
管種	数量(本)	断面積(m <sup>2</sup> /本)	断面積(m <sup>2</sup> )	体積(m <sup>3</sup> )																					
FEP80	1	0.008	0.008	0.057																					
FEP40	1	0.002	0.002	0.014																					
合計 (A)				0.071																					
			埋戻工(発生土・機械)	数量	数量																				
			0.526*0.55*7.1 = 2.054	2.05 m3																					
				数量	アスファルトカッター工																				
					7.1*2 = 14.20																				
					14.2 m																				
				数量	アスファルト取壊し工(50mm)																				
					0.526*7.1 = 3.735																				
					3.74 m2																				
				数量	産業廃棄物(As殻)																				
					0.526*0.05*7.1 = 0.187																				
					0.19 m3																				
				数量	数量																				

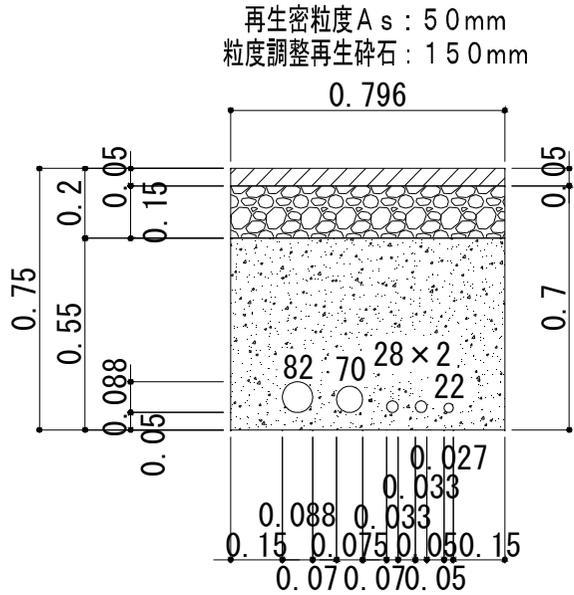


No.6	φ2 FEP埋設	1 箇所	掘削工(機械)	数量	数量																				
掘削長: 1.4 m			0.526*0.55*1.4 = 0.405	0.41 m3																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>管種</th> <th>数量(本)</th> <th>断面積(m<sup>2</sup>/本)</th> <th>断面積(m<sup>2</sup>)</th> <th>体積(m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FEP80</td> <td>1</td> <td>0.008</td> <td>0.008</td> <td>0.057</td> </tr> <tr> <td>FEP40</td> <td>1</td> <td>0.002</td> <td>0.002</td> <td>0.014</td> </tr> <tr> <td>合計 (A)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.071</td> </tr> </tbody> </table>			管種	数量(本)	断面積(m <sup>2</sup> /本)	断面積(m <sup>2</sup> )	体積(m <sup>3</sup> )	FEP80	1	0.008	0.008	0.057	FEP40	1	0.002	0.002	0.014	合計 (A)				0.071			
管種	数量(本)	断面積(m <sup>2</sup> /本)	断面積(m <sup>2</sup> )	体積(m <sup>3</sup> )																					
FEP80	1	0.008	0.008	0.057																					
FEP40	1	0.002	0.002	0.014																					
合計 (A)				0.071																					
			埋戻工(発生土・機械)	数量	数量																				
			0.526*0.55*1.4 = 0.405	0.41 m3																					
				数量	数量																				
				数量	数量																				
				数量	数量																				
				数量	数量																				



No.7	① FEP埋設	1 箇所	掘削工(機械)	数量		数量																				
<p style="text-align: right;">掘削長: 3.6 m</p> <table border="1" data-bbox="185 300 848 419"> <thead> <tr> <th>管種</th> <th>数量(本)</th> <th>断面積(m<sup>2</sup>/本)</th> <th>断面積(m<sup>2</sup>)</th> <th>体積(m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FEP80</td> <td>1</td> <td>0.008</td> <td>0.008</td> <td>0.029</td> </tr> <tr> <td>FEP40</td> <td>1</td> <td>0.002</td> <td>0.002</td> <td>0.007</td> </tr> <tr> <td>合計 (A)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.036</td> </tr> </tbody> </table> 			管種	数量(本)	断面積(m <sup>2</sup> /本)	断面積(m <sup>2</sup> )	体積(m <sup>3</sup> )	FEP80	1	0.008	0.008	0.029	FEP40	1	0.002	0.002	0.007	合計 (A)				0.036	$0.526 \times 0.2 \times 3.6$ $= 0.379$	0.379 m <sup>3</sup>		
管種	数量(本)	断面積(m <sup>2</sup> /本)	断面積(m <sup>2</sup> )	体積(m <sup>3</sup> )																						
FEP80	1	0.008	0.008	0.029																						
FEP40	1	0.002	0.002	0.007																						
合計 (A)				0.036																						
			埋戻工(発生土・機械)	数量		数量																				
			$0.526 \times 0.2 \times 3.6$ $= 0.379$	0.379 m <sup>3</sup>																						
				数量		数量																				
No.8	② FEP埋設	1 箇所	掘削工(機械)	数量		数量																				
<p style="text-align: right;">掘削長: 2.9 m</p> <table border="1" data-bbox="185 927 848 1042"> <thead> <tr> <th>管種</th> <th>数量(本)</th> <th>断面積(m<sup>2</sup>/本)</th> <th>断面積(m<sup>2</sup>)</th> <th>体積(m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PE22</td> <td>2</td> <td>0.001</td> <td>0.002</td> <td>0.006</td> </tr> <tr> <td>合計 (A)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.006</td> </tr> </tbody> </table> <p>掘削長 = 2.7 + 0.2 = 2.9</p> 			管種	数量(本)	断面積(m <sup>2</sup> /本)	断面積(m <sup>2</sup> )	体積(m <sup>3</sup> )	PE22	2	0.001	0.002	0.006	合計 (A)				0.006	$0.403 \times 0.2 \times 2.9$ $= 0.234$	0.234 m <sup>3</sup>							
管種	数量(本)	断面積(m <sup>2</sup> /本)	断面積(m <sup>2</sup> )	体積(m <sup>3</sup> )																						
PE22	2	0.001	0.002	0.006																						
合計 (A)				0.006																						
			埋戻工(発生土・機械)	数量		数量																				
			$0.403 \times 0.2 \times 2.9$ $= 0.234$	0.234 m <sup>3</sup>																						
				数量		数量																				

No.9	⊕ FEP埋設	1 箇所	掘削工(機械)	数量	数量																														
掘削長: 4.6 m			0.796*0.7*4.6 = 2.563	2.56 m3																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>管種</th> <th>数量(本)</th> <th>断面積(m<sup>2</sup>/本)</th> <th>断面積(m<sup>2</sup>)</th> <th>体積(m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PE82</td> <td>1</td> <td>0.006</td> <td>0.006</td> <td>0.028</td> </tr> <tr> <td>PE70</td> <td>1</td> <td>0.004</td> <td>0.004</td> <td>0.018</td> </tr> <tr> <td>PE28</td> <td>2</td> <td>0.001</td> <td>0.002</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td>PE22</td> <td>1</td> <td>0.001</td> <td>0.001</td> <td>0.005</td> </tr> <tr> <td>合計 (A)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.060</td> </tr> </tbody> </table>			管種	数量(本)	断面積(m <sup>2</sup> /本)	断面積(m <sup>2</sup> )	体積(m <sup>3</sup> )	PE82	1	0.006	0.006	0.028	PE70	1	0.004	0.004	0.018	PE28	2	0.001	0.002	0.009	PE22	1	0.001	0.001	0.005	合計 (A)				0.060	埋戻工(発生土・機械)	数量	数量
管種	数量(本)	断面積(m <sup>2</sup> /本)	断面積(m <sup>2</sup> )	体積(m <sup>3</sup> )																															
PE82	1	0.006	0.006	0.028																															
PE70	1	0.004	0.004	0.018																															
PE28	2	0.001	0.002	0.009																															
PE22	1	0.001	0.001	0.005																															
合計 (A)				0.060																															
			0.796*0.55*4.6 = 2.014	2.01 m3																															
				数量	数量																														
				アスファルトカッター工	数量																														
				4.6*2 = 9.20	9.2 m																														
				数量	数量																														
				アスファルト取壊し工(50mm)	数量																														
				0.796*4.6 = 3.662	3.66 m2																														
				数量	数量																														
				産業廃棄物(As殻)	数量																														
				0.796*0.05*4.6 = 0.183	0.18 m3																														
				数量	数量																														



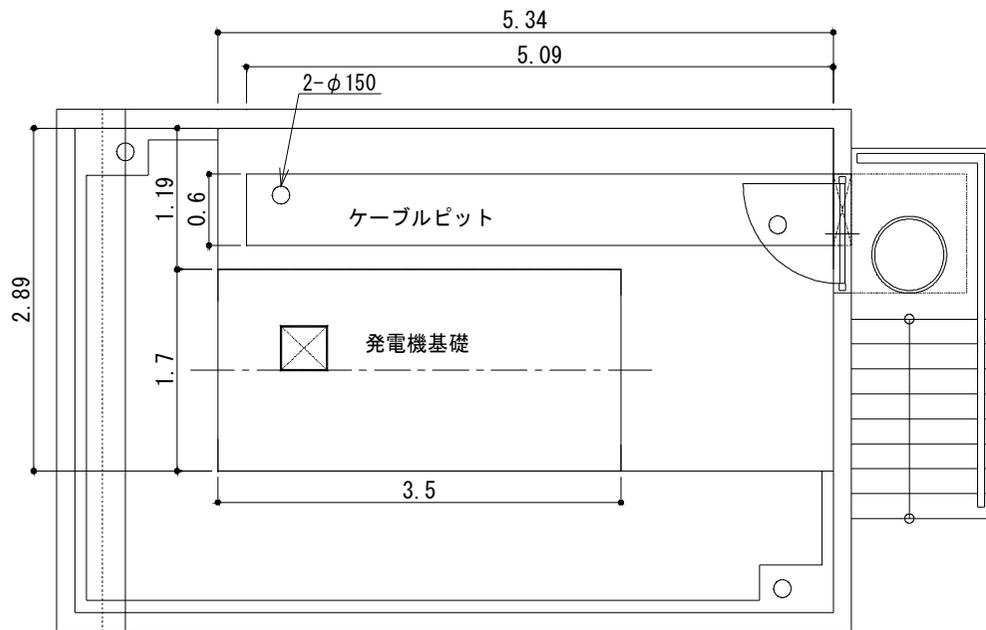


No.11	屋外盤基礎撤去	1 式	埋戻工(発生土・機械)	数 量	コンクリート取壊し工	数 量
	拾い出し根拠図参照		$(4.36*4.18*0.1)+(4.6*4.42*0.05)$ = 2.839	2.84 m3	$((C)+(D)+(E)+(F))-((A)+(B))$ = (3.70+5.47+1.02+0.35)-(0.62+0.01) = 9.910	9.91 m3
	(A):ピット部体積 $(3.25*0.45+0.3*0.93+0.5*0.93+1.75*0.5)*0.2$ = 0.62			数 量	産業廃棄物 (Co殻)	数 量
	(B):ピットコーナー部体積 $(0.15*0.15*1/2*6)*0.2$ = 0.01				$((C)+(D)+(E)+(F))-((A)+(B))$ = (3.70+5.47+1.02+0.35)-(0.62+0.01) = 9.910	9.91 m3
	(C):コンクリート取壊し部体積(地上部:H200) $(4.4*4.2)*0.2$ = 3.70			数 量		数 量
	(D):コンクリート取壊し部体積(地下部:H300) $(4.36*4.18)*0.3$ = 5.47					
	(E):コンクリート取壊し部体積(地下部:H50) $(4.6*4.42)*0.05$ = 1.02			数 量		数 量
	(F):コンクリート取壊し部体積(地上部:スロープ) $(0.2*0.8*1/2)*4.4$ = 0.35					
				数 量		数 量
				数 量		数 量

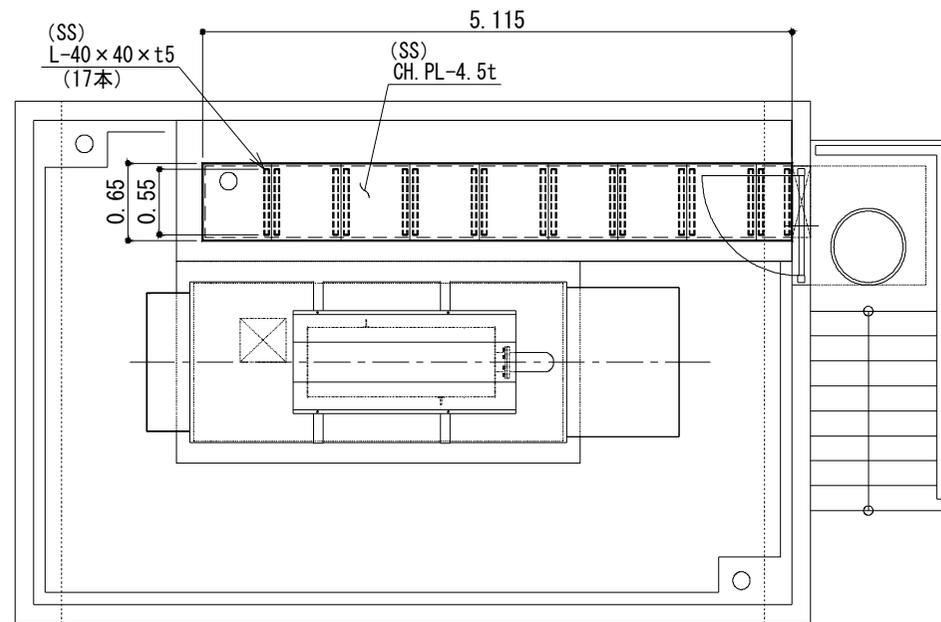
No.12	屋外照明基礎撤去	1 式	掘削工(機械)	数 量		数 量
			$1.2 \times 1.1 \times 1.2$ = 1.584	1.58 m3		
			埋戻工(発生土・機械)	数 量		数 量
			$1.2 \times 1.1 \times 1.2$ = 1.584	1.58 m3		
			コンクリート取壊し工	数 量		数 量
			$0.8 \times 0.8 \times 1.3$ = 0.832	0.83 m3		
			産業廃棄物(Co殻)	数 量		数 量
			$0.8 \times 0.8 \times 1.3$ = 0.832	0.83 m3		
				数 量		数 量
				数 量		数 量

No.13	場内舗装 舗装取壊し部	1 式	掘削工(機械)	数 量		数 量
場内舗装拾い出し根拠図 参照  (A):場内全体面積 = 367.94  (B):舗装取壊し控除面積 = 0.09+0.59+8.03+2.42+2.27+1.00+1.28+3.31+22.0+3.66+3.84+7.61+6.48 +1.56+0.26+74.99+1.25+0.73+24.27+1.95 = 167.59  (A)-(B) = 367.94-167.59 = 200.35			$200.35 \times 0.15$ = 30.053	30.05 m3		
			残土処理工(土砂)	数 量		数 量
			$200.35 \times 0.15$ = 30.053	30.05 m3		
			アスファルト取壊し工(50mm)	数 量		数 量
			200.35 m2	200.35 m2		
			産業廃棄物(As殻)	数 量		数 量
			$200.35 \times 0.05$ = 10.018	10.02 m3		
				数 量		数 量
				数 量		数 量

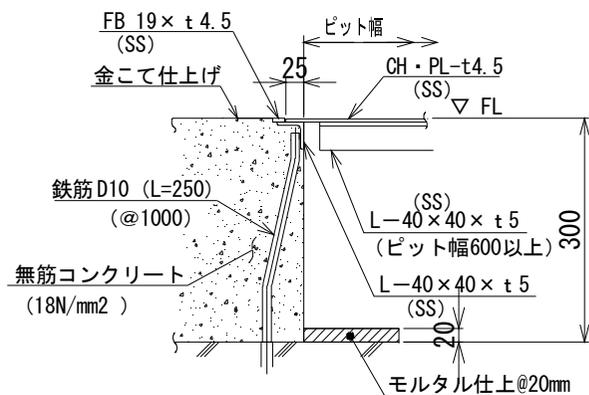
No.14	場内舗装 舗装部	1 式	再生密粒度アスファルト工(50mm)	数 量		数 量
場内舗装拾い出し根拠図 参照  (A):場内全体面積 = 367.94  (B):舗装取壊し控除面積 = 0.09+0.59+0.25+0.59+32.37+0.59+74.99+24.27+0.25 = 133.99  (A)-(B) = 367.94-133.99 = 233.95				233.95 m2		
			粒度調整再生砕石工(150mm)	数 量		数 量
				233.95 m2		
				数 量		数 量
				数 量		数 量
				数 量		数 量
				数 量		数 量



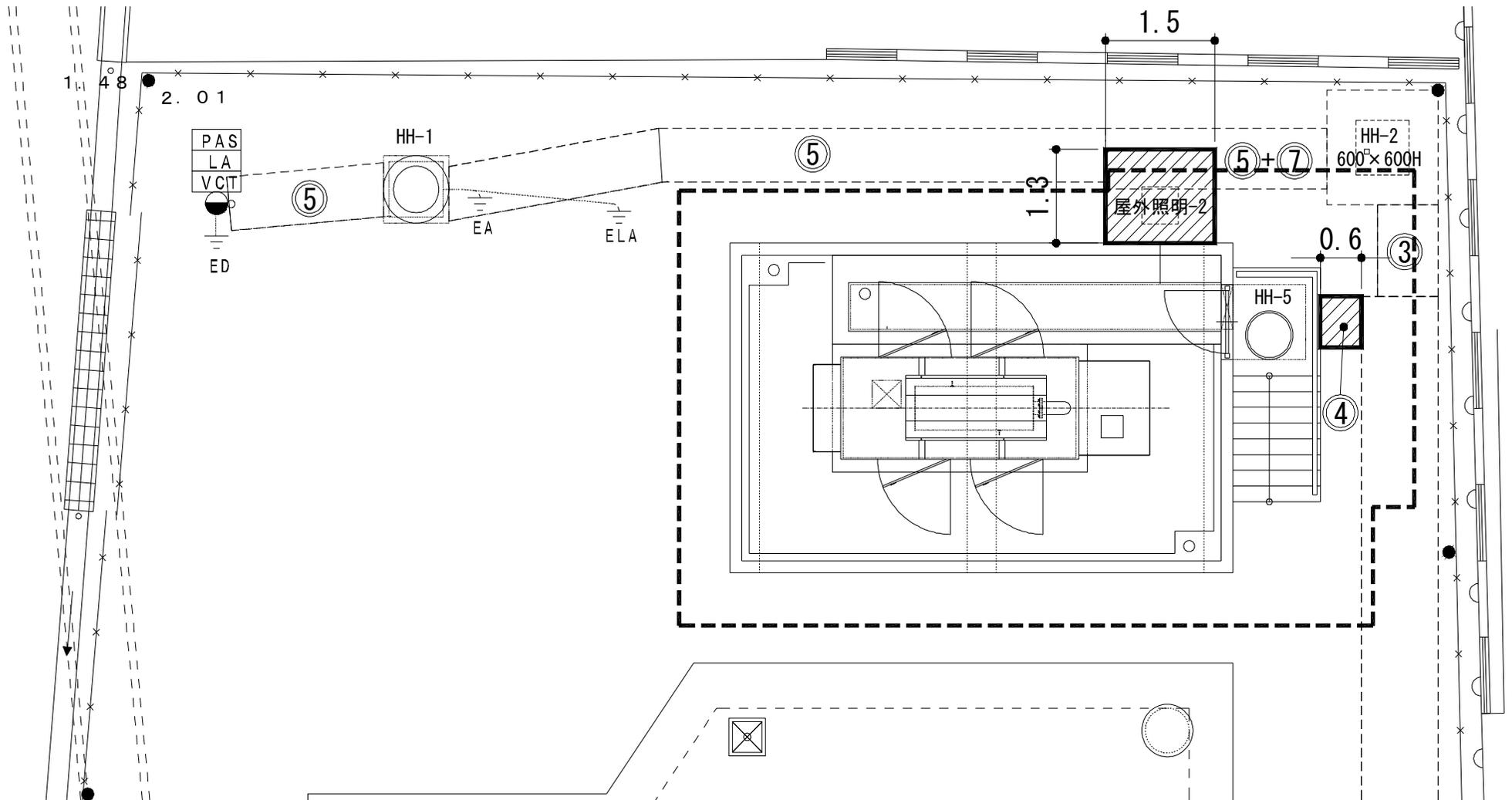
打増し基礎・ピット周長寸法図



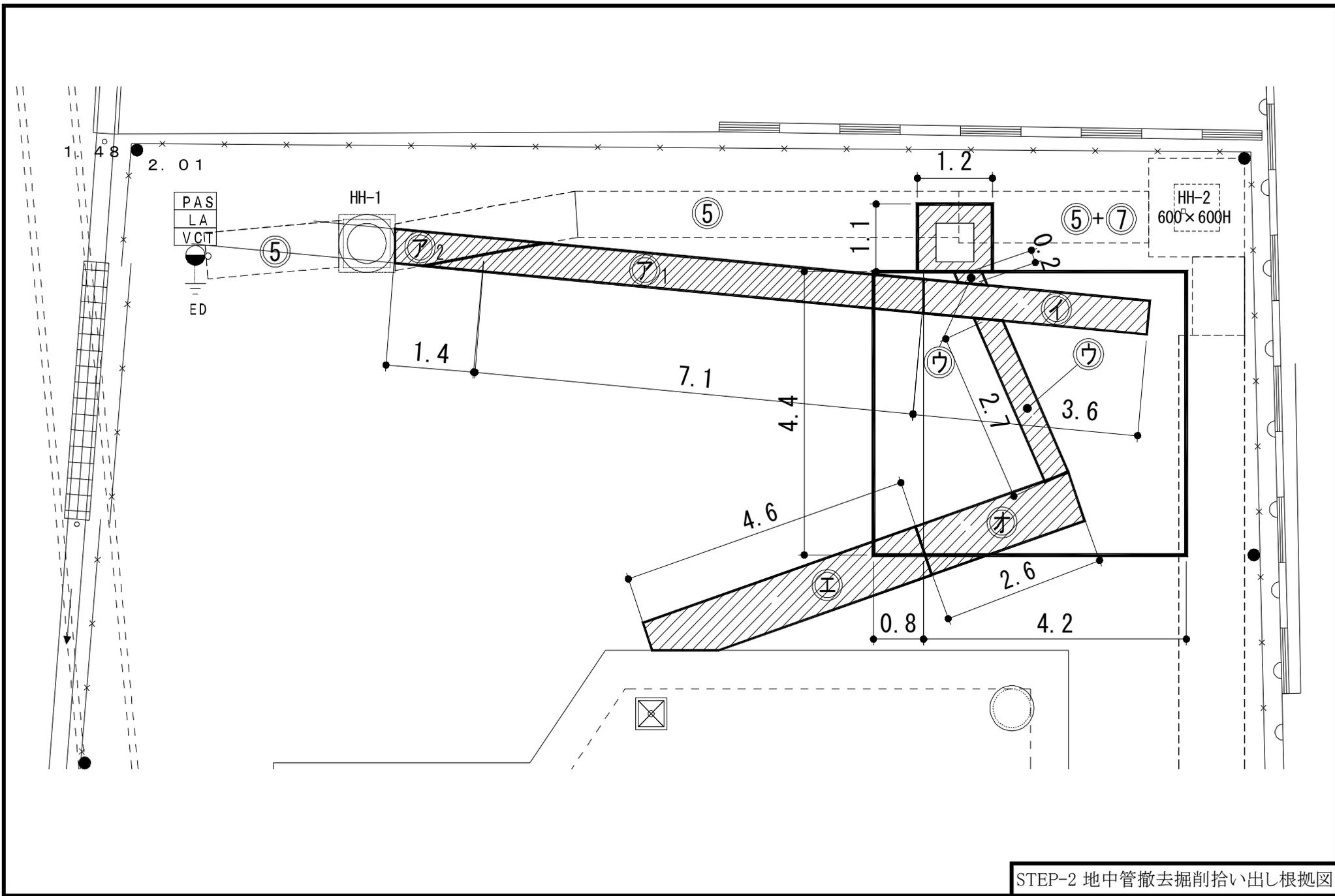
ピット蓋



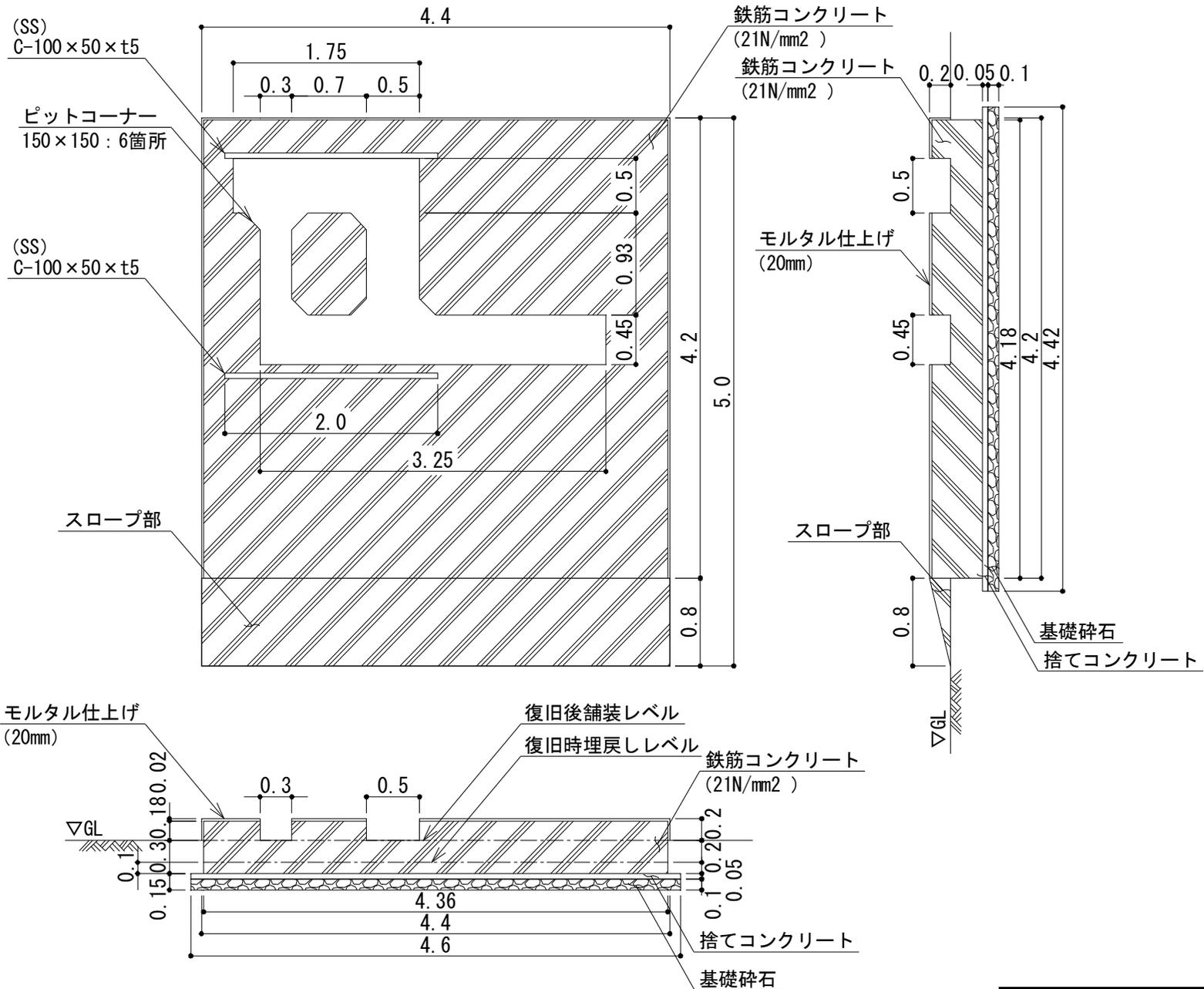
ピット縁金物要領図



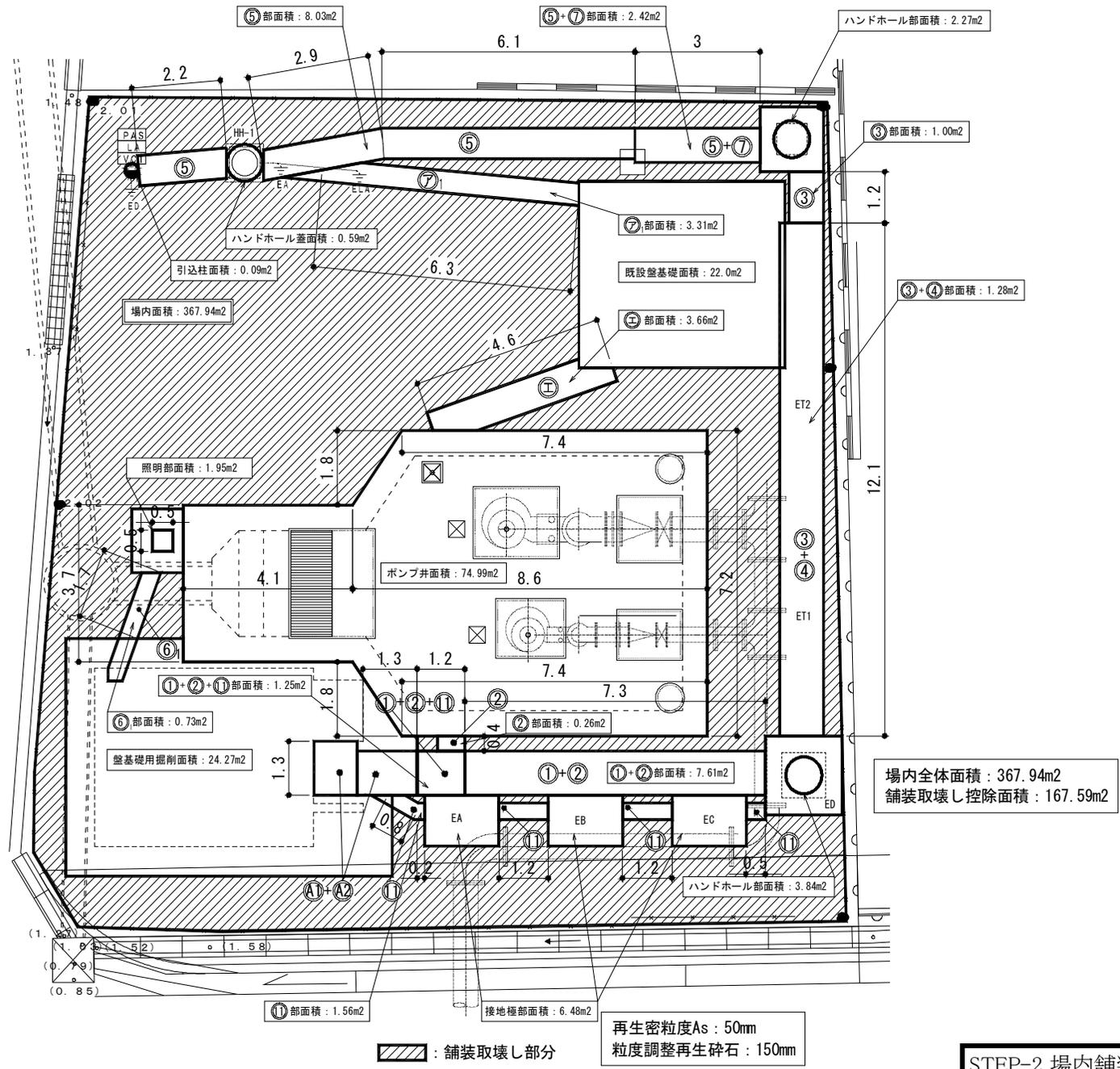
STEP-2 地中管用掘削拾い出し根拠図



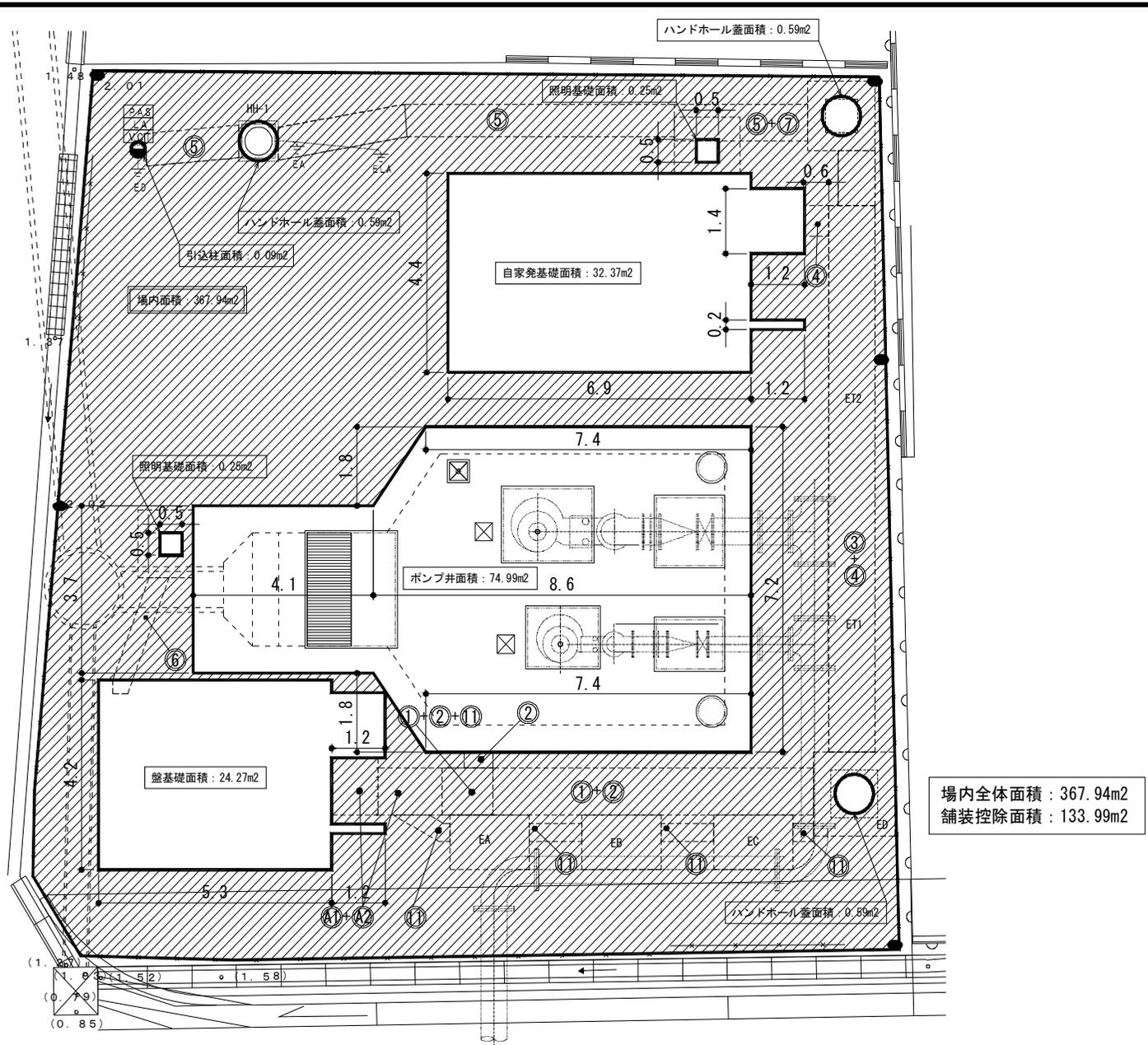
STEP-2 地中管撤去掘削拾い出し根拠図



STEP-2 既設基礎撤去拾い出し根拠図



STEP-2 場内舗装拾い出し根拠図: 取壊し



場内全体面積 :  $367.94\text{m}^2$   
 舗装控除面積 :  $133.99\text{m}^2$

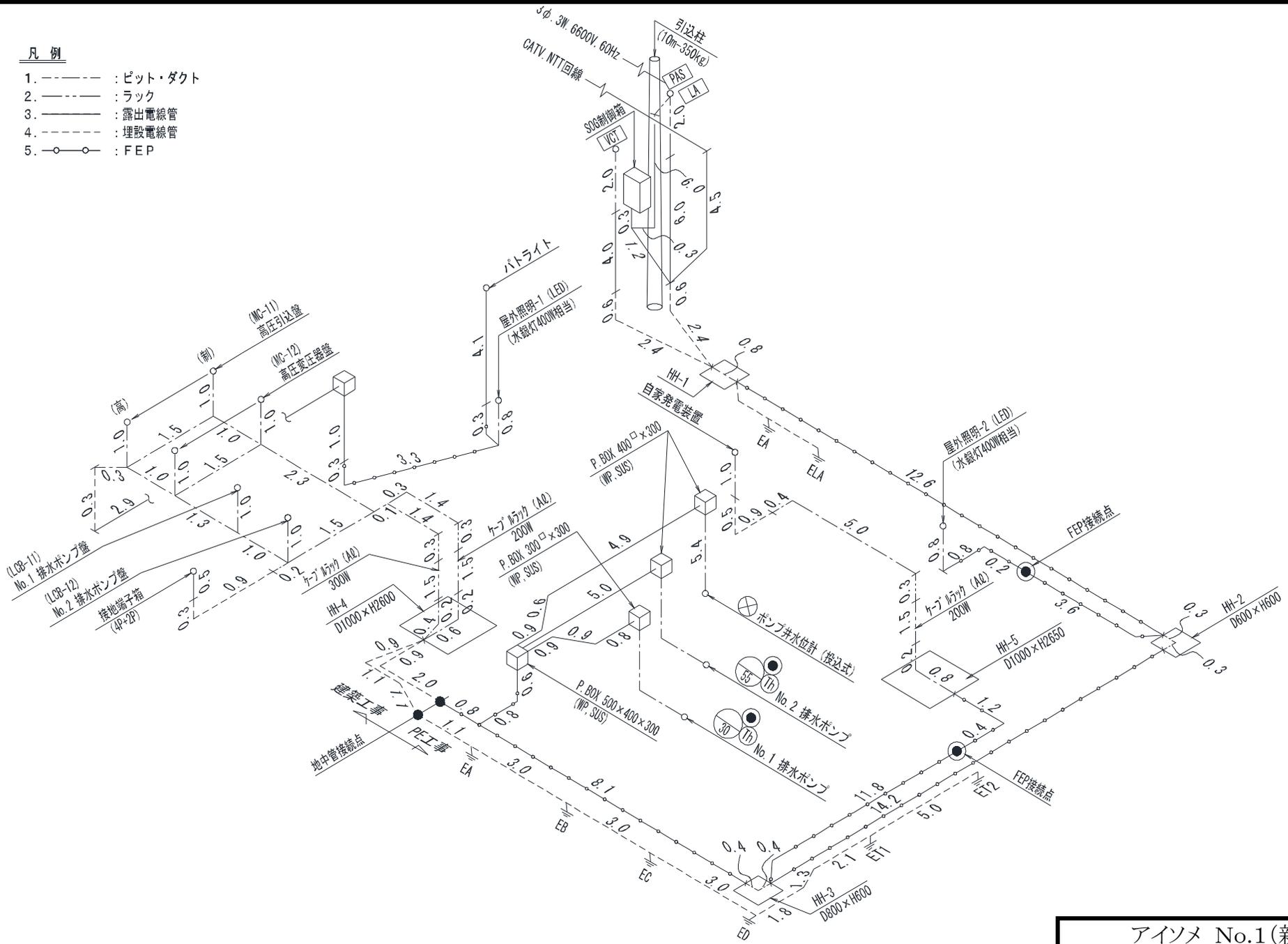
▨ : 舗装部分

再生密粒度As : 50mm  
 粒度調整再生砕石 : 150mm

STEP-2 場内舗装拾い出し根拠図

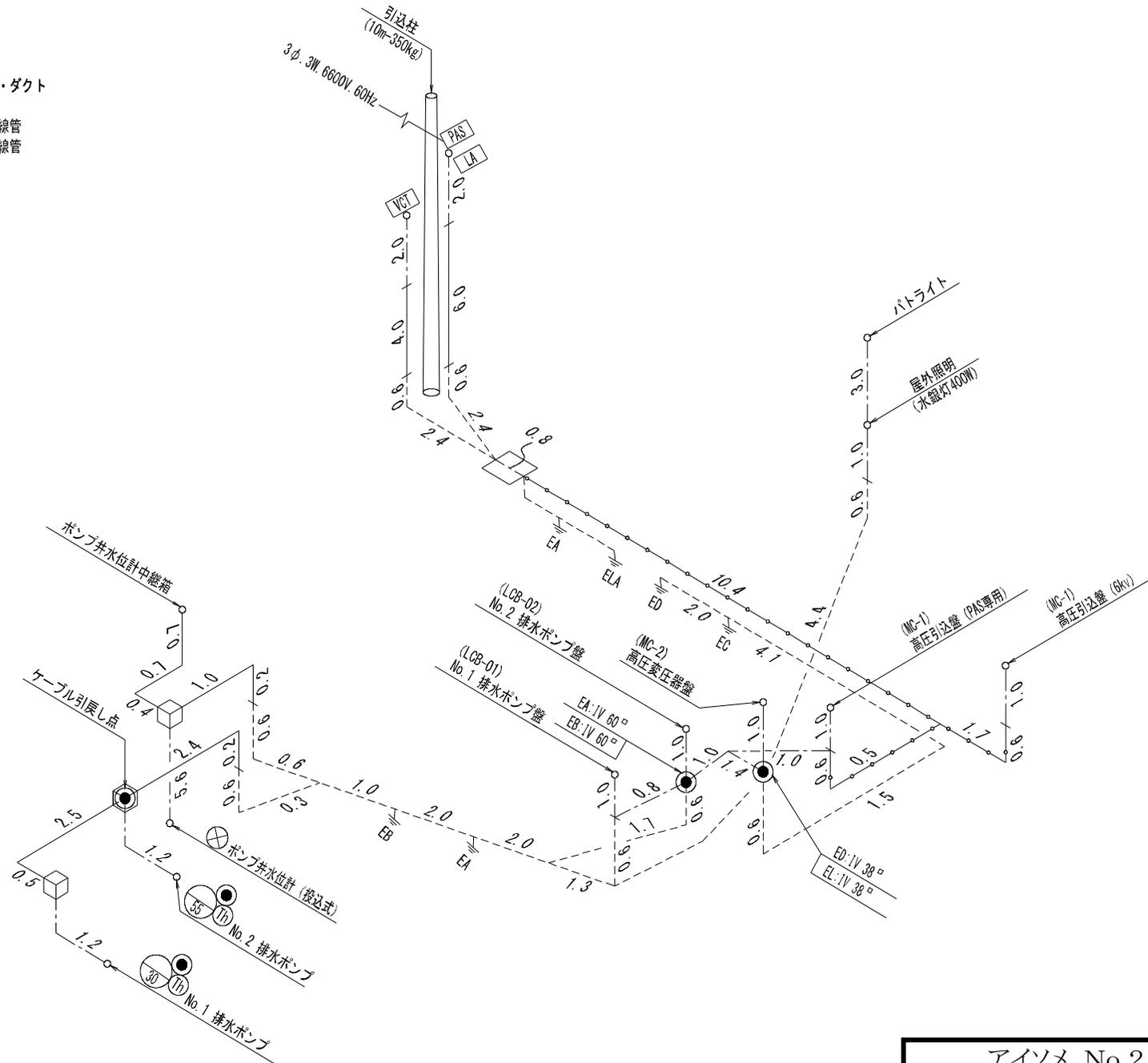
凡例

- 1. ----- : ピット・ダクト
- 2. ----- : ラック
- 3. ----- : 露出電線管
- 4. ----- : 埋設電線管
- 5. ○-----○ : FEP



凡例

- 1. - - - - : ピット・ダクト
- 2. - · - · : ラック
- 3. ——— : 露出電線管
- 4. - - - - : 埋設電線管
- 5. ○—○ : FEP



港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事  
(建築工事)

# 設計書(建築)

工事名称 港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事

工事場所 三原市港町三丁目

[工事概要]

用途, 構造, 面積	自家発電設備架台, 鉄筋コンクリート造	
工事範囲	自家発電設備架台工事	
別途工事	無し	
工期	契約締結日の翌日 ~ 令和3年3月31日までを工期とする	
一般事項		
《工事予算内訳》		
〈内訳〉		
区分	金額	概要
工事価格		
消費税額		
合計金額		

名 称		摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
I	直接工事費		1.0	式			
II	共通仮設費		1.0	式			
III	現場管理費		1.0	式			
IV	一般管理費		1.0	式			
V	契約保証費		1.0	式			
	小 計						
VI	消費税等相当額		1.0	式			
	合 計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
I	直接工事費	(自家発電設備架台)					
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	土工事		1.0	式			
3	地業工事		1.0	式			
4	コンクリート工事		1.0	式			
5	型枠工事		1.0	式			
6	鉄筋工事		1.0	式			
7	防水工事		1.0	式			
8	タイル工事		1.0	式			
9	金属工事		1.0	式			
10	左官工事		1.0	式			
	計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	遣方	一 般	32.1	m2			
	墨出し	一 般 RC・SRC造 地上階	34.2	m2			
	養生	一 般 RC・SRC造 地上階	34.2	m2			
	整理清掃後片付け	一 般 RC・SRC造 地上階	34.2	m2			
	枠組本足場(手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 RC造標準日数 修理費含む	88.9	m2			
		12m未満 2階建					
	安全手すり(手すり先行方式)	枠組本足場用 RC造標準日数 修理費含む	33.0	m			
	外部躯体足場	RC造標準日数 修理費含む 鉄筋・型枠足場	34.2	m2			
		階高4.0m以下					
	外部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場	30.4	m2			
		階高4.0m以下					
	外部階段仕上足場	RC造標準日数 修理費含む	3.8	m2			
	ネット状養生シート張り	防炎Ⅱ類 RC造標準日数 修理費含む 2階建	88.9	m2			



名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	土工事						
	根切り	つぼ・布掘り 深さ2.5m程度	15.8	m3			
	床付	つぼ・布掘り	34.5	m2			
	杭間ざらい	既製杭 φ190.7	6.0	本			
	埋戻し土(B種)	発生土	6.4	m3			
	建設発生土運搬		9.4	m3			
	建設発生土処分	処分費	9.4	m3			
	土工機械運搬	根切り・埋戻し	2.0	往復			
	計						

名 称		摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
3	地業工事						
	砂利地業	基礎下 再生切込砕石	3.5	m3			
	既製杭	翼付き鋼管杭 φ190.7×7.0 STK400	6.0	本			
		羽根径φ570 SM490A PL-22 杭長17.5m程度					
	施工費	回転工法(EAZET)	1.0	式			
	杭頭補強	杭キャップ PL-12	6.0	か所			
	計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	コンクリート工事						
	普通コンクリート	捨てコンクリート Fc=18N/mm2 S=15	1.7	m3			
	普通コンクリート	Fc=24N/mm2 S=15	30.1	m3			
	普通コンクリート	Fc=24N/mm2 S=18	4.7	m3			
	構造体強度補正值	耐圧版コンクリート +6N Fc=24N/mm2 S=15	15.4	m3			
	構造体強度補正值	耐圧版上部コンクリート +6N Fc=24N/mm2 S=15	14.7	m3			
	構造体強度補正值	立上り壁コンクリート +6N Fc=24N/mm2 S=18	4.7	m3			
	コンクリート打設手間	捨てコンクリート ポンプ 打設 30m3/回未満 S15~S18	1.7	m3			
		圧送費、基本料別途					
	コンクリート打設手間	耐圧版コンクリート ポンプ 打設 30m3/回未満 S15~S18	15.4	m3			
		圧送費、基本料別途					
	コンクリート打設手間	耐圧版上部コンクリート ポンプ 打設 30m3/回未満 S15~S18	14.7	m3			
		圧送費、基本料別途					

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	コンクリート打設手間	立上り壁コンクリートポンプ打設 30m3/回未満 S15～S18	4.7	m3			
		標準階高 圧送費、基本料別途					
	コンクリートポンプ圧送	30m3/回未満 基本料金別途加算	36.6	m3			
	コンクリートポンプ圧送基本料金	30m3/回未満	4.0	回			
	計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	型枠工事						
	型枠	普通合板型枠 壁式構造 基礎部	17.4	m <sup>2</sup>			
	型枠	打放合板型枠B種 壁式構造 基礎部	6.2	m <sup>2</sup>			
	型枠	打放合板型枠B種 壁式構造 地上軸部 標準階高	132.0	m <sup>2</sup>			
	型枠運搬費	4t車 30km程度 往復	155.0	m <sup>2</sup>			
	打放し面補修	B 種 コーン処理 部分目違いばらい	111.0	m <sup>2</sup>			
	打放し面補修	B 種 コーン処理無 部分目違いばらい	27.3	m <sup>2</sup>			
	型枠目地棒	水切目地 幅20 ×深さ15程度	11.2	m			
	型枠目地棒	打継目地 幅20 ×深さ20程度	30.4	m			
	型枠目地棒	化粧目地 幅20 ×深さ10程度	15.4	m			
	壁箱抜き	500×200×220	1.0	か所			
	壁箱抜き	1000×200×160	1.0	か所			
	床水抜き穴	50 φ L=350	1.0	か所			
	床水抜き穴	150 φ L=220	4.0	か所			



名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	鉄筋工事						
	異形鉄筋	SD345A D10	0.3	t			
	異形鉄筋	SD345A D13	2.6	t			
	鉄筋スクラップ 控除	H3	-0.1	t			
	鉄筋加工組立	壁式構造 一般 D32以下 一般建物	2.8	t			
	鉄筋運搬費	4t車 30km程度	2.8	t			
	計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	防水工事						
	(外部)						
	シーリング	一般部 ポリウレタン系 (PU-2) 20×10	45.8	m			
	計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	タイル工事						
	(外部)						
	床階段用タイル張り	段鼻 150×60 下地モルタル別途	8.1	m			
	計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	金属工事						
	(外部)						
	階段手摺	カラーアルミ H=900 斜め部	2.3	m			
	階段手摺	カラーアルミ H=900 水平部	2.6	m			
	アルミ門扉	W900×H850 片開き	1.0	か所			
	マンホールふた	600φ 5KN 簡易密閉型	1.0	か所			
	タラップ(足掛)	ステンレス 22φ W=400	6.0	か所			
	計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	左官工事						
	(外部)						
	床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	38.7	m2			
	排水溝 コンクリート直均し仕上げ	金ごて 幅100	10.9	m			
	床モルタル塗り	金ごて モルタル仕上げ 厚30	1.8	m2			
	床モルタル塗り	木ごて 一般タイル下地	0.8	m2			
	階段モルタル塗り	金ごて モルタル仕上げ 厚30	3.6	m2			
	笠木モルタル塗り	金ごて 幅160	21.0	m			
	計						

位置図 1/10,000



令和2年度 公共下水道事業		
工事名	港町第2雨水排水ポンプ場自家発電設備工事	
工事場所	三原市港町三丁目	
図面番号	縮尺	1/10,000
位置図		
三原市		